

## WS2 動物モデル・ワクチン

■日時: 12月2日(金) 10:30-11:45

■会場: 第1会場 A (センチュリー)

座長 三浦 智行

(京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究センター)

俣野 哲朗

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

- 
- WS2-007 無症候慢性 HIV-1 陽性者由来 gag-protease を発現するキメラ NL4-3 ウイルス複製能の患者初診年による変化
- 野村 滋<sup>1</sup>、菊地 正<sup>1</sup>、細谷 紀彰<sup>3</sup>、古賀 道子<sup>1</sup>、中村 仁美<sup>1</sup>、鯉淵 智彦<sup>2</sup>、藤井 毅<sup>2</sup>、立川 愛<sup>1</sup>、岩本 愛吉<sup>1,2</sup>、三浦 聡之<sup>1</sup>
- 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野<sup>1</sup>、東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科<sup>2</sup>、東京大学医科学研究所感染症国際研究センター<sup>3</sup>
- WS2-008 SIVsmH635FC 感染サルにおける特定のエピトープと遺伝子に偏った中和抗体の誘導
- 桑田 岳夫、松下 修三
- 熊本大学エイズ学研究センター
- WS2-009 中和抵抗性のサル/ヒト免疫不全ウイルスの作製と in vitro における立体構造変化誘導剤による中和感受性増強効果の評価
- 大附 寛幸<sup>1</sup>、三浦 智行<sup>1</sup>、小林 剛<sup>1</sup>、吉村 和久<sup>2</sup>、玉村 啓和<sup>3</sup>、松下 修三<sup>2</sup>、五十嵐 樹彦<sup>1</sup>
- 京都大学ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域<sup>1</sup>、熊本大学 エイズ学研究センター<sup>2</sup>、東京医科歯科大学 生体材料工学研究所<sup>3</sup>
- WS2-010 サル指向性 HIV-1 への感受性に影響を与えるマカクサル TRIM5 遺伝子の多様性
- 齊藤 暁<sup>1</sup>、河野 健<sup>2</sup>、中山 英美<sup>2</sup>、足立 昭夫<sup>3</sup>、野間口 雅子<sup>3</sup>、保富 康宏<sup>4</sup>、俣野 哲朗<sup>5</sup>、塩田 達雄<sup>2</sup>、明里 宏文<sup>1,4</sup>
- 京都大学霊長類研究所<sup>1</sup>、大阪大学微生物病研究所<sup>2</sup>、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部<sup>3</sup>、(独)医薬基盤研究所霊長類医学研究センター<sup>4</sup>、国立感染症研究所エイズ研究センター<sup>5</sup>
- WS2-011 低病原性糖鎖修飾変異 SIV の初期感染、感染防御と関連する宿主遺伝子発現の解析
- 森 一泰<sup>1</sup>、佐藤 洋隆<sup>2</sup>、Ahmed Nursarat<sup>1</sup>、宇田 晶彦<sup>3</sup>、永井 美之<sup>4</sup>
- 国立感染症研究所 エイズ研究センター<sup>1</sup>、北海道大学 遺伝子病制御研究所<sup>2</sup>、国立感染症研究所 獣医学部<sup>3</sup>、理化学研究所 感染症研究ネットワーク支援センター<sup>4</sup>
- WS3-012 HIV 迅速検査試薬の検討および即日検査への応用
- 佐野 貴子<sup>1</sup>、近藤 真規子<sup>1</sup>、須藤 弘二<sup>2</sup>、根岸 昌功<sup>3</sup>、山中 晃<sup>4</sup>、井戸田 一朗<sup>5</sup>、今井 光信<sup>6</sup>、加藤 真吾<sup>2</sup>
- 神奈川県衛生研究所 微生物部<sup>1</sup>、慶應義塾大学 微生物学・免疫学教室<sup>2</sup>、ねぎし内科診療所<sup>3</sup>、新宿東口クリニック<sup>4</sup>、しらかば診療所<sup>5</sup>、田園調布学園大学<sup>6</sup>
-

## WS1 感染機構とその制御

■日時: 12月2日(金) 9:00-10:30

■会場: 第1会場 A (センチュリー)

座長 横田 恭子

(国立感染症研究所免疫部第一室)

村上 努

(国立感染症研究所エイズ研究センター第三室)

### WS1-001 サイクロフィリン A 非依存的に増殖可能な新規 HIV-1 変異株の解析

竹村 太地郎、川又 美弥子、村上 努

国立感染症研究所エイズ研究センター

### WS1-002 HIV-1 Vif 感受性に関する APOBEC3C/F のアミノ酸残基の同定

北村 紳悟<sup>1</sup>、中島 雅晶<sup>1,2</sup>、大出 裕高<sup>1,3</sup>、前島 雅美<sup>1,3</sup>、伊部 史朗<sup>1</sup>、横幕 能行<sup>1</sup>、  
渡邊 信久<sup>2,4</sup>、鈴木 淳巨<sup>2</sup>、杉浦 互<sup>1,5</sup>、岩谷 靖雅<sup>1,5</sup>

国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター<sup>1</sup>、名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻<sup>2</sup>、財団法人 エイズ予防財団<sup>3</sup>、名古屋大学 シンクロトロン光研究センター<sup>4</sup>、名古屋大学大学院 医学研究科 分子総合医学専攻<sup>5</sup>

### WS1-003 Posttranslational modification of HIV-1 Vpu in an innate antiviral response

宮川 敬<sup>1,2</sup>、澤崎 達也<sup>3</sup>、松永 智子<sup>1</sup>、山本 直樹<sup>4</sup>、  
梁 明秀<sup>1</sup>

横浜市立大学医学部微生物学<sup>1</sup>、財団法人エイズ予防財団<sup>2</sup>、愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター<sup>3</sup>、シンガポール大学医学部微生物学<sup>4</sup>

### WS1-004 Nef 蛋白質のミリスチン酸修飾をモニターする新たな免疫システム

森田 大輔<sup>1</sup>、五十嵐 樹彦<sup>2</sup>、堀池 麻里子<sup>2</sup>、森 直樹<sup>3</sup>、杉田 昌彦<sup>1</sup>

京都大学ウイルス研究所細胞制御研究分野<sup>1</sup>、京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域<sup>2</sup>、京都大学農学研究科<sup>3</sup>

### WS1-005 Interaction of HIV-1 Nef and p21-Activated Kinase 2 (PAK2): Nef down-regulates CD1a lipid Ag presentation via PAK2

新谷 英滋<sup>1</sup>、清水 真澄<sup>1</sup>、大脇 敦子<sup>1</sup>、渡邊 恵理<sup>1</sup>、  
松村 次郎<sup>1</sup>、高久 千鶴乃<sup>1</sup>、高橋 秀実<sup>1</sup>、Samantha  
PAOLETTI<sup>2</sup>、Gennaro DE LIBERO<sup>2</sup>

日本医科大学微生物学・免疫学教室<sup>1</sup>、Experimental Immunology, University Hospital, Basel, Switzerland<sup>2</sup>

### WS1-006 急性感染期の HIV-1 増殖における制御性 T 細胞と Vpr の寄与

佐藤 佳<sup>1</sup>、三沢 尚子<sup>2</sup>、佐藤 賢文<sup>3</sup>、松岡 雅雄<sup>3</sup>、伊藤 守<sup>4</sup>、小柳 義夫<sup>1,2</sup>

京都大学ウイルス研究所附属新興ウイルス研究センター<sup>1</sup>、京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域<sup>2</sup>、  
京都大学ウイルス研究所ウイルス制御研究領域<sup>3</sup>、実験動物中央研究所<sup>4</sup>

## WS3 検査方法

■日時: 12月2日(金) 10:30-11:45

■会場: 第1会場B(センチュリー)

座長 加藤 真吾

(慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室)

杉浦 互

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

WS3-013 HIV迅速検査試薬(エスプラインHIV-Ag/Ab、抗HIV抗体とHIV-1p24抗原の同時検出試薬)の即日検査での使用に関する検討

前田 富士子<sup>1</sup>、阿尾 浩子<sup>1</sup>、井野上 章<sup>1</sup>、廣田 智美<sup>1</sup>、藤田 孝子<sup>1</sup>、葆積 照江<sup>1</sup>、  
政岡 史昇<sup>1</sup>、安福 和彦<sup>1</sup>、吉永 治代<sup>1,2</sup>、本多 智恵<sup>2</sup>、皆川 英孝<sup>2</sup>、川畑 拓也<sup>3</sup>、  
桜井 健司<sup>4</sup>、石神 互<sup>4</sup>

JHCクリニック<sup>1</sup>、富士レビオ株式会社<sup>2</sup>、大阪府公衆衛生研究所<sup>3</sup>、特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター(JHC)<sup>4</sup>

WS3-014 ウェスタンブロット法によりHIV-1/HIV-2重複感染が疑われた症例の精査解析

伊部 史朗<sup>1</sup>、近藤 真規子<sup>2</sup>、今村 淳治<sup>1,3</sup>、岩谷 靖雅<sup>1,4</sup>、横幕 能行<sup>1,3</sup>、杉浦 互<sup>1,3,4</sup>

名古屋医療センター臨床研究センター<sup>1</sup>、神奈川県衛生研究所微生物部<sup>2</sup>、名古屋医療センターエイズ治療開発センター<sup>3</sup>、名古屋大学医学部大学院医学系研究科<sup>4</sup>

WS3-015 コバスTaqMan HIV-1検査に用いる血漿中のリンパ球について

松岡 優<sup>1</sup>、丸山 裕美<sup>1</sup>、奥村 志乃<sup>1</sup>、新井 幸枝<sup>1</sup>、斉藤 妙子<sup>1</sup>、森吉 美穂<sup>2</sup>、池淵 研二<sup>2</sup>、筋野 恵介<sup>3</sup>、樽本 憲人<sup>3</sup>、山口 敏行<sup>3</sup>

埼玉医科大学病院中央検査部<sup>1</sup>、埼玉医科大学病院臨床検査医学講座<sup>2</sup>、埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科<sup>3</sup>

WS3-016 HIV-1感染診断用p24抗原イムノクロマトの高感度化

今村 志穂子<sup>1,2</sup>、田中 礼子<sup>1</sup>、田中 勇悦<sup>1</sup>

琉球大学大学院医学研究科免疫学講座<sup>1</sup>、株式会社トロピカルテクノセンター<sup>2</sup>

## 01 複製

■日時: 11月30日 (水) 9:00-10:00

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 櫻木 淳一

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

武内 寛明

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野)

### O1-001 HIV-1 ゲノム二量体化シグナルの新規構造モデル

櫻木 淳一<sup>1)</sup>, 大出 裕高<sup>2,3)</sup>,  
櫻木 小百合<sup>1)</sup>, 塩田 達雄<sup>1)</sup>,  
佐藤 裕徳<sup>2)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野、2) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター、3) 国立病院機構名古屋医療センター

### O1-002 HIV-1 NC は逆転写開始反応を促進する

岩谷 靖雅<sup>1,2)</sup>, 北村 紳悟<sup>3)</sup>, 前島  
雅美<sup>1,4)</sup>, 伊部 史朗<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>1)</sup>,  
杉浦 亙<sup>1,2)</sup>

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、2) 名古屋大学大学院医学研究科  
3) 名古屋大学大学院工学研究科、4) 財団法人エイズ予防財団

### O1-003 HIV-1 Tat と CyclinT1 の相互作用の解析

朝光 かおり<sup>1)</sup>, 酒井 幸<sup>1)</sup>, 森 祐  
多朗<sup>1)</sup>, 岡本 尚<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学

### O1-004 PH ドメイン分子による HIV-1 放出の抑制

藤田 美歌子<sup>1)</sup>, 安楽 健作<sup>2)</sup>,  
大塚 雅巳<sup>3)</sup>

1) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター  
2) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科  
3) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学分野

### O1-005 サル指向性 HIV-1 感染慢性潜伏期のカニクイサルからの感染性ウイルスの回収

高橋 尚史<sup>1,2)</sup>, 齊藤 暁<sup>3)</sup>, 野間口 雅子<sup>4)</sup>,  
松岡 佐織<sup>2)</sup>, 足立 昭夫<sup>4)</sup>, 明里 宏文<sup>3)</sup>, 俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所  
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
3) 京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター  
4) 徳島大学大学院微生物病原学

### O1-006 サルエイズモデル感染初期における MHC クラス I ハプロタイプ別の CTL 反応優位パターンの解析

中村 碧<sup>1,2)</sup>, 高原 悠佑<sup>1,2)</sup>, 阪脇 廣美<sup>3)</sup>,  
堀池 麻里子<sup>3)</sup>, 三浦 智行<sup>3)</sup>, 五十嵐 樹彦<sup>3)</sup>,  
成瀬 妙子<sup>4)</sup>, 木村 彰方<sup>4)</sup>, 俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>, 松岡 佐織<sup>2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所  
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
3) 京都大学ウイルス研究所  
4) 東京医科歯科大学難治疾患研究所

## 02 感染機構-1

■日時: 11月30日 (水) 10:00-11:00

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 森川裕子

(北里大学大学院 感染制御科学府 北里生命科学研究  
所)

佐藤裕徳

(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センタ

ー

第二室)

O2-007 樹状細胞上のCD1d発現の低下は  
HIV感染標的であるCD4陽性NKT  
細胞の誘導率を上昇させる

高久 千鶴乃<sup>1)</sup>, 清水 真澄<sup>1)</sup>,  
大脇 敦子<sup>1)</sup>, 渡邊 恵理<sup>1)</sup>,  
松村 次郎<sup>1)</sup>, 近江 恭子<sup>1)</sup>,  
渡理 英二<sup>1)</sup>, 新谷 英滋<sup>1)</sup>, 高橋 秀実<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学微生物学免疫学教室

O2-008 CXCR4架橋によるCXCR4および  
CCR5親和性HIV-1の感染制御

田中 勇悦<sup>1)</sup>, 児玉 晃<sup>1)</sup>, 西澤 雅子<sup>3)</sup>,  
杉浦 互<sup>2)</sup>, 田中 礼子<sup>1)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座、2) 名古屋  
医療センターエイズ治療開発センター、3) 感染研エイ  
ズ研究センター

O2-009 Conformational restriction  
of the variable loop 3 in the  
liganded form of HIV-1 envelope  
glycoprotein

Mari Takizawa<sup>1)</sup>, Kosuke Miyauchi<sup>1)</sup>,  
Emiko Urano<sup>1)</sup>, Toshio Murakami<sup>2)</sup>,  
Jun Komano<sup>1)</sup>

1) AIDS Research Center, National Institute of  
Infectious Diseases 2) The Chemo-Sero-Therapeutic  
Research institute

O2-010 Establishment of high content  
analysis system for cell-fusion: a  
novel approach to explore the  
underlying mechanism of viral  
envelop induced cell-fusion

鈴木 康弘<sup>1)</sup>, Roy Chandra Nath<sup>1)</sup>,  
今村 淳治<sup>2)</sup>

1) 東北大学大学院医学系研究科 感染病態学、2) 国立  
病院機構 名古屋医療センター

O2-011 HIV 粒子プロテオーム解析に基  
づいた感染初期過程を制御する  
宿主因子の探索と Integrase の  
翻訳後修飾解析

岸本 直樹<sup>1)</sup>, 鬼塚 彩乃<sup>2)</sup>, 高宗 暢暁<sup>3)</sup>,  
杉本 幸彦<sup>3)</sup>, 庄司 省三<sup>3,4)</sup>, 三隅  
将吾<sup>3)</sup>

1) 熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学分野、  
2) 熊本大学 薬学部 薬学生化学分野、3) 熊本大学大  
学院 生命科学研究部 薬学生化学分野、4) 熊本保健  
科学大学

O2-012 HIV-1 gp120/CD4&CXCR4 膜 融  
合複合体エピトープと感染阻止  
効果

戸田 哲平<sup>1)</sup>, 桑原 一彦<sup>1)</sup>, 近藤 直幸<sup>2)</sup>,  
前田 洋助<sup>3)</sup>, 松田 善衛<sup>2)</sup>, 阪口 薫雄<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野  
2) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点  
3) 熊本大学大学院生命科学研究部感染防御学分野

## 03 感染機構-2

■日時: 11月30日 (水) 11:00 - 11:40

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 佐久間 龍太

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学分野)

梁 明秀

(横浜市立大学医学部微生物学分野)

### 03-013 HIV キャプシドの Ser<sub>16</sub> リン酸化による脱殻制御機構に関する解析

堂地 起生<sup>1)</sup>, 高宗 暢暁<sup>2)</sup>, 杉本 幸彦<sup>2)</sup>, 庄司 省三<sup>3)</sup>, 三隅 将吾<sup>2)</sup>

1) 熊本大学大学院薬学教育部創薬生命薬科学専攻薬学生化学分野、2) 熊本大学大学院生命科学研究部薬学生化学分野、3) 熊本保健科学大学

### 03-014 蛍光蛋白質ラベル化 HIV の分子基盤解析

林 宏典<sup>1)</sup>, 青木 宏美<sup>1)</sup>, 鎌田 伸好<sup>1)</sup>, 満屋 裕明<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部血液内科学・感染免疫診療部

### 03-015 mCherry 可視化 HIV を用いた HIV 体内播種早期ダイナミクスと抗 HIV 剤によるその変容の検討-2

鎌田 伸好<sup>1)</sup>, 青木 宏美<sup>1)</sup>, 服部 真一郎<sup>2)</sup>, 林 宏典<sup>1)</sup>, 青木 学<sup>1,3)</sup>, 中村 太平<sup>1)</sup>, 岡田 誠治<sup>3)</sup>, 満屋 裕明<sup>1,4)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液内科学・感染免疫診療部 2) 熊本大学エイズ学センター予防開発分野 3) 熊本保健科学大学・保健科学部 4) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, DHHS, Bethesda, MD 20892, USA

### 03-016 BiFC 法 (蛋白再構成法) による HIV-1 インテグラーゼ の 4 量体形成の可視化及び定量化

中村 朋文<sup>1)</sup>, 満屋 裕明<sup>1)</sup>

1) 熊本大学生命科学研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

## 04 免疫-1

■日時: 11月30日 (水) 13:15-14:15

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 滝口 雅文

(熊本大学エイズ学研究センター)

新谷 英滋

(日本医科大学大学院微生物学・免疫学教室)

### 04-017 HIV 患者の腸管粘膜における感染細胞とプロウイルス DNA・ウイルス RNA の検索

松村 次郎<sup>1)</sup>, 大脇 敦子<sup>1)</sup>, 清水 真澄<sup>1)</sup>, 秋山 純一<sup>3)</sup>, 新谷 英滋<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 高橋 秀実<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学大学院微生物免疫学教室、2) 国立国際医療研究センター治療研究開発センター、3) 国立国際医療研究センター消化器科

### 04-018 長期培養の結果誘導される CD56<sup>+</sup> T 細胞の CD4<sup>+</sup> T 細胞に対する細胞傷害活性

高橋 めぐみ<sup>1)</sup>, 松村 次郎<sup>1)</sup>, 稲垣 慎一郎<sup>1)</sup>, 高橋 秀実<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学医学部微生物免疫学

### 04-019 エイズウイルス外被糖蛋白特異的 CD8 陽性細胞傷害性 T 細胞の遊離エピトープペプチドによる in vivo でのアポトーシス誘導とその制御

中川 洋子<sup>1)</sup>, 清水 真澄<sup>1)</sup>, 野呂瀬 嘉彦<sup>1)</sup>, 若林 あや子<sup>1)</sup>, 高橋 めぐみ<sup>1)</sup>, 高橋 秀実<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学微生物免疫学教室

## O4-020 HIV-1 特異的細胞傷害性T細胞(CTL)による逃避変異の選択と蓄積の機序の解明

赤星 智寛<sup>1)</sup>, 近田 貴敬<sup>1)</sup>, 田村 美子<sup>1)</sup>, 湯永 博之<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 滝口 雅文<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

## O4-021 タイ人 HIV 結核合併患者における granulysin に関する検討

櫻田 紳策<sup>1)</sup>, 田中 崇裕<sup>1)</sup>, Pitabut Nada<sup>2)</sup>, Khusmith Srisin<sup>2)</sup>, 赤川 清子<sup>3)</sup>, 岡田 全司<sup>4)</sup>, 慶長 直人<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター呼吸器疾患研究部、2) マヒドン大学熱帯医学部微生物免疫学、3) 北里大学北里生命科学研究所、4) 近畿中央胸部疾患研究センター臨床研究センター

## O4-022 サル免疫不全ウイルス感染急性期における非中和結合抗体の受動免疫の影響

中根 拓<sup>1,2)</sup>, 山本 浩之<sup>1,2)</sup>, 俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

## 05 免疫-2

■日時: 11月30日 (水) 14:15-14:45

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 神奈木 真理

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野)

田中 勇悦

(琉球大学大学院医学研究科免疫学講座)

## O5-023 HIV-1 の V3 領域に結合する中和抗体の遺伝子組換えによる小型化の試み

丸田 泰広<sup>1)</sup>, 桑田 岳夫<sup>1)</sup>, Ramirez Kristel<sup>1)</sup>, 松下 修三<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター

## O5-024 Induction and analysis of type 17-polarized murine CD8<sup>+</sup> T cells specific for HIV-1 envelope protein

高久 俊<sup>1)</sup>, 中川 洋子<sup>1)</sup>, 大脇 敦子<sup>1)</sup>, 清水 真澄<sup>1)</sup>, 新谷 英滋<sup>1)</sup>, 高橋 めぐみ<sup>1)</sup>, 高橋 秀実<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学微生物学免疫学教室

## O5-025 Cross-reactivity and cross-neutralizing activity of monoclonal antibodies (MAbs) to CD4-induced epitope of gp120 against HIV-1 B, C, CRF\_01 subtype viruses.

Ramirez Kristel<sup>1)</sup>, 丸田 泰広<sup>1)</sup>, 桑田 岳夫<sup>1)</sup>, 吉村 和久<sup>1)</sup>, 玉村 啓和<sup>2)</sup>, 松下 修三<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター、2) 東京医科歯科大学、創薬化学学生体材料工学研究所

## 06 ワクチン

■日時: 11月30日 (水) 14:45-16:05

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 上野 貴将

(熊本大学エイズ学研究センター上野プロジェクト 研究室)

三隅 将吾

(熊本大学薬学部薬学生化学分野)

## O6-026 HIV-1 Gag Virus-Like Particles Induce Natural Killer Cell Immune Responses via Activation and Maturation of Dendritic Cells

CHANG MYINT OO<sup>1,2)</sup>, SUZUKI TOMOYUKI<sup>2)</sup>, SUZUKI HITOSHI<sup>2)</sup>, TAKAKU HIROSHI<sup>1,2)</sup>

1) High Technology Research Centre, Chiba Institute of Technology 2) Department of Life and Environmental Sciences, Chiba Institute of Technology

## O6-027 高病原性 SIV に対する組換え BCG と弱毒ワクシニア (m 8 Δ) エイズワクチンの防御効果

張 陰峰<sup>1)</sup>, 五十嵐 樹彦<sup>2)</sup>, 松尾 和浩<sup>3)</sup>, 堀端 重男<sup>3)</sup>, 横溝 香里<sup>3)</sup>, 三浦 智行<sup>2)</sup>, 大橋 貴<sup>1)</sup>, 山本 直樹<sup>4)</sup>, 志田 壽利<sup>1)</sup>

1) 北海道大学遺伝子病制御研究所、2) 京都大学ウイルス研究所、3) 日本 BCG 研究所、4) National University of Singapore

## O6-028 HIV-1 gag 発現組換えバキュロウイルス感染樹状細胞による免疫応答

後藤 裕一<sup>1)</sup>, Chang Myint Oo<sup>2)</sup>, 高久 洋<sup>2)</sup>, 森 祐美子<sup>1)</sup>, 飯森 香月<sup>2)</sup>

1) 千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻  
2) 千葉工業大学生命環境科学科

## O6-029 Epitope-grafted and antigenized antibodies can be used for versatile vaccination strategies to induce epitope-specific immune responses

Kumagai Yoshihiro<sup>1)</sup>, Takahashi Hidemi<sup>1)</sup>

1) Department of Microbiology and Immunology, Nippon Medical School

## O6-030 HIV-1 第二受容体 CXCR4 の細胞外ドメインを基にしたエイズワクチンの開発研究

橋本 知恵<sup>1,2)</sup>, 鳴海 哲夫<sup>1)</sup>, 野村 渉<sup>1)</sup>, 村上 努<sup>3)</sup>, 山本 直樹<sup>4)</sup>, 玉村 啓和<sup>1,2)</sup>

1) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所、2) 東京医科歯科大学大学院・疾患生命科学研究部、3) 国立感染症研究所・エイズ研究センター、4) シンガポール国立大学

## O6-031 センダイウイルスベクターワクチンの経鼻接種と筋肉内接種の併用効果の解析

栗原 京子<sup>1,2)</sup>, 高原 悠佑<sup>1,2)</sup>, 原 裕人<sup>3)</sup>, 井上 誠<sup>3)</sup>, 飯田 章博<sup>3)</sup>, 朱 亜峰<sup>3)</sup>, 長谷川 護<sup>3)</sup>, 俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター 3) ディナベック社

## O6-032 交叉免疫抗原を介した抗 CCR5 抗体と抗 Env 抗体の誘導

八城 勢造<sup>1)</sup>, 三隅 将吾<sup>2)</sup>, 高橋 義博<sup>3)</sup>, 大坪 靖治<sup>1,3)</sup>, 増山 光明<sup>3)</sup>, 杉本 幸彦<sup>2)</sup>, 高宗 暢暁<sup>2)</sup>, 庄司 省三<sup>2,4)</sup>

1) 熊大院医学薬学教育部・薬学生化学分野、2) 熊大院生命科学部・薬学生化学分野、3) 株式会社 新日本科学、4) 熊本保健科学大学

## O6-033 高い多様性と高病原性を示す SIV に対する感染防御に有効な防御免疫

Ahmed Nursarat<sup>1)</sup>, 齋藤 陽平<sup>1)</sup>, 渡辺 哲<sup>2)</sup>, 山本 直樹<sup>3)</sup>, 永井 美之<sup>4)</sup>, 森 一泰<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) DUKE-NUS GMS, Singapore、3) University of Singapore、4) 理化学研究所 感染症研究ネットワーク支援センター

## 07 歯科

■日時: 11月30日 (水) 9:00-10:00

■会場: 第3会場 (クリスタルルーム)

座長 大多和 由美

(東京歯科大学口腔健康臨床科学講座障害者歯科学分野)

茂木 伸夫

(がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科)

## O7-034 拠点病院における歯科治療の意義—多発カリエス患者とチームアプローチの検討—

山口 泰<sup>1)</sup>, 仁木 孝行<sup>1)</sup>, 伊藤 俊広<sup>2)</sup>



山本 善彦<sup>2)</sup>, 佐藤 功<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構仙台医療センター歯科・歯科口腔外科  
2) 国立病院機構仙台医療センター内科 3) 真壁病院内科

## 07-035 「いきなり AIDS」事例における口腔症状の検討

宇佐美 雄司<sup>1)</sup>, 菱田 純代<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科、2) 国立病院機構名古屋医療センター感染症科

## 07-036 HIV-1 陽性者の唾液中に存在するウイルス RNA の完全性に関する研究

村山 正晃<sup>1)</sup>, 池野 良<sup>1)</sup>, 児玉 泰光<sup>1)</sup>, 田邊 嘉也<sup>2)</sup>, 川口 玲<sup>3,4)</sup>, 山崎 さやか<sup>3)</sup>, 加藤 真吾<sup>3)</sup>, 高木 律男<sup>1)</sup>

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野、2) 新潟大学医歯学総合病院第二内科、3) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室、4) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部

## 07-037 HIV 感染者が口腔ケアを受ける際のモチベーションにかかわる要因の検討

筑丸 寛<sup>1)</sup>, 上田 敦久<sup>2)</sup>, 光藤 健司<sup>1)</sup>, 小森 康雄<sup>3)</sup>, 泉福 英信<sup>4)</sup>, 金子 明寛<sup>5)</sup>, 池田 正一<sup>6)</sup>, 松井 周一<sup>7)</sup>, 友田 安政<sup>8)</sup>, 竹林 早苗<sup>9)</sup>, 松山 奈央<sup>9)</sup>, 白井 輝<sup>10)</sup>, 石ヶ坪 良明<sup>2)</sup>, 藤内 祝<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学 大学院医学研究科 顎顔面口腔機能制御学、2) 横浜市立大学附属病院 リウマチ・血液・感染症内科、3) 東京医科大学 医学部 口腔外科学講座、4) 国立感染症研究所 細菌第一部、5) 東海大学 医学部 外科学系 口腔外科、6) 神奈川歯科大学附属横浜研修センター 総合歯科学講座、7) 横浜市立大学附属病院 薬剤部、8) 横浜市立大学附属病院 福祉・継続看護相談室 9) 横浜市立大学附属病院 看護部 10) 聖ヨゼフ病院

## 07-038 東京 HIV デンタルネットワークに参加する歯科医師およびスタッフを対

象にした、HIV 陽性者歯科診療に関わるアンケート調査によるスタッフの意識と風評被害の実態

中田 たか志<sup>1,2)</sup>, 澤 悦夫<sup>2)</sup>, 鈴木 治仁<sup>2)</sup>, 花岡 新八<sup>2)</sup>

1) 中田歯科クリニック 2) 東京HIVデンタルネットワーク

## 07-039 HIV 陽性者の歯科診療に関する医療連携と患者の受診動向について

賛川 勝吉<sup>1)</sup>

1) にえかわ歯科医院

## 08 生活習慣病関連合併症 (脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害) -1

■日時: 11月30日 (水) 13:15-14:5

■会場: 第3会場 (クリスタルルーム)

座長 神戸 敏行

(総合病院国保旭中央病院内科)

堀場 昌英

(国立病院機構東埼玉病院呼吸器科)

## 08-040 しらかば診療所における、抗 HIV 療法施行中の HIV 感染者に対する禁煙治療の成績

井戸田 一郎<sup>1)</sup>

1) しらかば診療所

## 08-041 HIV 感染者の喫煙についての検討

岡 芙久子<sup>1)</sup>, 斎田 瑞恵<sup>1)</sup>, 内藤 俊夫<sup>1)</sup>, 磯沼 弘<sup>1)</sup>, 新保 卓郎<sup>2)</sup>

1) 順天堂大学医学部総合診療科、2) 国立国際医療研究センター

## 08-042 HIV 陽性者の喫煙に関する調査 (第1報) —喫煙状況と喫煙に関連する因子—

石井 祥子<sup>1)</sup>, 島田 恵<sup>2)</sup>, 池田 和子<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 西岡 みどり<sup>1)</sup>

1) 国立看護大学校研究課程部、2) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

## 08-043 HIV 陽性者の喫煙に関する調査 (第2報) —禁煙への関心度と禁煙に関連する因子—

石井 祥子<sup>1)</sup>, 島田 恵<sup>2)</sup>, 池田 和子<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 西岡 みどり<sup>1)</sup>

1) 国立看護大学校研究課程部、2) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

## 08-044 HIV 感染症と血清尿酸値の関連性

高濱 宗一郎<sup>1)</sup>, 喜安 純一<sup>1)</sup>, 南 留美<sup>1)</sup>, 山本 政弘<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

## 08-045 HIV 感染者における慢性腎臓病の有病率 -2 施設間調査 -

村松 崇<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>2)</sup>, 安藤 稔<sup>3)</sup>, 近澤 悠志<sup>1)</sup>, 清田 育男<sup>1)</sup>, 四本 美保子<sup>1)</sup>, 大瀧 学<sup>1)</sup>, 尾形 享一<sup>1)</sup>, 萩原 剛<sup>1)</sup>, 鈴木 隆史<sup>1)</sup>, 菅沼 明彦<sup>2)</sup>, 今村 顕史<sup>2)</sup>, 天野 景裕<sup>1)</sup>, 山元 泰之<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>2)</sup>, 福武 勝幸<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科、2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科、3) がん・感染症センター都立駒込病院 腎臓内科

## 09-046 剖検例における長期 ART 患者の動脈硬化の病理学的検討

健山 正男<sup>1)</sup>, 井濱 容子<sup>2)</sup>, 深沢 真希<sup>2)</sup>, 錦戸 雅春<sup>3)</sup>, 宮城 京子<sup>4)</sup>, 仲村 秀太<sup>1)</sup>, 田里 大介<sup>1)</sup>, 原永 修作<sup>1)</sup>, 比嘉 太<sup>1)</sup>, 藤田 次郎<sup>1)</sup>, 宮崎 哲次<sup>2)</sup>, 大城市子<sup>5)</sup>, 前田 さおり<sup>4)</sup>, 石郷岡 美保<sup>6)</sup>

1) 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学、2) 同 法医学講座、3) 長崎大学病院・血液浄化部、4) 琉球大学医学部附属病院・看護部、5) 同・精神科、6) 同・地域医療部

## 09-047 当院通院中の HIV 感染者における脂質異常症の現状

細田 智弘<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 今村 顕史<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院

## 09-048 リトナビルブーストダルナビル 1日1回投与の HIV 感染症ナイーブ 8例における 48 週以上長期投与の有効性と脂質に対する影響の検討

徳永 博俊<sup>1)</sup>, 和田 秀穂<sup>1)</sup>, 福田 寛文<sup>1)</sup>, 杉原 尚<sup>1)</sup>

1) 川崎医科大学 血液内科学

## 09-049 日本人男性における抗 HIV 療法開始前後での血清脂質値の変化

遠藤 貴子<sup>1)</sup>, 八鍬 類子<sup>2)</sup>, 池田 和子<sup>2)</sup>, 島田 恵<sup>3)</sup>, 瀧永 博之<sup>2)</sup>, 菊池 嘉<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 西垣 昌和<sup>4)</sup>, 数間 恵子<sup>5)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター、3) 首都大学東京大学院人間健康科学研究科、4) 東京大学大学院医学系研究科、5) 前東京大学大学院医学系研究科

## 09-050 HIV 陽性患者の FDG PET/CT の心臓集積

## 09 生活習慣病関連合併症 (脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害) -2

■日時: 11月30日 (水) 14:15-15:15

■会場: 第3会場 (クリスタルルーム)

座長 伊藤 俊広

(国立病院機構仙台医療センター内科)

高田 清式

(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)

諸岡 都<sup>1)</sup>, 窪田 和雄<sup>1)</sup>, 南本 亮吾<sup>1)</sup>,  
岡崎 百子<sup>1)</sup>, 伊藤 公輝<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>,  
菊池 嘉<sup>2)</sup>, 田沼 順子<sup>2)</sup>, 照屋 勝治<sup>2)</sup>,  
本田 美和子<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院 放射線科核医学、2) 独立行政法人国立国際医療センター病院 エイズ治療・研究開発センター

遠藤 知之<sup>1,2)</sup>, 藤本 勝也<sup>1,2)</sup>, 後藤 秀樹<sup>1,2,3)</sup>,  
白鳥 聡一<sup>2,3)</sup>, 杉田 純一<sup>2)</sup>, 重松 明男<sup>2)</sup>,  
西尾 充史<sup>1,2)</sup>, 近藤 健<sup>2)</sup>, 田中 淳司<sup>2)</sup>,  
橋野 聡<sup>2)</sup>, 今村 雅寛<sup>2)</sup>, 佐藤 典宏<sup>2,4)</sup>

1) 北海道大学病院 第二内科 2) 北海道大学病院 造血細胞治療センター 3) エイズ予防財団 4) 北海道大学病院 高度先進医療支援センター

**O9-051 当院通院中の HIV 感染症患者における骨密度低下のリスク因子と経時的な変化についての考察**

古賀 一郎<sup>1)</sup>, 吉野 友祐<sup>1)</sup>, 松永 直久<sup>1)</sup>,  
北沢 貴利<sup>1)</sup>, 太田 康男<sup>1)</sup>

1) 帝京大学医学部内科学講座

**O10-054 HIV 感染合併赤痢アメーバ症の病態とシスト駆除有用性の検討**

渡辺 恒二<sup>1,2)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>,  
田村 久美<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>,  
水島 大輔<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>,  
本田 元人<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>,  
矢崎 博久<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>,  
瀧永 博之<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>,  
岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター、2) 熊本大学大学院医学教育部博士課程

## O10 STI・STD

■日時: 11月30日 (水) 15:15-16:05

■会場: 第3会場 (クリスタルルーム)

座長 井戸田 一郎

(しらかば診療所)

健山 正男

(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科)

**O10-052 当センターにおける HIV 合併梅毒患者の検討**

青木 孝弘<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>,  
田村 久美<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>,  
西島 健<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>,  
渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>,  
田沼 順子<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>,  
照屋 勝治<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>,  
岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

**O10-055 「HIV 陽性者のセクシュアルヘルス支援のための研修会」の5年間の経緯—参加者によるプログラム評価の比較分析を主軸として**

井上 洋士<sup>1)</sup>, 村上 未知子<sup>2)</sup>, 有馬 美奈<sup>3)</sup>,  
大野 稔子<sup>4)</sup>, 岡野 江美<sup>5)</sup>, 豊島 裕子<sup>6)</sup>,  
岡本 学<sup>7)</sup>, 安尾 利彦<sup>7)</sup>, 白阪 琢磨<sup>7)</sup>

1) 放送大学、2) HIV/AIDS 看護学会、3) がん・感染症センター都立駒込病院、4) 北海道大学病院、5) 東京女子医科大学病院、6) 大阪市立総合医療センター、7) 国立病院機構大阪医療センター

**O10-056 HIV 陽性判明後に梅毒に感染した症例 (再感染を含む) の検討**

大田 加与<sup>1)</sup>, 藤本 卓司<sup>2)</sup>, 松浦 基夫<sup>3)</sup>,  
大成 功一<sup>1)</sup>

1) 市立堺病院呼吸器内科、2) 市立堺病院総合内科、

**O10-053 HIV 感染者における梅毒血清反応と抗カルジオリピン抗体に関する検討**

3) 市立堺病院腎代謝免疫内科

## O11 動物モデル

■日時: 11月30日 (水) 13:15-14:05

■会場: 第4会場 (平安)

座長 五十嵐 樹彦

(京都大学ウイルス研究所附属感染症モデル研究センター霊長類モデル研究領域)

岡田 誠治

(熊本大学エイズ学研究センター)

O11-057 ヒト化 NOG マウスを用いた R5 HIV-1 標的組換え VSV の薬効性評価

大隈 和<sup>1)</sup>, 深川 耕次<sup>1,4)</sup>, 高馬 卓也<sup>1,4)</sup>, 渡辺 哲<sup>2)</sup>, 田中 勇悦<sup>3)</sup>, 山本 直樹<sup>2)</sup>, 浜口 功<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所血液・安全性研究部、2) 国立感染症研究所エイズ研究センター、3) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座、4) シスメックス株式会社

O11-058 NOD/SCID/Jak3<sup>-/-</sup> マウスを用いたヒト NK 細胞モデルマウスの構築および HIV-1 感染

服部 真一郎<sup>1)</sup>, 刈谷 龍昇<sup>1)</sup>, Pattaravadee Srikoon<sup>1)</sup>, 松田 幸樹<sup>1)</sup>, 岡田 誠治<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター

O11-059 麻疹ウイルス偽型化 HIV-1 抑制性 shRNA 発現レンチウイルスベクターのヒト化マウスにおける in vivo 評価

渋谷 謙太郎<sup>1,2)</sup>, 寺原 和孝<sup>1)</sup>, 石毛 真行<sup>1)</sup>, 光木 裕也<sup>1,2)</sup>, 横田 (恒次) 恭子<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所免疫部 2) 公益財団法人エイズ予防財団

O11-060 mCherry 可視化 HIV を用いた HIV 体内播種早期ダイナミクスと抗 HIV 剤によるその変容の検討 -1

青木 宏美<sup>1)</sup>, 鋤田 伸好<sup>1)</sup>, 服部 真一郎<sup>2)</sup>, 林 宏典<sup>1)</sup>, 青木 学<sup>3)</sup>, 岡田 誠治<sup>2)</sup>, 満屋 裕明<sup>1,4)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液内科学・感染症免疫診療部、2) 熊本大学エイズ学センター予防開発分野、3) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科、4) 米国立癌研究所・レトロウイルス感染症部

O11-061 ラット T 細胞への HIV-1 感染における CSA、As2O3 の増強効果

宮崎 かや<sup>1)</sup>, 張 険峰<sup>1)</sup>, 大橋 貴<sup>1)</sup>, 志田 壽利<sup>1)</sup>

1) 北海道大学 遺伝子制御研究所

## O12 宿主因子-1

■日時: 11月30日 (水) 14:05-15:05

■会場: 第4会場 (平安)

座長 増田 貴夫

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野)

中山 英美

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

O12-062 抗レトロウイルス療法副作用の発症に関わる宿主因子

中山 英美<sup>1)</sup>, Likanonsakul Sirirat<sup>2)</sup>, Rattanatham Tippawan<sup>2)</sup>, Feangvud Siriluk<sup>2)</sup>, Uttayamakul Sumonmal<sup>2)</sup>, Prasithsirikul Wisit<sup>2)</sup>, Tarkowski Maciej<sup>3)</sup>, Riva Agostino<sup>3)</sup>, 塩田 達雄<sup>1)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野、2) Bamrasnaradura Infectious Diseases Institute, Department of Disease Control, Ministry of Public Health, Nonthaburi, Thailand、3) Luigi Sacco Hospital, University of Milan, Milan, Italy

O12-063 Inhibition of HIV-1 production by IFITM family proteins, newly identified IFN-inducible HIV-1 restriction factors

Chutiwitoonchai Nopporn<sup>1)</sup>, Suzu Shinya<sup>1)</sup>

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University

## O12-064 ZBRK1/ZNF350 は HIV-1 LTR の転写活性を抑制する

西辻 裕紀<sup>1)</sup>, 高久 洋<sup>1)</sup>

1) 千葉工業大学工学部生命環境科学科

## O12-065 エンドソームに局在する宿主自然免疫因子による HIV-1 増殖抑制

久保 嘉直<sup>1,2)</sup>, 神山 陽香<sup>1,2)</sup>, 鹿子木 桂<sup>1,2)</sup>, 田中 勇悦<sup>3)</sup>, 林 日出喜<sup>2)</sup>, 松山 俊文<sup>2)</sup>, 佐藤 裕徳<sup>4)</sup>, 山本 直樹<sup>5)</sup>

1) 長崎大学熱帯医学研究所エイズ感染防御分野、2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染防御因子解析学教室、3) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座、4) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター、5) 国立シンガポール大学医学部微生物学教室

## O12-066 HIV-1 粒子形成過程における Rab11a 蛋白質の機能解析

呉 鴻規<sup>1,2)</sup>, 竹村 太地郎<sup>1)</sup>, 川又 美弥子<sup>1)</sup>, 千葉 丈<sup>2)</sup>, 村上 努<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、  
2) 東京理科大学 基礎工学部 生物工学科

## O12-067 潜伏感染細胞における Polycomb group による HIV-1 転写抑制機構の解明

松田 有加<sup>1)</sup>, 山岸 誠<sup>1)</sup>, 小林 美栄<sup>1)</sup>, 原 拓馬<sup>1)</sup>, 石田 尚臣<sup>2)</sup>, 渡邊 俊樹<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻、2) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点

## O13 分子疫学

■日時: 11月30日 (水) 15:05-16:05

■会場: 第4会場 (平安)

座長 武部 豊

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

椎野 禎一郎

(国立感染症研究所感染症情報センター・エイズ研究センター)

## O13-068 カメルーン共和国北西部における HIV の分子疫学

井戸 栄治<sup>1,2)</sup>, Ndembi Nicaise<sup>3,4)</sup>, 岩元 静香<sup>5)</sup>, Ngansop Charlotte<sup>3)</sup>, Lemey Philippe<sup>6)</sup>, Abimiku Alashle<sup>4)</sup>, Mbanya Dora<sup>3)</sup>, Kaptue Lazare<sup>3)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科、2) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana、3) University of Yaounde-I、4) Institute of Human Virology-Nigeria、5) 大阪大学微生物研究所、6) Rega Institute, Katholic University Leuven

## O13-069 分子疫学的視点からみたアジアにおけるエイズ流行の最新動向の分析: 中国における特定リスク集団から一般集団への急速なウイルス播種

武部 豊<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

## O13-070 2010 年新規感染者から検出された CRF01\_AE/B リコンビナント HIV-1

近藤 真規子<sup>1)</sup>, 佐野 貴子<sup>1)</sup>, 井戸田 一朗<sup>2)</sup>, 山中 晃<sup>3)</sup>, 岩室 紳也<sup>4)</sup>, 相楽 裕子<sup>5)</sup>, 立川 夏夫<sup>5)</sup>, 今井 光信<sup>6)</sup>, 加藤 真吾<sup>7)</sup>

1) 神奈川県衛生研究所微生物部、2) しらかば診療所、3) 新宿東口クリニック、4) 厚木市立病院、5) 横浜市立市民病院、6) 田園調布学園大学、7) 慶應義塾大学医学部

## O13-071 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向

服部 純子<sup>1),2)</sup>、椎野 禎一郎<sup>3)</sup>、瀧永 博之<sup>4)</sup>、林田 庸総<sup>4)</sup>、吉田 繁<sup>5)</sup>、千葉 仁志<sup>5)</sup>、小池 隆夫<sup>5)</sup>、佐々木 悟<sup>6)</sup>、伊藤 俊広<sup>6)</sup>、内田 和江<sup>7)</sup>、原 孝<sup>8)</sup>、佐藤 武幸<sup>9)</sup>、上田 敦久<sup>10)</sup>、石ヶ坪 良明<sup>10)</sup>、近藤 真規子<sup>11)</sup>、長島 真美<sup>12)</sup>、貞升 健志<sup>12)</sup>、古賀 一郎<sup>13)</sup>、太田 康男<sup>13)</sup>、山元 泰之<sup>14)</sup>、福武 勝幸<sup>14)</sup>、加藤真吾<sup>15)</sup>、藤井 毅<sup>16)</sup>、岩本愛吉<sup>16)</sup>、西澤雅子<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、伊部史朗<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、上田幹夫<sup>17)</sup>、大家正義<sup>18)</sup>、田邊嘉也<sup>18)</sup>、渡辺香奈子<sup>19)</sup>、渡邊 大<sup>20)</sup>、白阪琢磨<sup>20)</sup>、小島洋子<sup>21)</sup>、森 治代<sup>21)</sup>、中桐逸博<sup>22)</sup>、藤井輝久<sup>23)</sup>、高田昇<sup>23)</sup>、木村昭郎<sup>23)</sup>、南留美<sup>24)</sup>、山本政弘<sup>24)</sup>、松下修三<sup>25)</sup>、藤田次郎<sup>26)</sup>、健山正男<sup>26)</sup>、杉浦 互<sup>1),3)</sup>

1)(独)名古屋医療センター、2)エイズ予防財団、3)国立感染症研究所、4)国立国際医療研究センター、5)北海道大学、6)(独)仙台医療センター、7)埼玉県衛生研究所、8)茨城県衛生研究所、9)千葉大学、10)横浜市立大学、11)神奈川県衛生研究所、12)東京都健康安全研究センター、13)帝京大学、14)東京医科大学、15)慶應義塾大学、16)東京大学医科学研究所、17)石川県立中央病院、18)新潟大学、19)新潟県保健環境科学研究所、20)(独)大阪医療センター、21)大阪府立公衆衛生研究所、22)川崎医科大学、23)広島大学病院、24)(独)九州医療センター、25)熊本大学、26)琉球大学

## O13-072 国内感染者集団の大規模塩基配列解析 2：Subtype B の動向と微小系統群の同定

椎野 禎一郎<sup>1),2)</sup>、服部 純子<sup>3)</sup>、杉浦 互<sup>2),3)</sup>、日本薬剤耐性 HIV 調査研究グループ<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染症情報センター、2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、3) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

## O13-073 Roche-454 Genome Sequencer FLX Titanium による HIV 準種解析系の構築

大出 裕高<sup>1),2)</sup>、本村 和嗣<sup>2)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、瀧永 博之<sup>3)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 第2室、3) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

## O14 腫瘍 (カポジ肉腫以外)

■日時: 11月30日 (水) 9:00-10:00

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 片野 晴隆

(国立感染症研究所感染病理部)

宮川 寿一

(熊本大学医学部附属病院)

## O14-074 本邦におけるエイズ関連ホジキンリンパ腫 19 例の実態

四本 美保子<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>、萩原 将太郎<sup>3)</sup>、田沼 順子<sup>4)</sup>、上平 朝子<sup>5)</sup>、永井 宏和<sup>6)</sup>、藤川 裕子<sup>7)</sup>、北野 喜良<sup>8)</sup>、有馬 靖佳<sup>9)</sup>、宇野 健司<sup>10)</sup>、岩井 俊樹<sup>11)</sup>、本郷 偉元<sup>12)</sup>、岡田 誠治<sup>13)</sup>

1) 東京医科大学臨床検査医学科、2) 都立駒込病院感染症科、3) 国立国際医療センター戸山病院血液内科、4) 国立国際医療センター戸山病院エイズクリニカルセンター、5) 大阪医療センター免疫感染症科、6) 名古屋医療センター臨床研究センター、7) 佐久総合病院内科、8) まつもと医療センター松本病院内科、9) 田附興会医学研究所北野病院血液内科、10) 奈良県立医科大学附属病院感染症センター、11) 京都第一赤十字病院血液内科、12) 武蔵野赤十字病院感染症科、13) 熊本大学エイズ学研究センター

## O14-075 当院で治療を行った HIV 感染症合併肺癌の 13 名の臨床的検討

大熊 裕介<sup>1)</sup>、柳澤 如樹<sup>2)</sup>、高木 雄亮<sup>1)</sup>、細見 幸生<sup>1)</sup>、菅沼 明彦<sup>2)</sup>、今村 顕史<sup>2)</sup>、井口 万里<sup>1)</sup>、岡村 樹<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>2)</sup>、澁谷 昌彦<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院呼吸器内科 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

## O14-076 <口腔ケア施行により口腔粘膜障害の改善が認められた HIV 関連悪性リンパ腫の 1 例>

千葉 緑<sup>1)</sup>, 茂木 伸夫<sup>1)</sup>, 池上 由美子<sup>1)</sup>,  
味澤 篤<sup>2)</sup>, 柳沢 如樹<sup>2)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 歯科口腔外科、  
2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

## O14-077 DRV と RAL の併用療法中に化学療法を導入した非エイズ関連肺腺癌の 1 例

森 尚義<sup>1)</sup>, 前田 光<sup>2)</sup>, 上田 あすか<sup>1)</sup>,  
藤原 研太郎<sup>3)</sup>, 谷口 晴記<sup>4)</sup>

1) 三重県立総合医療センター薬剤部、2) 三重県立総合医療センター呼吸器科、3) 三重大学医学部附属病院呼吸器内科、4) 三重県立総合医療センター産婦人科

## O14-078 脳原発性悪性リンパ腫にて発症した AIDS 患者の 2 例

佐藤 祐<sup>1)</sup>, 阪下 健太郎<sup>1)</sup>, 藤田 明<sup>1)</sup>

1) 東京都立多摩総合医療センター呼吸器内科

## O14-079 当院におけるエイズ関連非ホジキンリンパ腫の治療状況

田沼 順子<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>,  
水島 大輔<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>,  
渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>,  
塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 瀧永博之<sup>1)</sup>,  
照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 萩原 将太郎<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター、2) 国立国際医療研究センター 血液内科

## O15 腫瘍(カポジ肉腫)

■日時: 11月30日 (水) 10:00-11:00

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 田沼 順子

(国立国際医療研究センター)

四本 美保子

(東京医科大学病院臨床検査医学科)

## O15-080 当院における非エイズ指標悪性腫瘍の臨床的検討

小泉 祐介<sup>1)</sup>, 廣田 和之<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>1)</sup>,  
坂東 裕基<sup>1)</sup>, 大寺 博<sup>1)</sup>, 矢嶋 敬史郎<sup>1)</sup>,  
富成 伸次郎<sup>1)</sup>, 渡邊 大<sup>1)</sup>, 西田 恭治<sup>1)</sup>,  
上平 朝子<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

## O15-081 超音波内視鏡 (EBUS) で観察し得た AIDS 合併カポジ肉腫の 1 例

勝田 倫子<sup>1)</sup>, 望月 吉郎<sup>1)</sup>, 中原 保治<sup>1)</sup>,  
河村 哲治<sup>1)</sup>, 佐々木 信<sup>1)</sup>, 岡本 裕子<sup>1)</sup>,  
守本 明枝<sup>1)</sup>, 塚本 宏壮<sup>1)</sup>, 水守 康之<sup>1)</sup>,  
真弓 哲一郎<sup>1)</sup>, 田畑 寿子<sup>1)</sup>, 渡部 悦子<sup>1)</sup>,  
横山 俊秀<sup>1)</sup>, 三村 一行<sup>1)</sup>, 鏡 亮吾<sup>1)</sup>,  
大西 康貴<sup>1)</sup>

1) NHO 姫路医療センター

## O15-082 日本人 MSM におけるカポジ肉腫関連ヘルペスウイルス (KSHV/HHV-8) 抗体保有率について

片野 晴隆<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>, 菅野 隆行<sup>1)</sup>,  
福本 瞳<sup>1)</sup>, 中山 智之<sup>2)</sup>, 新ヶ江 章友<sup>3)</sup>,  
杉浦 互<sup>2)</sup>, 市川 誠一<sup>3)</sup>, 安岡 彰<sup>4)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部、3) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科 感染予防学研究室、4) 長崎大学病院 感染制御教育センター

## O15-083 難治性 AIDS 関連カポジ肉腫に対してパクリタキセルが奏功した 1 例

加藤 博史<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 細田 智弘<sup>1)</sup>, 菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 今村 顕史<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん感染症センター・都立駒込病院

## O15-084 HIV 関連カポジ肉腫の臨床像と治療方針に関する検討

今村 顕史<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター 都立駒込病院感染症科

## O15-085 リポゾーマルドキソルビシンが著効した舌原発カポジ肉腫の 1 例

宮川 寿一<sup>1)</sup>, 井上 明威<sup>2)</sup>, 満屋 裕明<sup>1)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部 2) 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

## O16 肝炎

■日時: 11月30日 (水) 13:15-14:15

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 塚田 訓久

( (国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究 開発センター医療情報室)

山元 泰之

( (東京医科大学臨床検査医学講座)

## O16-086 HCV/HIV 重複感染症例において IFN の治療効果に影響を及ぼす因子の解析

大石 裕樹<sup>1)</sup>, 石川 奈緒子<sup>1)</sup>, 南 留美<sup>2)</sup>, 高濱 宗一郎<sup>2)</sup>, 喜安 純一<sup>2)</sup>, 石橋 誠<sup>1)</sup>, 山本 政弘<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構九州医療センター薬剤科、

2) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

## O16-087 ART にエンテカビルを併用した HIV/HBV 重複感染患者の治療

橋本 英樹<sup>1)</sup>, 柳 富子<sup>1)</sup>, 葉山 惟信<sup>2)</sup>, 三浦 英明<sup>2)</sup>, 山田 春木<sup>2)</sup>

1) 社会保険中央総合病院 血液内科、2) 社会保険中央総合病院 消化器内科

## O16-088 高 B 型肝炎ウイルス血症にもかかわらず、約 1 年にわたり HBc-Ab および HBc-IgM が陰性と判定された HIV 陽性者 2 例の検討

古賀 道子<sup>1,2)</sup>, 菊池 正<sup>2)</sup>, 清水 少一<sup>3)</sup>, 安達 英輔<sup>3)</sup>, 佐藤 秀憲<sup>3)</sup>, 大亀 路生<sup>3)</sup>, 宮崎 菜穂子<sup>2)</sup>, 中村 仁美<sup>1,2)</sup>, 鯉淵 智彦<sup>3)</sup>, 岩本 愛吉<sup>1,2,3)</sup>, 藤井 毅<sup>3)</sup>, 三浦 聡之<sup>2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所 附属感染症国際センター、  
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野、3) 東京大学医科学研究所 附属病院感染免疫内科



## O16-089 北タイ政府系病院 HIV 外来通院 B 型肝炎重複感染者におけるラミブジン耐性ウイルスの出現状況について

土屋 菜歩<sup>1,2)</sup>, Ruchusawat Krinangsak<sup>3)</sup>, Pathipvanich Panita<sup>4)</sup>, 田中 靖人<sup>5)</sup>, Sawanpanyalert Pathom<sup>3)</sup>, 有吉 紅也<sup>1,2)</sup>

1) 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野 (熱研内科) 2) 長崎大学グローバル COE プログラム 3) タイ国立衛生研究所 4) ランパン病院デイクアセンター 5) 名古屋市立大学大学院医学研究科ウイルス学分野

## O16-090 HBV 新規感染における HIV 重感染の影響についての検討

渡邊 綱正<sup>1,3)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>, 今村 淳治<sup>3)</sup>, 杉浦 互<sup>4)</sup>, 田中 靖人<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学大学院 病態医科学、2) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター、3) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 感染症科、4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

## O16-091 HIV/HCV 重複感染患者は思った以上に肝障害が進行している：肝移植のタイミングに関する考察

高槻 光寿<sup>1)</sup>, 曾山 明彦<sup>1)</sup>, 原 貴信<sup>1)</sup>, 村岡 いづみ<sup>1)</sup>, 黒木 保<sup>1)</sup>, 足立 智彦<sup>1)</sup>, 大野 慎一郎<sup>1)</sup>, 金高 賢悟<sup>1)</sup>, 江口 晋<sup>1)</sup>

1) 長崎大学大学院移植・消化器外科

## O17-092 Tenofovir の投与による血中ミトコンドリア CK 活性の上昇に関する研究

渡邊 大<sup>1,2)</sup>, 吉野 宗宏<sup>3)</sup>, 矢倉 裕輝<sup>3)</sup>, 廣田 和之<sup>2)</sup>, 米本 仁史<sup>2)</sup>, 坂東 裕基<sup>2)</sup>, 矢嶋 敬史郎<sup>2)</sup>, 小泉 祐介<sup>2)</sup>, 大寺博<sup>2)</sup>, 富成 伸次郎<sup>2)</sup>, 西田 恭治<sup>2)</sup>, 桑原 健<sup>4)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1,2)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部、2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科、3) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科、4) 国立病院機構南京都病院薬剤科

## O17-093 抗 HIV 療法による血清中 AGE(advanced glycation endproducts) および酸化ストレスマーカーの変化

南 留美<sup>1)</sup>, 高濱 宗一郎<sup>1)</sup>, 喜安 純一<sup>1)</sup>, 山本 政弘<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構 九州医療センター

## O17-094 Raltegravir 服用後の肝機能検査値上昇のリスク因子

日笠 真一<sup>1)</sup>, 安田 恵<sup>1)</sup>, 木村 健<sup>1)</sup>, 澤田 暁宏<sup>2)</sup>, 徳川 多津子<sup>2)</sup>, 日笠 聡<sup>2)</sup>

1) 兵庫医科大学病院薬剤部、2) 兵庫医科大学

## O17-095 Atazanavir による尿路結石の検討

濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>, 田村 久美<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

## O17-096 TDF/FTC 内服中、尿中 $\beta$ MG を経時的に測定した症例の検討

松浦 基夫<sup>1)</sup>, 宇高 歩<sup>2)</sup>, 大田 加与<sup>3)</sup>,

## O17 副作用

■日時: 11月30日 (水) 14:15-15:15

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 山本 政弘

(国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター)

田邊 嘉也

(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

藤本 卓司<sup>4)</sup>, 大成 功一<sup>3)</sup>

1) 市立堺病院腎代謝免疫内科、2) 市立堺病院薬剤部、  
3) 市立堺病院呼吸器内科、4) 市立堺病院総合内科

## O17-097 Rifabutin associated uveitis と 診断した日本人 HIV 感染症患者の一例

古賀 一郎<sup>1)</sup>, 吉野 友祐<sup>1)</sup>, 松永 直久<sup>1)</sup>,  
北沢 貴利<sup>1)</sup>, 太田 康男<sup>1)</sup>

1) 帝京大学医学部内科学講座

## O18 日和見感染-1

■日時: 11月30日 (水) 15:15-16:05

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 上平 朝子

(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

藤井 毅

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

## O18-098 新規に HIV 感染が判明した患者と 中枢神経感染症 (2010 年以降)

吉村 幸浩<sup>1)</sup>, 鈴木 琢光<sup>1)</sup>, 保科 斉生<sup>1)</sup>,  
立川 夏夫<sup>1)</sup>

1) 横浜市立市民病院感染症内科

## O18-099 cART および塩酸メフロキンは どこまで PML の予後を改善できるのか?

三木田 馨<sup>1)</sup>, 前田 卓哉<sup>1)</sup>, 藤倉 雄二<sup>1)</sup>,  
神崎 裕二<sup>1)</sup>, 原 悠<sup>1)</sup>, 叶 宗一郎<sup>1)</sup>,  
岸田 修二<sup>2)</sup>, 西條 政幸<sup>3)</sup>, 中道 一生<sup>3)</sup>,  
川名 明彦<sup>1)</sup>

1) 防衛医科大学校内科学2 (感染症・呼吸器)、2) がん・  
感染症センター都立駒込病院 脳神経内科、3) 国立感  
染症研究所ウイルス第一部 第三室

## O18-100 ART を開始した後、ステロイ ド投与を併用し神経学的後遺症を抑制し

232 ( 56 )

## えた進行性多巣性白質脳症の1例

中村 春香<sup>1)</sup>, 本郷 偉元<sup>1)</sup>, 安藤 尚子<sup>1)</sup>,  
半田 淳比古<sup>2)</sup>, 上田 研<sup>3)</sup>, 長田 薫<sup>3)</sup>

1) 武蔵野赤十字病院 感染症科、2) 東京都立小児総合  
医療センター、3) 武蔵野赤十字病院 総合診療科

## O18-101 日本における HIV 感染症に伴 う日和見合併症の動向

塚本 美鈴<sup>1,3)</sup>, 高見 陽子<sup>1)</sup>, 栗原 慎太  
郎<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 安岡 彰<sup>1)</sup>

1) 長崎大学病院感染制御教育センター、2) 国立国際  
医療研究センター戸山病院 エイズ治療・研究開発セ  
ンター、3) 九州大学病院油症ダイオキシン研究診療セ  
ンター

## O18-102 肛門直腸原発 NHL を発症した HIV/HBV 重複感染の1例

軽部 央子<sup>1)</sup>, 竹田 裕介<sup>1)</sup>, 橋本 英樹<sup>1)</sup>,  
柳 富子<sup>1)</sup>, 日高 仁<sup>2)</sup>, 山名 哲郎<sup>2)</sup>,  
飯原 久仁子<sup>3)</sup>

1) 社会保険中央総合病院 内科、2) 社会保険中央総  
合病院 肛門科 3) 社会保険中央総合病院 病理

## O19 医療体制・施策-1

■日時: 11月30日 (水) 9:00-10:10

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 井戸田 一朗

(しらかば診療所)

## O19-103 診療所における HIV 感染症診 療の試み-4

根岸 昌功<sup>1)</sup>, 河村 祐貴子<sup>1)</sup>

1) ねぎし内科診療所

## O19-104 (取り下げ)

## O19-105 一般内科診療所で HIV 感染症を診る

山本 景三<sup>1)</sup>

1) いむれ内科クリニック

## O19-106 抗 HIV 薬処方箋の受け入れ現状と問題点

中村 美紀<sup>1)</sup>, 平山 淳恵<sup>1)</sup>, 奥田久美子<sup>1)</sup>,  
城 好江<sup>1)</sup>, 赤野 威彦<sup>1)</sup>, 堅田陽介<sup>1)</sup>

1) 法円坂薬局

## O19-107 自立支援施設と連携することで HAART 導入に成功した一事例

仲澤 恵<sup>1)</sup>, 高野 尊行<sup>2)</sup>, 皆川 恵一<sup>3)</sup>,  
大原 千知<sup>4)</sup>, 荒井 邦彦<sup>5)</sup>, 阿久津 郁夫<sup>4)</sup>

1) 大田原赤十字病院看護部、2) 大田原赤十字病院薬剤部、3) 大田原赤十字病院地域医療福祉連携課、4) 大田原赤十字病院内科 5) 済生会宇都宮病院総合内科

## O19-108 HIV/AIDS 中核拠点病院薬剤部(科)における HIV に関するアンケート結果について

千田 昌之<sup>1)</sup>, 植田 孝介<sup>2)</sup>, 國本 雄介<sup>3)</sup>, 井上 正朝<sup>4)</sup>, 佐藤 麻希<sup>5)</sup>, 山田 徹<sup>6)</sup>, 斎藤 美保<sup>7)</sup>, 田川 尚行<sup>8)</sup>, 下川 千賀子<sup>9)</sup>, 柴田 雅章<sup>10)</sup>, 吉野 宗宏<sup>11)</sup>, 畝井 浩子<sup>12)</sup>, 松本 俊治<sup>13)</sup>, 松浦 清隆<sup>14)</sup>, 大石 裕樹<sup>15)</sup>, 増田 純一<sup>1)</sup>, 中村 真依<sup>1)</sup>, 西澤 優子<sup>1)</sup>, 三上 二郎<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部、2) 北海道大学病院、3) 札幌医科大学付属病院、4) 旭川医科大学病院、5) 仙台医療センター、6) 新潟市民病院、7) 新潟大学歯学総合病院、8) 新潟県立新発田病院、9) 石川県立中央病院、10) 名古屋医療センター、11) 大阪医療センター、12) 広島大学病院、13) 広島市民病院、14) 県立広島病院、15) 九州医療センター

## O19-109 アドヒアランス不良の HIV 感染患者に対して社会資源を活用した一例

濱岡 照隆<sup>1)</sup>, 堀田 修次<sup>1)</sup>, 田阪 武志<sup>1)</sup>, 角 英<sup>1)</sup>, 宮本 理恵子<sup>4)</sup>, 岡田 眞喜枝<sup>3)</sup>, 石黒 香澄<sup>3)</sup>, 坂田 達朗<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 福山医療センター 薬剤科、2) 国立病院機構 福山医療センター 肝臓内科、3) 国立病院機構 福山医療センター 看護部、4) 国立病院機構 福山医療センター MSW

## O20 医療体制・施策-2

■日時: 11月30日(水) 10:10-11:10

■会場: 第6会場(飛鳥)

座長 根岸 昌功

(ねぎし内科診療所)

## O20-110 初診時エイズ発症 HIV 感染症例(いきなりエイズ)に関する検討

伊藤 俊広<sup>1)</sup>, 山本 善彦<sup>1)</sup>, 塚本 琢也<sup>2)</sup>, 佐藤 功<sup>1,3)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター内科、2) エイズ予防財団、3) 真壁病院

## O20-111 当院診療圏における HIV 感染者診療サービスに関する患者評価—アンケート調査の結果解析

上田 敦久<sup>1)</sup>, 竹林 早苗<sup>2)</sup>, 松山 奈央<sup>2)</sup>, 友田 安政<sup>3)</sup>, 松井 周一<sup>4)</sup>, 筑丸 寛<sup>5)</sup>, 白井 輝<sup>6)</sup>, 石ヶ坪 良明<sup>1)</sup>

1) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科、2) 同看護部 3) 同福祉・継続看護相談室、4) 同薬剤部、5) 同歯科・口腔外科、6) 聖ヨゼフ病院

## O20-112 HIV 医療における施設ごとのチーム医療の状況を把握する試み

仲倉 高広<sup>1)</sup>, 宮本 哲雄<sup>1)</sup>, 小西 加保留<sup>2)</sup>, 山中 京子<sup>3)</sup>, 松岡 千代<sup>4)</sup>, 白阪 琢磨<sup>5)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室、2) 関西

学院大学人間福祉学部、3) 大阪府立大学人間社会学部、  
4) 兵庫県立大学看護学部、5) 国立病院機構大阪医療  
センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

## O20-113 HIV 感染症症例への当院緩和ケアチームの介入について - チームスタッフの介入前後の姿勢の変化について

森田 眞子<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室/がんサ  
ポートチーム

## O20-114 エイズ拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護に関する調査」結果から (その1) ~診療報酬の算定状況から見た看護ケアの状況と課題~

山田 三枝子<sup>1)</sup>, 高山 次代<sup>2)</sup>, 武田 謙  
治<sup>3)</sup>, 小山 美紀<sup>3)</sup>, 大金 美和<sup>3)</sup>, 池田  
和子<sup>3)</sup>, 島田 恵<sup>4)</sup>, 岡 慎一<sup>3)</sup>

1) 石川県立中央病院、エイズ予防財団 2) 石川県立中  
央病院看護部 3) 国立国際医療研究センター病院 4) 首  
都大学東京

## O20-115 エイズ拠点病院 HIV 担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS 看護に関する調査」結果から (その2) ~自由回答から見た看護上の課題と支援ニーズ~

武田 謙治<sup>1)</sup>, 小山 美紀<sup>1)</sup>, 山田 三枝  
子<sup>2,3)</sup>, 高山 次代<sup>2)</sup>, 大金 三和<sup>1)</sup>, 池田  
和子<sup>1)</sup>, 島田 恵<sup>4)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院、  
2) 石川県立中央病院、3) エイズ予防財団、4) 首都大  
学東京

## O21 在宅療養支援・ ケアコーディネーション

■日時: 11月30日 (水) 11:10-11:50

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 下司 有加

(国立病院機構大阪医療センター)

## O21-116 ケースマネジメントスキルを使った行動変容支援サービスに関する研究

藤原 良次<sup>1)</sup>, 早坂 典生<sup>1)</sup>, 橋本 謙<sup>2)</sup>,  
山縣 真矢<sup>1)</sup>, 間島 孝子<sup>1)</sup>, 太田 裕治<sup>1)</sup>,  
坂本 裕敬<sup>3)</sup>, 羽鳥 潤<sup>4)</sup>, 白阪 琢磨<sup>5)</sup>

1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず、2) 岐阜県愛  
知県スクールカウンセラー、3) 広島市役所、4) ジャ  
ンププラス、5) 国立病院機構大阪医療センター

## O21-117 退院援助困難事例のための支援シートに関する研究

小西 加保留<sup>1)</sup>, 石川 雅子<sup>2)</sup>, 関矢 早  
苗<sup>3)</sup>, 山田 由紀<sup>4)</sup>, 武田 謙治<sup>4)</sup>, 小澤  
あかね<sup>5)</sup>, 井上 洋士<sup>6)</sup>, 白阪 琢磨<sup>7)</sup>

1) 関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科、2) 千葉  
県健康保健部、3) 駒込病院感染症科、4) 国立国際医  
療研究センター病院 ACC、5) 国立国際医療研究セン  
ター病院地域医療連携室、6) 放送大学、7) 大阪医療  
センター

## O21-118 埼玉県における HIV/AIDS 患者の在宅医療に関する実態調査

鈴木 清美<sup>1)</sup>, 定方 泉<sup>1)</sup>, 金子 友美<sup>1)</sup>,  
鈴庄 仁美<sup>1)</sup>, 猿渡 加奈子<sup>1)</sup>, 人見 公  
代<sup>1)</sup>, 堀場 昌英<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院

## O21-119 当院における HIV 感染者への訪問看護ステーション導入例の検討

関矢 早苗<sup>1)</sup>, 野本 和美<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>2)</sup>,  
菅沼 明彦<sup>2)</sup>, 今村 顕史<sup>2)</sup>, 味澤 篤<sup>2)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 看護部、  
2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

## 022 行動科学・意識調査/ 滞日外国人と多言語対応

■日時: 11月30日 (水) 13:15-14:15

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 兵藤 智佳

(早稲田大学平山邦夫記念ボランティアセンタ  
ー)

022-120 当院受診患者における各種薬物使用実態—大麻、覚醒剤、合成麻薬、ED治療薬など—

白野 倫徳<sup>1)</sup>, 後藤 哲志<sup>1)</sup>, 松本 美由紀<sup>2)</sup>, 豊島 裕子<sup>2)</sup>, 市田 裕之<sup>3)</sup>, 瀧浦 その子<sup>4)</sup>, 山手 香奈<sup>4)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター 感染症センター、2) 大阪市立総合医療センター 看護部、3) 大阪市立総合医療センター 薬剤部、4) 大阪市立総合医療センター 患者支援センター

022-121 就労成人男性および大学生を対象としたインターネットによる行動科学的 HIV 予防介入の実施可能性の検討に関する研究

西村 由実子<sup>1)</sup>, 日高 庸晴<sup>2)</sup>

1) 関西看護医療大学看護学部、2) 宝塚大学看護学部

022-122 産科領域の看護業務における手袋着用の実態—2001年調査と2009年調査の比較から

石田 真由美<sup>1)</sup>, 佐山 光子<sup>1)</sup>, 定方 美恵子<sup>1)</sup>, 関島 香代子<sup>1)</sup>, 佐藤 悦<sup>1)</sup>, 西方 真弓<sup>1)</sup>, 内山 正子<sup>2)</sup>, 堀 成美<sup>3)</sup>

1) 新潟大学医学部保健学科、2) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部、3) 聖路加看護大学看護学部

022-123 スリランカの一般住民を対象とした HIV 検査に関する実態調査

神田 浩路<sup>1)</sup>, 永野 勝稔<sup>1)</sup>, 布施 千恵<sup>1)</sup>, Ananda Jayasinghe<sup>2)</sup>, K. Tudor Silva<sup>3)</sup>, 新井 明日奈<sup>1)</sup>, 大林 由英<sup>1)</sup>, 玉城 英彦<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院医学研究科国際保健医学分野、2) Faculty of Medicine, University of Peradeniya, Sri Lanka、3) Faculty of Arts, University of Peradeniya, Sri Lanka

022-124 愛知県における在日スペイン語系ラテンアメリカ人の保健医療に関する情報行動とその環境要因に関する研究

高久 道子<sup>1)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>, 金子 典代<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部

022-125 3年5か月間、他者の国民健康保険証を使用していたオーバーステイ外国人の一例

合田 史<sup>1)</sup>, 篠原 純史<sup>2)</sup>, 尾方 仁<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター総合診療科、2) 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター総合相談支援センター

## 023 情報・教育

■日時: 11月30日 (水) 14:15-15:05

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 花井 十伍

(特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権)

023-126 大学生の HIV 検査に対する意識と受検に関する要因

神田 浩路<sup>1)</sup>, 永嶋 良之<sup>1)</sup>, 新井 明日奈<sup>1)</sup>, 大林 由英<sup>1)</sup>, 玉城 英彦<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院医学研究科国際保健医学分野

**O23-127 エイズを考える時—若者を感染症から予防し、若年層エイズ患者、HIV感染者に生きる希望を与えるための教育体系の実現を考える—**

竹内 潔<sup>1)</sup>

1) 北海学園大学

**O23-128 すべての人にとってより働きやすい環境づくり—NPOと障害者職業センターと企業の協働によるHIV研修の実践報告**

大槻 知子<sup>1)</sup>, 生島 嗣<sup>1)</sup>, 佐藤 幹也<sup>1)</sup>, 松原 孝恵<sup>2)</sup>, 渡邊 典子<sup>3)</sup>, 若林 チヒロ<sup>4)</sup>

1) ぶれいす東京、2) 高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター 職業センター、3) 高齢・障害者雇用支援機構 東京障害者職業センター、4) 埼玉県立大学

**O23-129 寝たきりエイズ患者の施設入所に成功した1事例**

坂部 茂俊<sup>1)</sup>, 小倉 香里<sup>2)</sup>, 森尾 志保<sup>2)</sup>, 竹田 久子<sup>2)</sup>, 辻 幸太<sup>1)</sup>

1) 山田赤十字病院内科 2) 山田赤十字病院看護部

**O23-130 STD/HIV診療に関する性的指向に基づいた意識調査**

藤部 荒術<sup>1)</sup>, 飯塚 信吾<sup>1)</sup>, 太田 昌二<sup>1)</sup>, 嶋田 憲司<sup>1)</sup>, 大石 敏寛<sup>2)</sup>, 河口 和也<sup>3)</sup>

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会、2) せかんどかみんぐあうと、3) 広島修道大学

## O24 検査・臨床での保健・看護相談

■日時: 11月30日(水) 15:05-16:15

■会場: 第6会場(飛鳥)

座長 池田 和子

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

**O24-131 セックスおよび物質依存に関する相談体制の向上に関する研究**

今井 敏幸<sup>1)</sup>, 東 政美<sup>1)</sup>, 治川 知子<sup>1)</sup>, 下司 有加<sup>1)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター看護部、2) 国立病院機構大阪医療センター感染症科、3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

**O24-132 生活習慣病の既往のあるHIV患者の看護支援の現状と課題**

東 政美<sup>1)</sup>, 今井 敏幸<sup>1)</sup>, 治川 知子<sup>1)</sup>, 下司 有加<sup>1)</sup>, 宮本 ひとみ<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 看護部、2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科

**O24-133 HIV/AIDS患者の療養に関する基礎知識の保有状況調査 その2**

八鍬 類子<sup>1)</sup>, 杉野 祐子<sup>1)</sup>, 島田 恵<sup>2)</sup>, 池田 和子<sup>1)</sup>, 西城 淳美<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター、2) 首都大学東京

**O24-134 HIV/AIDS患者の療養に関する基礎知識の保有状況調査 その1**

杉野 祐子<sup>1)</sup>, 八鍬 類子<sup>1)</sup>, 島田 恵<sup>1,2)</sup>, 池田 和子<sup>1)</sup>, 西城 淳美<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>

岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター、2) 首都大学東京

## O24-135 食道癌併発のため嚥下困難となり認知能低下した患者の看護～患者のニーズに寄り添った看護～

前田 サオリ<sup>1)</sup>、宮城 京子<sup>1)</sup>、石川 章子<sup>1)</sup>、田里 大輔<sup>2)</sup>、仲村 秀太<sup>2)</sup>、健山 正男<sup>2)</sup>、藤田 次郎<sup>2)</sup>、仲里 愛<sup>4)</sup>、富永 大介<sup>3)</sup>、諸見 牧子<sup>1)</sup>、新江 裕貴<sup>1)</sup>、石郷岡 美穂<sup>1)</sup>、大城 市子<sup>1)</sup>

1) 琉球大学医学部附属病院看護部、2) 琉球大学医学部附属病院第一内科、3) 琉球大学大学院教育学部研究科臨床心理学専攻、4) 琉球大学教育学部

## O24-136 ロイ適応看護理論を適用したAIDS患者の看護

石本 博子<sup>1)</sup>、井原 国代<sup>1)</sup>、木村 真知子<sup>2)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院 西病棟 11 階、2) 熊本大学医学部附属病院 看護外来

## O24-137 オレムのセルフケアモデルを適用した HIV 患者の看護－困難事例を通して－

木村 亜由美<sup>1)</sup>、木村 真知子<sup>1)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院 看護外来

12月1日 (木)

## O25 MSM - 1

■日時: 12月1日 (木) 9:00-10:00

■会場: 第1会場 (センチュリールーム)

座長 金子 典代

(名古屋市立大学看護学部地域保健看護学・感染症学)

O25-138 HIV surveillance for men who have sex with men: systematic review and meta-regression

Windy Wariki<sup>1)</sup>, 大田 えりか<sup>1)</sup>, 森 臨太郎<sup>1)</sup>, 宮川 桂子<sup>2)</sup>, 渋谷 健司<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院医学系研究科、2) 沖縄県中部福祉保健所

O25-139 福岡のゲイ商業施設利用者を対象とした HIV/AIDS をめぐる啓発活動の効果評価

新ヶ江 章友<sup>1)</sup>, 塩野 徳史<sup>1)</sup>, 金子 典代<sup>1)</sup>, 牧園 祐也<sup>2,4)</sup>, 請田 貴史<sup>2)</sup>, 川本 大輔<sup>2)</sup>, 北村 紀代子<sup>2)</sup>, 辻 潤一<sup>2)</sup>, 橋口 卓<sup>2)</sup>, 狭間 隆司<sup>2)</sup>, 山本 政弘<sup>3)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部、2) LAF (Love Act Fukuoka)、3) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター、4) 財団法人エイズ予防財団

O25-140 インターネットによる MSM の行動疫学調査—経年変化分析の結果—

日高 庸晴<sup>1)</sup>, 本間 隆之<sup>2)</sup>

1) 宝塚大学看護学部、2) 山梨県立大学看護学部

O25-141 ゲイ向け商業施設利用者対象の質問紙調査による地域別予防啓発事業の評価に関する研究

塩野 徳史<sup>1)</sup>, 新ヶ江 章友<sup>1)</sup>, 金子 典代<sup>1)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>, 山本 政弘<sup>2)</sup>, 健山 正男<sup>3)</sup>, 内海 眞<sup>4)</sup>, 生島 嗣<sup>5)</sup>, 鬼塚 哲郎<sup>6,7)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部、2) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター、3) 琉球大学大学院医学研究科、4) 独立行政法人国立病院機構東名古屋病院、5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京、6) 京都産業大学、7) MASH 大阪

O25-142 滞日外国籍 MSM (Men who have Sex with Men) の健康および HIV 関連ニーズに関する調査

Jane Koerner<sup>1)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>, 金子 典代<sup>1)</sup>, 塩野 徳史<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部感染症学研究室

O25-143 神奈川県教育委員会との協働によるクローゼットな MSM のコミュニティ接続までの生活課題及び支援の取組み

佐藤 太郎<sup>1,2,3)</sup>, 宮島 謙介<sup>2,4)</sup>, 長野 香<sup>2,4)</sup>, 星野 慎二<sup>1,2)</sup>

1) 横浜 Cruise ネットワーク、2) かながわレインボーセンター SHIP、3) 一橋大学大学院、4) AGP (同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議)

## O26 MSM - 2

■日時: 12月1日 (木) 10:00-11:10

■会場: 第1会場 (センチュリールーム)

座長 木村 博和

(横浜市健康福祉局保健事業課)

日高 庸晴

(宝塚大学看護学部)

O26-144 首都圏居住 MSM を対象とした web サイト「HIV マップ」における HIV 抗体検査情報提供手法の開発—エイズ予防のための戦略研究 MSM 首都圏グループ



柴田 恵<sup>1)</sup>, 岩橋 恒太<sup>2,3)</sup>, 張 由紀夫<sup>4)</sup>,  
荒木 順子<sup>1,5)</sup>, 高野 操<sup>5,6)</sup>, 生島 嗣<sup>7)</sup>,  
市川 誠一<sup>2)</sup>

1)akta、2)名古屋市立大学看護学部 3)慶応義塾大学院  
社会学研究科、4)旧 RainbowRing、5)公益財団法人  
エイズ予防財団、6)国立国際医療研究センターエイズ  
治療・開発センター、7)ぶれいす東京

## O26-145 東京周辺の検査従事者にむけた研修会実施とその影響についての考察～エイズ予防のための戦略研究 MSM 首都圏グループ

生島 嗣<sup>1,9)</sup>, 佐藤 未光<sup>8)</sup>, 高野 操<sup>3,4)</sup>,  
中澤 よう子<sup>5)</sup>, 星野 慎二<sup>6)</sup>, 岩橋 恒  
太<sup>7,13)</sup>, 張 由紀夫<sup>8)</sup>, 市川 誠一<sup>7)</sup>, 野口  
雅美<sup>9)</sup>, 滝田 由紀子<sup>10)</sup>, 御子柴 朋子<sup>11)</sup>,  
新屋敷 房代<sup>12)</sup>

1)ぶれいす東京、2)akta、3)国立国際医療研究センタ  
ー、4)エイズ予防財団、5)鎌倉保健福祉事務所、6)  
横浜 Cruise ネットワーク、7)名古屋市立大学、8)旧  
Rainbow Ring、9)東京都、10)神奈川県、11)横浜市、  
12)千葉県市原保健所、13)慶応大学

## O26-146 首都圏居住 MSM に向けた HIV 抗体検査促進のためのキャンペーン「できる!」の構成と効果～エイズ予防のための戦略研究 MSM 首都圏グループ

岩橋 恒太<sup>1,2)</sup>, 高野 操<sup>3,4)</sup>, 塩野 徳史<sup>1)</sup>,  
柴田 恵<sup>6)</sup>, 生島 嗣<sup>5)</sup>, 張 由紀夫<sup>7)</sup>,  
荒木 順子<sup>6)</sup>, 砂川 秀樹<sup>5)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>

1)名古屋市立大学看護学部、2)慶応義塾大学院社会学  
研究科、3)公益財団法人エイズ予防財団、4)国立国際  
医療研究センターエイズ治療・開発センター、5)ぶれ  
いす東京、6)akta、7)旧 RainbowRing

## O26-147 首都圏の男性同性愛者を対象とした HIV 抗体検査の普及強化プログラムの結果報告 - エイズ予防のための戦略研究 MSM 首都圏グループ -

高野 操<sup>1,2)</sup>, 塩野 徳史<sup>3)</sup>, 石塚 直樹<sup>4)</sup>,  
金子 典代<sup>3)</sup>, 市川 誠一<sup>3)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>,  
木村 哲<sup>2,5)</sup>

1)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発  
センター、2)公益財団法人エイズ予防財団、3)名古屋  
市立大学看護学部、4)サノフィ・アベンティス株式会  
社 研究開発部門医薬開発本部 統計解析・プログラ  
ミング部、5)東京通信病院

## O26-148 大阪の屋外啓発大規模イベント「PLuS+」とその評価～エイズ予防のための戦略研究 MSM 京阪神グループ

鬼塚 哲郎<sup>1,2)</sup>, 辻 宏幸<sup>2,3)</sup>, 後藤 大輔<sup>2,3)</sup>,  
町 登志雄<sup>2)</sup>, 内田 優<sup>2)</sup>, 山田 創  
平<sup>4)</sup>, 塩野 徳史<sup>5)</sup>, 市川 誠一<sup>5)</sup>

1)京都産業大学文化学部、2)MASH 大阪、3)公益財団  
法人エイズ予防財団、4)京都精華大学人文学部、5)名  
古屋市立大学看護学部

## O26-149 エイズの予防と共生をテーマにした野外イベント PLuS + における MSM を対象とした HIV 迅速検査会の実施について～エイズ予防のための戦略研究 MSM 京阪神グループ

岳中 美江<sup>1,3)</sup>, 辻 宏幸<sup>2,3)</sup>, 川畑 拓也<sup>4)</sup>,  
有馬 和代<sup>5)</sup>, 古林 敬一<sup>6)</sup>, 鬼塚 哲郎<sup>2,7)</sup>,  
塩野 徳史<sup>8)</sup>, 市川 誠一<sup>8)</sup>

1)特定非営利活動法人 CHARM、2)MASH 大阪、3)公  
益財団法人エイズ予防財団、4)大阪府立公衆衛生研究  
所、5)大阪市保健所、6)そねぎき古林診療所、7)京  
都産業大学文化学部、8)名古屋市立大学看護学部

## O26-150 阪神圏における医療機関、保健所などの検査機関における受検者動向と介入評価に関する研究 (2009年～2010年)～エイズ予防のための戦略研究 MSM 京阪神グループ

塩野 徳史<sup>1)</sup>, 高野 操<sup>2,3)</sup>, 木村 哲<sup>3,4)</sup>,  
岡 慎一<sup>2,3)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>, 金子 典代<sup>1)</sup>,  
コーナ ジェーン<sup>1)</sup>, 鬼塚 哲郎<sup>5,6)</sup>, 川畑  
拓也<sup>7)</sup>, 辻 宏幸<sup>3,6)</sup>, 後藤 大輔<sup>3,6)</sup>, 岳  
中 美江<sup>3,8)</sup>

1)名古屋市立大学看護学部、2)国立国際医療研究セン  
ター エイズ治療・研究開発センター、3)公益財団法

人エイズ予防財団、4) 東京通信病院、5) 京都産業大学、6) MASH 大阪、7) 大阪府立公衆衛生研究所、8) NPO 法人 CHARM

## 027 抗HIV療法-1

■日時: 12月1日 (木) 9:00-10:00

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 今村 顕史

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

遠藤 知之

(北海道大学大学院医学研究科内科学講座血液内科学分野)

### 027-151 日和見感染症の有症状時に raltegravir を導入した症例の検討

堀場 昌英<sup>1)</sup>, 森田 暁壮<sup>1)</sup>, 増田 貴史<sup>1)</sup>, 中野 滋文<sup>1)</sup>, 平良 真奈子<sup>1)</sup>, 諸井 文子<sup>1)</sup>, 高杉 知明<sup>1)</sup>, 桑田 加奈子<sup>2)</sup>, 人見 公代<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 東埼玉病院 呼吸器科、2) 国立病院機構 東埼玉病院 看護部

### 027-152 当院で経験した maraviroc 使用症例

大瀧 学<sup>1)</sup>, 四本 美保子<sup>1)</sup>, 尾形 享一<sup>1)</sup>, 天野 景裕<sup>1)</sup>, 山元 泰之<sup>1)</sup>, 福武 勝幸<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学 臨床検査医学講座

### 027-153 Raltegravir / boosted Darunavir 併用による NRTI sparing regimen の臨床成績 (第2報)

塚田 訓久<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 叶谷 文秀<sup>1)</sup>, 林田 庸総<sup>1)</sup>, 土屋 亮人<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

### 027-154 1日1回投与 darunavir/ritonavir の使用成績

吉野 宗宏<sup>1)</sup>, 矢倉 裕輝<sup>1)</sup>, 櫛田 宏幸<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>2)</sup>, 廣田 和之<sup>2)</sup>, 坂東 裕基<sup>2)</sup>, 矢嶋 敬史郎<sup>2)</sup>, 小泉 祐介<sup>2)</sup>, 大寺 博<sup>2)</sup>, 富成 伸次郎<sup>2)</sup>, 渡邊 大<sup>2)</sup>, 桑原 健<sup>3)</sup>, 西田 恭治<sup>2)</sup>, 上平朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科、2) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科、3) 独立行政法人国立病院機構 京都病院内科 薬剤科

### 027-155 当院における Atazanavir の長期投与成績

櫛田 宏幸<sup>1)</sup>, 吉野 宗宏<sup>1)</sup>, 矢倉 裕輝<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>2)</sup>, 廣田 和弘<sup>2)</sup>, 坂東 裕基<sup>2)</sup>, 矢嶋 敬史郎<sup>2)</sup>, 小泉 祐介<sup>2)</sup>, 大寺 博<sup>2)</sup>, 富成 伸次郎<sup>2)</sup>, 渡邊 大<sup>2)</sup>, 西田 恭治<sup>2)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科、2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

### 027-156 Key drug を non boost FPV2800mg/day とした ART の中、長期成績

坂部 茂俊<sup>1)</sup>, 豊嶋 豊一<sup>1)</sup>, 辻 幸太<sup>1)</sup>

1) 山田赤十字病院 内科

## 028 抗HIV療法-2

■日時: 12月1日 (木) 10:00-11:00

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 西田 恭治

(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

藤井 輝久

(広島大学病院輸血部)

### 028-157 当センターにおける初回療法で選択された抗HIV薬の変遷とRAL選択例の治療成績について

橋本 亜希<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 田村 久美<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

## O28-158 ラルテグラビルと他の抗 HIV 治療薬との相互作用に関する基礎的検討

濱田 哲暢<sup>1,2)</sup>, 土屋 亮人<sup>4)</sup>, 橋口 ゆみ<sup>3)</sup>, 齋藤 秀之<sup>1,2)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院薬剤部、2) 熊本大学生命科学研究部臨床薬物動態学分野、3) 熊本大学薬学部、4) 独立行政法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

## O28-159 横浜市立市民病院におけるダルナビルの使用状況とその効果の検討

五十嵐 俊<sup>1)</sup>, 佐藤 歩<sup>1)</sup>, 森田 徹<sup>1)</sup>, 保科 斉生<sup>2)</sup>, 鈴木 琢光<sup>2)</sup>, 吉村 幸浩<sup>2)</sup>, 高尾 良洋<sup>1)</sup>, 立川 夏夫<sup>2)</sup>

1) 横浜市立市民病院 薬剤部、2) 横浜市立市民病院 感染症内科

## O28-160 横浜市立市民病院における HAART 療法の現状

佐藤 歩<sup>1)</sup>, 五十嵐 俊<sup>1)</sup>, 森田 徹<sup>1)</sup>, 鈴木 琢光<sup>2)</sup>, 保科 斉生<sup>2)</sup>, 吉村 幸浩<sup>2)</sup>, 高尾 良洋<sup>1)</sup>, 立川 夏夫<sup>2)</sup>

1) 横浜市立市民病院薬剤部、2) 横浜市立市民病院感染症科

## O28-161 アバカビル・ラミブジン合剤 (ABC/3TC) とラルテグラビル (RAL) 併用療法の治療成績について

鈴木 彰人<sup>1)</sup>, 齋田 瑞恵<sup>1)</sup>, 志賀 教克<sup>1)</sup>, 乾 啓洋<sup>1)</sup>, 上原 由紀<sup>1,2)</sup>, 福田 友

紀子<sup>1)</sup>, 三橋 和則<sup>1,2)</sup>, 内藤 俊夫<sup>1,2)</sup>, 磯沼 弘<sup>1)</sup>

1) 順天堂大学医学部総合診療科、2) 順天堂大学医学部 感染制御科学

## O28-162 HIV 感染症の初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定しエプジコムとツルバダを無作為割付するオープンラベル多施設臨床試験 :ET study

西島 健<sup>1)</sup>, 高野 操<sup>1)</sup>, 石坂 美千代<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 遠藤 知之<sup>2)</sup>, 堀場 昌英<sup>3)</sup>, 金田 暁<sup>4)</sup>, 藤井 毅<sup>5)</sup>, 内藤 俊夫<sup>6)</sup>, 吉田 正樹<sup>7)</sup>, 立川 夏夫<sup>8)</sup>, 横幕 能行<sup>9)</sup>, 藤井 輝久<sup>10)</sup>, 高田 清式<sup>11)</sup>, 山本 政弘<sup>12)</sup>, 松下 修三<sup>13)</sup>, 健山 正男<sup>1,14)</sup>, 田邊 嘉也<sup>15)</sup>, 満屋 裕明<sup>13)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター、2) 北海道大学病院、3) 国立病院機構東埼玉病院、4) 国立病院機構千葉医療センター、5) 東京大学医科学研究所附属病院、6) 順天堂大学医学部附属順天堂医院、7) 東京慈恵会医科大学附属病院、8) 横浜市立市民病院、9) 国立病院機構名古屋医療センター、10) 広島大学病院、11) 愛媛大学医学部附属病院、12) 国立病院機構九州医療センター、13) 熊本大学、14) 琉球大学医学部、15) 新潟大学医歯学総合病院

## O29 日和見感染-2 免疫再構築症候群

■日時: 12月1日 (木) 11:00-11:50

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 永井 英明

(国立病院機構東京病院呼吸器疾患センター)

照屋 勝治

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

## O29-163 サイトメガロウィルス網膜炎の臨床的検討

水島 大輔<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希

<sup>1)</sup> 田村 久美<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター

## O29-164 結核病床を有しないエイズ治療ブロック拠点病院におけるクオオンティフェロン TB-2G(QFT) 測定結果の検討

小河原 光正<sup>1)</sup>, 木村 剛<sup>1)</sup>, 安藤 性實<sup>1)</sup>, 宮本 智<sup>1)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 呼吸器内科、2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症科

## O29-165 HIV 感染者における QuantiFERON-TB Gold(QFT-3G) の有用性の検討

田村 久美<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

## O29-166 免疫再構築症候群として発症した Graves 病の 2 例

善本 英一郎<sup>1,2)</sup>, 古西 満<sup>2)</sup>, 宇野 健司<sup>2)</sup>, 笠原 敬<sup>2)</sup>, 治田 匡平<sup>3)</sup>, 三笠 桂一<sup>2)</sup>

1) 奈良厚生会病院感染制御室、2) 奈良県立医科大学感染症センター、3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

## O29-167 免疫再構築症候群としての Mycobacterium avium complex 症に関する調査

古西 満<sup>1)</sup>, 宇野 健司<sup>1)</sup>, 善本 英一郎<sup>1,2)</sup>, 治田 匡平<sup>3)</sup>, 笠原 敬<sup>1)</sup>, 前田 光一<sup>1)</sup>, 三笠 桂一<sup>1)</sup>, 安岡 彰<sup>4)</sup>

1) 奈良県立医科大学感染症センター、2) 奈良厚生会病院感染制御室、3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部、4) 長崎大学病院感染制御教育センター

## O30 宿主因子-2

■日時: 12月1日 (木) 9:00-10:00

■会場: 第4会場 (平安)

座長 岩谷 靖雅

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 感染免疫研究部)

塩田 達雄

(大阪大学微生物病研究所感染機構研究部門ウイルス感染制御分野)

## O30-168 APOBEC3G の HIV-1 粒子内への取り込みを制御する宿主因子 GANP

前田 和彦<sup>1)</sup>, Singh Shailendra Kumar<sup>1)</sup>, Almofty Sarah Ameen<sup>1)</sup>, Eid Mohammed Mansour Abbas<sup>1)</sup>, 池田 輝政<sup>2)</sup>, 小糸 厚<sup>2)</sup>, 阪口 薫雄<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野  
2) 熊本大学大学院生命科学研究部感染制御学

## O30-169 HSP70 は APOBEC3G と Vif の結合を阻害することで APOBEC3G のポリユビキチン化および分解を抑制する

杉山 隆一<sup>1)</sup>, 西辻 裕紀<sup>1)</sup>, 長沼 晴樹<sup>1)</sup>, 小関 寛<sup>1)</sup>, 古川 亜矢子<sup>2)</sup>, 片平 正人<sup>2)</sup>, 羽生 勇一郎<sup>3)</sup>, 武内 寛明<sup>4)</sup>, 梁 明秀<sup>4,5)</sup>, 高久 洋<sup>1)</sup>

1) 千葉工大 工 生命環境科学 2) 京都大 エネルギー理工 生体エネルギー分野 3) Dept. Microbiology, Immunology and Pathology, Colorado State University 4) 東京医科歯科大 歯学総合 ウイルス制御学分野 5) 横浜市立大 医微生物学・生体防御学

O30-170 キメラタンパク質を用いた APOBEC1 の抗 HIV-1 活性に関する責任部位の機能解析

池田 輝政<sup>1)</sup>, 小糸 厚<sup>1)</sup>

1) 熊本大学 生命科学研究部 感染制御

O30-171 アカゲザル TRIM5  $\alpha$  による HIV-1 産生阻害活性の細胞特異性における SOCS1 の役割

助川 明香<sup>1)</sup>, 佐久間 龍太<sup>1)</sup>, 大嶺 青河<sup>2)</sup>, 池田 靖弘<sup>2)</sup>, 山岡 昇司<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野 2) Department of Molecular Medicine, Mayo Clinic

O30-172 TRIM5  $\alpha$  による HIV-1 の感染・産生阻害に重要な宿主因子の探索

鹿間 さおり<sup>1)</sup>, 助川 明香<sup>1)</sup>, 佐久間 龍太<sup>1)</sup>, 山岡 昇司<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野

O30-173 Gag-CA および Vpu の改変によるサル細胞での HIV-1 複製の増強

野間口 雅子<sup>1)</sup>, 土肥 直哉<sup>1)</sup>, 藤原 佐知<sup>1)</sup>, 足立 昭夫<sup>1)</sup>

1) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野

## O31 母子感染

■日時: 12月1日 (木) 14:30-15:30

■会場: 第4会場 (平安)

座長 五味淵 秀人

(国立国際医療研究センター)

和田 裕一

(国立病院機構仙台医療センター)

O31-174 新生児における AZT-TP 細胞内濃度

木内 英<sup>1)</sup>, 細川 真一<sup>2)</sup>, 五味淵 秀人<sup>3)</sup>, 田村 久美<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>, 加藤 真吾<sup>4)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター 2) 国立国際医療研究センター小児科 3) 国立国際医療研究センター産婦人科 4) 慶応義塾大学医学部 微生物・免疫学教室

O31-175 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の推移

吉野 直人<sup>1,2)</sup>, 喜多 恒和<sup>2)</sup>, 熊谷 晴介<sup>2)</sup>, 丹野 高三<sup>2)</sup>, 伊藤 由子<sup>2)</sup>, 高橋 尚子<sup>1,2)</sup>, 外川 正生<sup>2)</sup>, 塚原 優己<sup>2)</sup>, 戸谷 良造<sup>2)</sup>, 稲葉 憲之<sup>2)</sup>, 和田 裕一<sup>2)</sup>

1) 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班

O31-176 HIV 感染女性から出生した子どもの実態調査と子どもの健康と発達支援

外川 正生<sup>1)</sup>, 葛西 健郎<sup>2)</sup>, 國方 徹也<sup>2)</sup>, 細川 真一<sup>2)</sup>, 田中 瑞恵<sup>2)</sup>, 木内 英<sup>2)</sup>, 齋藤 昭彦<sup>2)</sup>, 前田 尚子<sup>2)</sup>, 尾崎 由和<sup>2)</sup>, 天羽 清子<sup>2)</sup>, 市場 博幸<sup>2)</sup>, 榎本 てる子<sup>2)</sup>, 辻 麻理子<sup>2)</sup>, 武知 茉莉亜<sup>2)</sup>, 乾 未来<sup>2)</sup>, 小林 真之<sup>2)</sup>, 吉野 直人<sup>2)</sup>, 喜多 恒和<sup>2)</sup>

稲葉 憲之<sup>2)</sup>, 和田 裕一<sup>2)</sup>

1) 大阪市立住吉市民病院小児科 2) 平成 22 年度厚生労働省「HIV 感染妊婦とその出生児の調査解析および診療支援体制の整備に関する総合的研究」班

## O31-177 HIV 感染妊婦に関する全国助産所調査

伊藤 由子<sup>1,2)</sup>, 吉野 直人<sup>2)</sup>, 喜多 恒和<sup>2)</sup>, 熊谷 晴介<sup>2)</sup>, 丹野 高三<sup>2)</sup>, 高橋 尚子<sup>2)</sup>, 外川 正生<sup>2)</sup>, 塚原 優己<sup>2)</sup>, 戸谷 良造<sup>2)</sup>, 稲葉 憲之<sup>2)</sup>, 和田 裕一<sup>2)</sup>

1) NHO 長良医療センター看護部 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班

## O31-178 HIV 母子感染予防対策マニュアル 第 6 版の改訂ポイントと課題について

谷口 晴記<sup>1)</sup>, 塚原 優己<sup>2)</sup>, 大金 美和<sup>2)</sup>, 山田 里佳<sup>2)</sup>, 井上 孝実<sup>2)</sup>, 辻 麻里子<sup>2)</sup>, 渡邊 英恵<sup>2)</sup>, 源河 いくみ<sup>2)</sup>, 佐野 貴子<sup>2)</sup>, 内山 正子<sup>2)</sup>, 大島 教子<sup>2)</sup>, 尾崎 由和<sup>2)</sup>, 蓮尾 泰之<sup>2)</sup>, 吉野 直人<sup>2)</sup>, 早川 智<sup>2)</sup>, 外川 正生<sup>2)</sup>, 喜多 恒和<sup>2)</sup>, 戸谷 良造<sup>2)</sup>, 稲葉 憲之<sup>2)</sup>, 和田 裕一<sup>2)</sup>

1) 三重県立総合医療センター産婦人科 2) 厚生労働科学研究費補助金 (エイズ対策研究事業)「HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班

## O31-179 わが国の HIV 感染妊娠と母子感染予防対策の現状

喜多 恒和<sup>1,2)</sup>, 中西 美紗緒<sup>2)</sup>, 箕浦 茂樹<sup>2)</sup>, 松田 秀雄<sup>2)</sup>, 高野 政志<sup>2)</sup>, 金子 ゆかり<sup>2)</sup>, 瀬戸 裕<sup>2)</sup>, 大井 理恵<sup>2)</sup>, 小林 裕幸<sup>2)</sup>, 佐久本 薫<sup>2)</sup>, 石橋 理子<sup>1,2)</sup>, 杉浦 敦<sup>1,2)</sup>, 藤田 綾<sup>1,2)</sup>, 吉野 直人<sup>2)</sup>, 外川 正生<sup>2)</sup>, 塚原 優己<sup>2)</sup>, 戸谷 良造<sup>2)</sup>, 稲葉 憲之<sup>2)</sup>, 和田 裕一<sup>2)</sup>

1) 奈良県立奈良病院産婦人科 2) 厚生省科研費エイズ対策研究事業「HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班

## O32 その他

■日時: 12月1日 (木) 15:30-16:10

■会場: 第 4 会場 (平安)

座長 福武 勝幸

(東京医科大学臨床検査医学講座 血液凝固異常症遺 伝子研究寄付講座)

鯉淵 智彦

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

## O32-180 HIV 男性患者の性腺機能低下症の血清学的特徴と有病率に関する検討

関谷 綾子<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>2)</sup>, 菅沼 明彦<sup>2)</sup>, 今村 顕史<sup>2)</sup>, 片柳 直子<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>2)</sup>, 久保田 憲<sup>1)</sup>

1) 都立駒込病院内分泌代謝科 2) 都立駒込病院感染症科

## O32-181 HIV 関連神経認知障害 (HAND) の神経心理学的評価

仲里 愛<sup>1)</sup>, 富永 大介<sup>1)</sup>, 田里 大輔<sup>2)</sup>, 宮城 京子<sup>3)</sup>, 前田 サオリ<sup>3)</sup>, 仲村 秀太<sup>2)</sup>, 原永 修作<sup>2)</sup>, 比嘉 太<sup>2)</sup>, 健山 正男<sup>2)</sup>, 藤田 次郎<sup>2)</sup>

1) 琉球大学大学院教育学研究科 臨床心理学専攻 2) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科) 3) 琉球大学医学部附属病院看護部

## O32-182 神経心理学検査にて早期に HIV 関連神経認知障害 (HAND) を捉える事ができた急性 HIV 感染症の 2 例

田里 大輔<sup>1)</sup>, 健山 正男<sup>1)</sup>, 仲里 愛<sup>2)</sup>, 宮城 京子<sup>3)</sup>, 前田 サオリ<sup>3)</sup>, 仲村 秀太<sup>1)</sup>, 原永 修作<sup>1)</sup>, 比嘉 太<sup>1)</sup>, 富永 大介<sup>2)</sup>, 藤田 次郎<sup>1)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科) 2) 琉球大学大学院教育学研究科 臨床心理学専攻 3) 琉球大学医学部附属病院看護部

O32-183 妊娠 35 週に HIV スクリーニング陽性が判明したが、血中 HIV-RNA が検出されないために、診断と予防内服適応の判断に苦慮した 1 例

田村 久美<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 福田 友彦<sup>2)</sup>, 折戸 征也<sup>2)</sup>, 榎谷 法生<sup>2)</sup>, 野村 耕太郎<sup>3)</sup>, 細川 真一<sup>3)</sup>, 松下 竹次<sup>3)</sup>, 植田 知幸<sup>4)</sup>, 親泊 あいみ<sup>4)</sup>, 加藤 真吾<sup>4)</sup>, 湯永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 2) 国立国際医療研究センター 産婦人科 3) 国立国際医療研究センター 小児科 4) 慶応義塾大学医学部・医学研究科 微生物学・免疫学教室

## O33 薬剤耐性 (基礎)

■日時: 12月1日 (木) 9:00-10:00

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 貞升 健志

(東京都健康安全研究センター微生物部)

西澤 雅子

(国立感染症研究所エイズ研究センター第2研究グループ)

O33-184 HIV-1 capsid 蛋白 (CA) の挿入変異がもたらす CA 自壊の分子機構の解明

天野 将之<sup>1)</sup>, 田宮 貞宏<sup>1)</sup>, こう 康博<sup>1)</sup>, Matthew Danish<sup>1)</sup>, 満屋 裕明<sup>1)</sup>

1) 熊本大学医学部大学院生命科学研究部・血液内科学・膠原病内科学・感染免疫診療部

O33-185 Tipranavir の酵素活性阻止能とプロテアーゼ二量体化阻止能の喪失に関するアミノ酸変異の同定

青木 学<sup>1,2)</sup>, 井手 一彦<sup>2)</sup>, Danish Matthew<sup>2)</sup>, 青木 宏美<sup>2)</sup>, 林 宏典<sup>2)</sup>, 満屋 裕明<sup>2,3)</sup>

1) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科  
2) 熊本大学大学院生命科学研究部血液内科学  
感染免疫診療部 3) 米国国立癌研究所レトロウイルス感染症部

O33-186 抗 HIV 剤が Env 多様性に与える影響

原田 恵嘉<sup>1)</sup>, 濱治 有希<sup>1)</sup>, 遊佐 敬介<sup>2)</sup>, 松下 修三<sup>1)</sup>, 吉村 和久<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター 2) 国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 ウイルス安全性研究室

O33-187 臨床分離 HIV 株を用いたマラビロック (MVC) 耐性獲得のメカニズムの解析

吉村 和久<sup>1)</sup>, 原田 恵嘉<sup>1)</sup>, 松下 修三<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター

O33-188 HIV-1 サブタイプ未同定の検体を用いた配列特異的オリゴプローブによる薬剤耐性変異の検出

谷 麗君<sup>1)</sup>, 細谷 紀彰<sup>2)</sup>, 立川 (川名) 愛<sup>3)</sup>, 中村 仁美<sup>4)</sup>, 古賀 道子<sup>2)</sup>, 松下 正毅<sup>5)</sup>, Biyan Lu<sup>6)</sup>, 三浦 聡之<sup>3)</sup>, 岩本 愛吉<sup>1,2,3,4)</sup>

1) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点  
2) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 3) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野 4) 東京大学医科学研究所 附属病院 感染免疫内科 5) 湧永製薬株式会社 バイオ事業開発部 6) Institute of Human Virology, Sun Yat-sen University Key Laboratory of Tropical Disease Control, Ministry of Education, Guangzhou, China

O33-189 HIV 薬剤耐性検査の外部精度管理

吉田 繁<sup>1)</sup>, 伊部 史朗<sup>2)</sup>, 服部 純子<sup>2)</sup>, 松田 昌和<sup>2)</sup>, 橋本 修<sup>3)</sup>, 岡田 清美<sup>4)</sup>, 和山 行正<sup>4)</sup>, 巽 正志<sup>5)</sup>, 杉浦 互<sup>2)</sup>

1) 北海道大学大学院保健科学研究院 2) 名古屋医療センター 3) 三菱化学メディエンス 4) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所 5) 国立感染症研究所

## O34 薬剤耐性 (臨床)

■日時: 12月1日 (木) 10:00-11:00

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 吉村 和久

(熊本大学エイズ学研究センター吉村プロジェクト 研究室)

細谷 紀彰

(東京大学医科学研究所感染症国際研究センター 感染制御部門)

### O34-190 長期治療成功例の残存プロウイルスに検出される薬剤耐性変異の動態

森 治代<sup>1)</sup>, 小島 洋子<sup>1)</sup>, 川畑 拓也<sup>1)</sup>

1) 大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課

### O34-191 定量PCRを応用した高感度薬剤耐性検査法による抗HIV治療患者からの微量集族薬剤耐性変異検出の試み

西澤 雅子<sup>1)</sup>, Johnson Jeffrey<sup>2)</sup>, Heneine Walid<sup>2)</sup>, 杉浦 互<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター 2) 米国疾病対策局 (CDC) 3) (独) 名古屋医療センター

### O34-192 薬剤耐性変異を認めた新規未治療 HIV/AIDS 症例の治療と予後の検討

今村 淳治<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>1)</sup>, 服部 純子<sup>1)</sup>, 岩谷 靖雅<sup>1)</sup>, 杉浦 互<sup>1)</sup>

1) 名古屋医療センター 臨床研究センター エイズ治療開発センター

### O34-193 TDF/FTC/EFV 投与中に K65R/M184V/K103N/Y181C が選択されたにもかかわらず良好なウイルス学的抑制を呈した症例 - 多剤耐性変異体の複製能力の検討 -

古賀 道子<sup>1)</sup>, 菊池 正<sup>1)</sup>, 野村 滋<sup>1)</sup>, 細谷 紀彰<sup>1)</sup>, 清水 少一<sup>1)</sup>, 安達 英輔<sup>1)</sup>, 大亀 路生<sup>1)</sup>, 佐藤 秀憲<sup>1)</sup>, 宮崎 菜穂子<sup>1)</sup>, 中村 仁美<sup>1)</sup>, 鯉淵 智彦<sup>1)</sup>, 藤井 毅<sup>1)</sup>, 岩本 愛吉<sup>1)</sup>, 三浦 聡之<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所

### O34-194 No increase of drug-resistant HIV-1 prevalence among drug-naive HIV-1-infected individuals in Hai Phong, Northern Vietnam, from 2007 to 2009

Tran Vuong Thi<sup>1,2)</sup>, Ishizaki Azumi<sup>1)</sup>, Nguyen Hung Cuong<sup>1,2)</sup>, Hoan Thi Thanh Huyen<sup>2)</sup>, Pham Viet Hung<sup>1)</sup>, Lihana Raphael<sup>1)</sup>, Bi Xiuqiong<sup>1)</sup>, Pham Van Thuc<sup>2)</sup>, Ichimura Hiroshi<sup>1)</sup>

1) Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University 2) Hai Phong Medical University

### O34-195 One-year outcome of first-line antiretroviral therapy among HIV-1-infected children in Hanoi, Vietnam

Pham Viet Hung<sup>1,2)</sup>, 石崎 有澄美<sup>1)</sup>, Nguyen Van Lam<sup>2)</sup>, Tran Vuong Thi<sup>1)</sup>, Lihana W. Raphael<sup>1)</sup>, Bi Xiuqiong<sup>1)</sup>, Khu Thi Khanh Dung<sup>2)</sup>, 市村 宏<sup>1)</sup>

1) 金沢大学大学院医学研究科ウイルス感染症制御学 2) National Hospital of Pediatrics, Hanoi, Viet Nam

## O35 新薬開発-1

■日時: 12月1日 (木) 11:00-11:40

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 児玉 栄一

(東北大学病院内科・感染症科)

岡本 尚

(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

### O35-196 101/124 多型変異は次世代インテグラーゼ阻害剤 Dolutegravir (DTG, S/GSK1349572) の in vitro 耐性変異出現に影響しない

関 貴弘<sup>1)</sup>, 三木 茂<sup>1)</sup>, 秋久 恵里佳<sup>1)</sup>, 小林 雅典<sup>1)</sup>, 吉永 智一<sup>1)</sup>, 藤原 民雄<sup>2)</sup>, 佐藤 彰彦<sup>1)</sup>

1) 塩野義製薬株式会社 創薬・疾患研究所 2) 塩野義製薬株式会社 GLOBAL DEVELOPMENT OFFICE



## O35-197 4'-Ethyneyl- 核酸誘導体に対する HIV-1 および HIV-2 の耐性機序

宮本 総子<sup>1)</sup>, 服部 俊夫<sup>1)</sup>, 児玉 栄一<sup>1)</sup>

1) 東北大学大学院医学系研究科感染症態学講座

## O35-198 フラグメント分子軌道法を利用した HIV gp41 の相互作用解析

川下 理日人<sup>1,2)</sup>, 田 雨時<sup>1)</sup>, 岡本 晃典<sup>1)</sup>, 安永 照雄<sup>2)</sup>, 高木 達也<sup>1,2)</sup>

1) 大阪大学大学院薬学研究科 2) 大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センター

## O35-199 RNA 分解酵素 MazF を用いた HIV 感染症遺伝子治療法の開発

蝶野 英人<sup>1)</sup>, 岡本 実佳<sup>2)</sup>, 井上 晃一<sup>1)</sup>, 津田 大嗣<sup>1)</sup>, 百々 克行<sup>1)</sup>, 川野 泰広<sup>1)</sup>, 馬場 昌範<sup>2)</sup>, 峰野 純一<sup>1)</sup>

1) タカラバイオ (株)・細胞・遺伝子治療センター 2) 鹿児島大学大学院・医歯学・難治ウイルス病態制御研究センター

白阪 琢磨<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 看護部 2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

## O36-202 プライマリケアの現場で発見される HIV 感染症の現状

本田 美和子<sup>1)</sup>, 田村 久美<sup>1)</sup>, 橋本 亜紀<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター

## O36-203 2010 年度の HIV 感染血液凝固異常症の死亡例について—血液凝固異常症全国調査より

立浪 忍<sup>1)</sup>, 桑原 理恵<sup>2)</sup>, 秋田 美恵子<sup>3)</sup>, 三間屋 純一<sup>4)</sup>, 白幡 聡<sup>5)</sup>, 瀧 正志<sup>6)</sup>

1) 聖マリアンナ医科大学医学教育文化部門医学統計学分野 2) 聖マリアンナ医科大学大学院アイソトープ研究施設 3) 聖マリアンナ医科大学小児科 4) 静岡県熱海健康福祉センター 5) 北九州八幡東病院 6) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

## O36 疫学-1

■日時: 12月1日 (木) 9:00-9:50

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 鎌倉 光宏

(慶應義塾大学)

## O36-200 当院における AIDS 発症者の入院状況に関する検討 (2005-2009 年)

浅畑 さやか<sup>1)</sup>, 今村 顕史<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター 都立駒込病院

## O36-201 当院における初診時の問診内容より得られた HIV 陽性者の感染経路について

治川 知子<sup>1)</sup>, 今井 敏幸<sup>1)</sup>, 東 政美<sup>1)</sup>, 下司 有加<sup>1)</sup>, 宮本 ひとみ<sup>1)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>,

## O36-204 HIV 感染者の高齢化について

宇野 健司<sup>1)</sup>, 古西 満<sup>1)</sup>, 善本 英一郎<sup>1,2)</sup>, 治田 匡平<sup>3)</sup>, 笠原 敬<sup>1)</sup>, 中川 智代<sup>1)</sup>, 小川 拓<sup>1)</sup>, 前田 光一<sup>1)</sup>, 森崎 登志子<sup>4)</sup>, 谷口 美苗<sup>4)</sup>, 辻本 和徳<sup>1)</sup>, 吉本 昭<sup>1)</sup>, 山田 豊<sup>1)</sup>, 大野 史郎<sup>1)</sup>, 後藤 哲志<sup>5)</sup>, 白野 倫徳<sup>5)</sup>, 三笠 桂一<sup>1)</sup>

1) 奈良県立医科大学附属病院 感染症センター 2) 奈良厚生会病院 内科 3) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部 4) 奈良県立医科大学附属病院 看護部 5) 大阪市立総合医療センター 感染症センター

## 037 疫学-2

■日時: 12月1日 (木) 9:00-9:50

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 本間 隆之

(山梨県立大学看護学部看護関連科学領域)

037-205 第2世代 HIV サーベイランスの方法論に関する文献的考察：日本における HIV サーベイランスへの適応

宮川 桂子<sup>1)</sup>, 大田 えりか<sup>2)</sup>

1) 沖縄県中部保健所 2) 東京大学大学院医学系研究科

037-206 感染症診査協議会結核部会による栃木・茨城両県にまたがる HIV 感染症患者の経過追跡

外島 正樹<sup>1)</sup>, 佐川 廣子<sup>2)</sup>, 緒方 剛<sup>2)</sup>

1) 自治医大臨床感染症センター感染症科 2) 茨城県筑西保健所

037-207 東京における HIV 感染の早期診断について BED アッセイを用いた動向解析

林田 庸総<sup>1)</sup>, 湯永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡慎一<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

037-208 ザンビア共和国農村部における Antiretroviral Therapy(ART) アドヒアランスへの配偶者の関わり

佐々木 由理<sup>1)</sup>, 垣本 和宏<sup>2)</sup>, Sikazwe Izukanji<sup>3)</sup>, Watala Janet<sup>3)</sup>, Moyo Crispin<sup>3)</sup>, Kayama Nangana<sup>4)</sup>, Dube Christopher<sup>4)</sup>, 駒田 謙一<sup>6)</sup>, 宮野 真輔<sup>5,6)</sup>, 石川 尚子<sup>5,6)</sup>, 北 潔<sup>1)</sup>, 甲斐 一郎<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院 医学系研究科 2) 大阪府立大学 看護学部 / 大学院看護学研究科 3) Ministry of Health, Zambia 4) Mumbwa District Health Office, Zambia 5) 国際協力機構 ザンビ

ア事務所 6) 国立国際医療研究センター 国際医療協力部

037-209 近年における薬害 HIV 感染被害者の出生コホート別生存率および粗死亡率の分析

久地井 寿哉<sup>1)</sup>, 柿沼 章子<sup>1)</sup>, 岩野 友里<sup>2)</sup>, 石射 いずみ<sup>1)</sup>, 後藤 智巳<sup>1)</sup>, 大平 勝美<sup>1)</sup>

1) (社福) はばたき福祉事業団 2) (財) エイズ予防財団

037-210 男性性器の状態を問う質問紙の妥当性の検討

山岸 拓也<sup>1)</sup>, 尾上 泰彦<sup>2)</sup>, 飯塚 典男<sup>3)</sup>, 今井 博久<sup>4)</sup>, 中尾 裕之<sup>4)</sup>, 大山 卓昭<sup>5)</sup>, 八幡 裕一郎<sup>5)</sup>

1) 国立感染症研究所細菌第二部 2) 宮本町中央診療所 3) 飯塚クリニック 4) 国立保健医療科学院疫学部 5) 国立感染症研究所感染症情報センター

## 038 カウンセリング-1

■日時: 12月1日 (木) 10:50-11:40

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 山中 京子

(大阪府立大学人間社会学部)

038-211 HIV カウンセリングの実践内容の明確化の試み

牧野 麻由子<sup>1)</sup>, 古谷野 淳子<sup>1)</sup>, 加藤 朋子<sup>2)</sup>, 塚本 琢也<sup>3)</sup>, 北 志保里<sup>4)</sup>, 松岡 亜由子<sup>5)</sup>, 仲倉 高広<sup>6)</sup>, 森田 眞子<sup>6)</sup>, 安尾 利彦<sup>6)</sup>, 大谷 ありさ<sup>6)</sup>, 藤本 恵里<sup>6)</sup>, 倉谷 昂志<sup>6)</sup>, 宮本 哲雄<sup>6)</sup>, 喜花 伸子<sup>7)</sup>, 辻 麻理子<sup>8)</sup>, 高橋 佳子<sup>9)</sup>, 飯田 敏晴<sup>9)</sup>, 山中 京子<sup>10)</sup>

1) 新潟大学医歯学総合病院 2) 北海道大学病院 3) 仙台医療センター 4) 石川県立中央病院 5) 名古屋屋医療センター 6) 大阪医療センター 7) 広島

大学病院 8) 九州医療センター 9) 国立国際医療研究センター 10) 大阪府立大学

## O38-212 HIV 感染症患者の受診中断予測因子およびカウンセリングとの関連についてのケース・コントロール研究

富成 伸次郎<sup>1,4)</sup>, 安尾 利彦<sup>2)</sup>, 山中 京子<sup>3)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>, 中山 健夫<sup>4)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 2) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
- 3) 大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科 4) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

## O38-213 神経心理学的障害の自覚に関する研究

宮本 哲雄<sup>1,2)</sup>, 仲倉 高広<sup>1)</sup>, 安尾 利彦<sup>1)</sup>, 森田 眞子<sup>1)</sup>, 大谷 ありさ<sup>1)</sup>, 藤本 恵里<sup>1)</sup>, 倉谷 昂志<sup>1,2)</sup>, 西川 歩美<sup>1,3)</sup>, 下司 有加<sup>1)</sup>, 治川 知子<sup>1)</sup>, 東 政美<sup>1)</sup>, 今井 敏幸<sup>1)</sup>, 廣常 秀人<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント 3) ネットワーウ医療と人権

## O38-214 がんを併発した HIV 陽性患者の心理療法について

仲倉 高広<sup>1)</sup>, 下司 有加<sup>2)</sup>, 織田 幸子<sup>3)</sup>, 岡本 学<sup>4)</sup>, 富成 伸次郎<sup>5)</sup>, 白阪 琢磨<sup>5)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
- 2) 国立病院機構大阪医療センター看護部 3) スマートらいふネット 4) 国立病院機構大阪医療センター医療相談室 5) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

## O38-215 HIV 医療における心理士の院内連携の形態とその特徴

藤本 恵里<sup>1)</sup>, 大谷 ありさ<sup>1)</sup>, 仲倉 高広<sup>1)</sup>, 森田 眞子<sup>1)</sup>, 安尾 利彦<sup>1)</sup>, 倉谷 昂志<sup>1,2)</sup>, 宮本 哲雄<sup>1,2)</sup>, 西川 歩美<sup>1,3)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床心理室 2) 財団法人エイズ予防財団 3) ネットワーク医療と人権

## O39 カウンセリング-2

■日時: 12月1日 (木) 14:30-15:50

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 小島 賢一

(荻窪病院)

仲倉 高広

(国立病院機構大阪医療センター臨床心理室)

## O39-216 HIV 感染症患者の初診時におけるメンタルヘルス

安尾 利彦<sup>1)</sup>, 仲倉 高広<sup>1)</sup>, 森田 眞子<sup>1)</sup>, 大谷 ありさ<sup>1)</sup>, 藤本 恵里<sup>1)</sup>, 倉谷 昂志<sup>2)</sup>, 宮本 哲雄<sup>2)</sup>, 西川 歩美<sup>3)</sup>, 下司 有加<sup>1)</sup>, 治川 知子<sup>1)</sup>, 東 政美<sup>1)</sup>, 今井 敏幸<sup>1)</sup>, 廣常 秀人<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>

- 1) 大阪医療センター 2) 大阪医療センター/エイズ予防財団 3) 大阪医療センター/ネットワーク医療と人権

## O39-217 初診時から1年後の HIV 感染症者のメンタルヘルス

大谷 ありさ<sup>1)</sup>, 仲倉 高広<sup>1)</sup>, 安尾 利彦<sup>1)</sup>, 森田 眞子<sup>1)</sup>, 藤本 恵里<sup>1)</sup>, 倉谷 昂志<sup>1,2)</sup>, 宮本 哲雄<sup>1,2)</sup>, 西川 歩美<sup>1,3)</sup>, 下司 有加<sup>1)</sup>, 治川 知子<sup>1)</sup>, 東 政美<sup>1)</sup>, 今井 敏幸<sup>3)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>, 廣常 秀人<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 2) 財団法人エイズ予防財団 3) ネットワーク医療と人権

## O39-218 派遣カウンセリング制度の拡大および安定運用への方策の明確化に関する研究

神谷 昌枝<sup>1)</sup>, 石川 雅子<sup>2)</sup>, 山中 京子<sup>3)</sup>

- 1) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課
- 2) 千葉県健康福祉部健康増進課 3) 大阪府立大学人間社会学部

## O39-219 「派遣カウンセラー制度」の活用と臨床心理士カンファレンス

向井 三穂子<sup>1)</sup>, 椎木 創一<sup>2)</sup>, 高山 義浩<sup>2)</sup>, 平良 美枝子<sup>3)</sup>, 渡久山 朝裕<sup>4)</sup>

1) 沖縄県立中部病院 2) 同内科 3) とくだ心療内科 4) 沖縄県立看護大学

## O39-220 HIV カウンセリング体制強化に向けての実践検討（秋田県における HIV カウンセリング制度—第3報—1）

高田 知恵子<sup>1)</sup>, 浅利 朋子<sup>2)</sup>, 高橋 義博<sup>3)</sup>, 三浦 一樹<sup>4)</sup>, 北原 栄<sup>5)</sup>, 滝本 法明<sup>6)</sup>

1) 秋田大学教育文化学部 2) 笠松病院 3) 大館市立総合病院 4) 外旭川病院 5) 秋田赤十字病院 6) 秋田県健康推進課

## O39-221 HIV カウンセリング体制強化に向けての実践検討（秋田県における HIV カウンセリング制度 —第3報— 2）

浅利 朋子<sup>1)</sup>, 高田 知恵子<sup>2)</sup>, 高橋 義博<sup>3)</sup>, 三浦 一樹<sup>4)</sup>, 北原 栄<sup>5)</sup>, 滝本 法明<sup>6)</sup>

1) 笠松病院 2) 秋田大学教育文化学部 3) 大館市立総合病院 4) 外旭川病院 5) 秋田赤十字病院 6) 秋田県健康推進課

## O39-222 HIV 感染者の悩みの経験から見たカウンセリング体制のあり方に関する考察

山中 京子<sup>1)</sup>, 奥田 剛士<sup>2)</sup>, 神谷 昌枝<sup>3)</sup>, 石川 雅子<sup>4)</sup>, 仲倉 高広<sup>5)</sup>, 安尾 利彦<sup>5)</sup>, 古谷野 淳子<sup>6)</sup>, 牧野 真由子<sup>6)</sup>

1) 大阪府立大学人間社会学部 2) 奈良少年刑務所 3) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係 4) 千葉県健康福祉部健康増進課感染症対策室 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 6) 新潟大学医歯学総合病院

## O39-223 コミュニティセンターベースのカウンセリングサービスの MSM 利用者における行動目標設定の分析と予防介入の可能性

宮島 謙介<sup>1)</sup>, 長野 香<sup>1,2)</sup>, 星野 慎二<sup>1)</sup>

1) 横浜 Cruise ネットワーク 2) AGP（同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議） 3) しらかば診療所

12月2日 (金)

## 040 検査・相談体制-1

■日時: 12月2日 (金) 9:00-9:50

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 岳中 美江

(特定非営利活動法人CHARM/公益財団法人エイズ予 防財団)

040-224 マルコフモデルを用いた日本人 HIV 感染者数の推定

加藤 真吾<sup>1)</sup>, 須藤 弘二<sup>1)</sup>, 今井 光信<sup>2)</sup>

1) 慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室

2) 田園調布学園大学 人間福祉学部

040-225 東京都内公的検査機関における HIV 検査件数の解析 (2009-2011 年)

長島 真美<sup>1)</sup>, 新開 敬行<sup>1)</sup>, 尾形 和恵<sup>1)</sup>,  
吉田 勲<sup>1)</sup>, 原田 幸子<sup>1)</sup>, 清水 美穂<sup>1)</sup>, 林  
志直<sup>1)</sup>, 貞升 健志<sup>1)</sup>, 甲斐 明美<sup>1)</sup>

1) 東京都健康安全研究センター 微生物部

040-226 保健所等公設検査機関におけるパートナー健診と説明の現状

中瀬 克己<sup>1)</sup>, 今井 光信<sup>2,3)</sup>, 佐野 貴子<sup>3)</sup>

1) 岡山市保健所 2) 田園調布学園大学 3) 神奈川県衛生研究所

040-227 サンサンサイト検査・相談室における HIV 即日検査の受検者動向 2010

大郷 宏基<sup>1)</sup>, 塩入 康史<sup>1)</sup>, 大釜 正希<sup>1)</sup>,  
伊藤 葉子<sup>2)</sup>, 右田 麻里子<sup>1)</sup>, 桜井 健司<sup>1)</sup>,  
川添 昌之<sup>1)</sup>, 石神 互<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター 2) 中京大学現代社会学部

040-228 3 地域の地方公共団体と NPO の連携による HIV 検査事業の実践

飯塚 信吾<sup>1)</sup>, 藤部 荒術<sup>1)</sup>, 太田 昌二<sup>1)</sup>,

嶋田 憲司<sup>1)</sup>, 大石 敏寛<sup>2)</sup>, 河口 和也<sup>3)</sup>

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン  
の会 2) せかんどかみんぐあうと 3) 広島修道大学

## 041 検査・相談体制-2

■日時: 12月2日 (金) 9:00-9:50

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 中澤 よう子

(神奈川県鎌倉保健福祉事務所)

041-229 自発的 HIV 抗体検査数と“いきなりエイズ”について～全国データと北陸の解析から～

上田 幹夫<sup>1)</sup>, 辻 典子<sup>2)</sup>, 山田 三枝子<sup>2)</sup>,  
北 志保里<sup>2)</sup>, 古谷 智慧<sup>2)</sup>, 高山 次代<sup>3)</sup>

1) 石川県立中央病院免疫感染症科 2) 石川県立中央病院 HIV 事務室、エイズ予防財団 3) 石川県立中央病院看護部

041-230 対象を絞った広報と診療所における HIV 検査の組み合わせによる効果的なエイズ対策—エイズ予防のための戦略研究 MSM 京阪神グループ—

川畑 拓也<sup>1)</sup>, 辻 宏幸<sup>2,3)</sup>, 後藤 大輔<sup>2,3)</sup>,  
町 登志雄<sup>2)</sup>, 内田 優<sup>2)</sup>, 鬼塚 哲郎<sup>2,4)</sup>, 小  
島 洋子<sup>1)</sup>, 森 治代<sup>1)</sup>, 高野 操<sup>3,5)</sup>, 塩野  
徳史<sup>6)</sup>, 田端 運久<sup>7)</sup>, 古林 敬一<sup>8)</sup>, 岩佐  
厚<sup>9)</sup>, 高田 昌彦<sup>10)</sup>, 菅野 展史<sup>11)</sup>, 亀岡 博  
12), 大里 和久<sup>13)</sup>, 市川 誠一<sup>6)</sup>

1) 大阪府立公衆衛生研究所 2) MASH 大阪 3) 公益財団法人エイズ予防財団 4) 京都産業大学 5) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 6) 名古屋市立大学看護学部 7) 田端医院 8) そねざき古林診療所 9) 岩佐クリニック 10) 高田泌尿器科 11) 菅野クリニック 12) 亀岡クリニック 13) 大里クリニック

041-231 MSM コミュニティセンター「かながわレインボーセンター SHIP」即日検査における受検者の動向

星野 慎二<sup>1)</sup>, 井戸田 一朗<sup>2,3)</sup>, 相楽 裕子<sup>4)</sup>,  
吉村 幸浩<sup>4)</sup>, 中澤 よう子<sup>5)</sup>, 沢田 貴志<sup>6)</sup>,  
上田 敦久<sup>7)</sup>, 佐野 貴子<sup>8)</sup>, 今井 光信<sup>9)</sup>

1) 横浜 Cruise ネットワーク 2) AGP (同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議) 3) しらかば診療所 4) 横浜市立市民病院 感染症内科 5) 神奈川県鎌倉保健福祉事務所 6) 港町診療所 7) 横浜市立大学附属病院 感染症内科 8) 神奈川県衛生研究所 微生物部 9) 田園調布学園大学

## O41-232 HIV 陽性者の体験から見た検査と告知 (第1報): 検査前の HIV のイメージと陽性告知時に得た情報・メッセージ

高久 陽介<sup>1)</sup>, 井上 洋士<sup>2)</sup>, 矢島 嵩<sup>1,3)</sup>, 長野 耕介<sup>1)</sup>, 長谷川 博史<sup>1)</sup>, 生島 嗣<sup>3)</sup>  
1) 特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス 2) 放送大学 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

## O41-233 HIV 陽性者の体験から見た検査と告知 (第2報): 陽性告知担当者の対応

井上 洋士<sup>1)</sup>, 高久 陽介<sup>2)</sup>, 矢島 嵩<sup>2,3)</sup>, 長野 耕介<sup>2)</sup>, 長谷川 博史<sup>2)</sup>, 生島 嗣<sup>3)</sup>  
1) 放送大学 2) 特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

## O41-234 HIV 検査相談の研修ガイドライン策定と実践、今後の方向性について: 相談対応の標準化を目指して

矢永 由里子<sup>1)</sup>, 高田 知恵子<sup>2)</sup>, 岳中 美江<sup>3)</sup>, 小泉 京子<sup>4)</sup>, 辻 麻理子<sup>5)</sup>, 加藤 朋子<sup>6)</sup>, 江崎 直樹<sup>7)</sup>, 井村 弘子<sup>8)</sup>, 紅林 洋子<sup>9)</sup>, 加藤 真吾<sup>10)</sup>  
1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター 2) 秋田大学教育文化学部 3) NPO 法人 CHARM 4) 江戸川区健康部健康サービス課 5) 国立病院機構九州医療センター 6) 北海道大学病院相談室 7) 陸上自衛隊久留米駐屯地業務隊 8) 沖縄国際大学総合文化学部 9) 沼津市立病院 10) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

## O42 陽性者支援-1

■日時: 12月2日 (金) 10:50-11:50

■会場: 第2会場 (桃山)

座長 矢島 嵩

(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

## O42-235 地域における HIV 陽性者や周囲の人のための相談活動の考察

生島 嗣<sup>1)</sup>, 牧原 信也<sup>1)</sup>, 福原 寿也<sup>1)</sup>, 神原 奈緒美<sup>1)</sup>, 佐藤 郁夫<sup>1)</sup>, 池上 千寿子<sup>1)</sup>  
1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

## O42-236 HIV 陽性者周囲の人からの相談における対応と留意点～初回相談を中心に～

牧原 信也<sup>1)</sup>, 福原 寿弥<sup>1)</sup>, 生島 嗣<sup>1)</sup>, 神原 奈緒美<sup>1)</sup>, 池上 千寿子<sup>1)</sup>  
1) 特定非営利活動法人 ぶれいす東京

## O42-237 HIV 陽性者の陽性告知から疾病受容に至る心理的過程の変化～MSM である陽性者に視点を当てて～

仁木 絵里菜<sup>1)</sup>, 渡邊 悠子<sup>2)</sup>, 大木 幸子<sup>3)</sup>  
1) 杏林大学医学部附属病院 2) 昭和大学病院 3) 杏林大学保健学部

## O42-238 地域における新 HIV 陽性者対象のプログラム実践についてーエイズ予防のための戦略研究 MSM 京阪神グループー

大野 まどか<sup>1)</sup>, 岳中 美江<sup>1,2)</sup>, 柏木 瑛信<sup>1)</sup>, 白野 倫徳<sup>1)</sup>, 伊達 直弘<sup>1)</sup>, 野坂 祐子<sup>1)</sup>, 松浦 基夫<sup>1)</sup>, 矢島 嵩<sup>3)</sup>, 青木 理恵子<sup>1)</sup>, 生島 嗣<sup>3)</sup>, 市川 誠一<sup>4)</sup>  
1) 特定非営利活動法人 CHARM 2) 公益財団法人エイズ予防財団 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京 4) 名古屋市立大学看護学部

## O42-239 HIV 陽性者のための学術集会参加支援プログラムを通じた、陽性者の社会参加促進の可能性についての考察

柿沼 章子<sup>1)</sup>, 大槻 知子<sup>2)</sup>, 高久 陽介<sup>3)</sup>,  
大平 勝美<sup>1)</sup>, 生島 嗣<sup>2)</sup>, 長谷川 博史<sup>3)</sup>

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 2) 特定非  
営利活動法人ぶれいす東京 3) 特定非営利活動  
法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププ  
ラス

## O42-240 オーストラリアにおける HIV 陽性者 QOL 調査プロジェクト HIV Futures の現状と課題、及び日本でのフィージビ リティについての研究

井上 洋士<sup>1)</sup>, 高久 陽介<sup>2)</sup>, 矢島 嵩<sup>2,3)</sup>, 戸  
ヶ里 泰典<sup>1)</sup>, 山口 達<sup>1)</sup>, 市川 誠一<sup>4)</sup>

1) 放送大学 2) 特定非営利活動法人日本 HIV 陽  
性者ネットワーク・ジャンププラス 3) 特定非  
営利活動法人ぶれいす東京 4) 名古屋市立大学

## O43 他の病原体

■日時: 12月2日 (金) 9:00-10:00

■会場: 第3会場 (クリスタルルーム)

座長 三浦 聡之

(ヴィーブヘルスケア株式会社 Medical Affairs

Department)

小田原 隆

(三菱東京UFJ銀行健康センター)

## O43-241 トキソプラズマ感染症に対す る遺伝子診断法の確立

三木田 馨<sup>1)</sup>, 前田 卓哉<sup>1)</sup>, 小野 岳史<sup>2)</sup>,  
宮平 靖<sup>2)</sup>, 竹内 勤<sup>3)</sup>, 川名 明彦<sup>1)</sup>, 浅井  
隆志<sup>3)</sup>

1) 防衛医科大学校内科学 2 (感染症・呼吸器)  
講座 2) 防衛医科大学校 国際感染症学講座 3) 慶  
應義塾大学医学部 熱帯医学・寄生虫学教室

## O43-242 トキソプラズマ脳炎 23 例の臨 床的検討

小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 田村 久美<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>,  
濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>, 水島 大輔<sup>1)</sup>,  
西島 健<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 青木 孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺  
恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 矢崎 博久<sup>1)</sup>, 田沼

順子<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 照  
屋 勝治<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡  
慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・  
研究開発センター

## O43-243 当院の HIV 患者におけるトキ ソプラズマ脳症の検討

田頭 保彰<sup>1)</sup>, 神戸 敏行<sup>1)</sup>, 中村 朗<sup>1)</sup>

1) 総合病院 国保旭中央病院 内科

## O43-244 日本人 HIV 感染者における新 型インフルエンザ (A/H1N1) の有効性に 関する検討

佐々木 秀悟<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 前田 一洋<sup>2)</sup>,  
菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 今村 顕史<sup>1)</sup>, 高山 直秀<sup>3)</sup>,  
奥野 良信<sup>2)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症  
科 2) 阪大微生物病研究会観音寺研究所 3) がん・  
感染症センター都立駒込病院小児科

## O43-245 HIV 陽性者における播種性クリ プトコッカス症と非定型抗酸菌症の一例

山内 悠子<sup>1)</sup>, 柳沢 邦雄<sup>2)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 照  
屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター 治療研究開発  
センター 2) 群馬大学大学院 生体統御内科学  
/医学部附属病院 血液内科

## O43-246 HIV 感染者の Helicobacter pylori 新規感染について

矢崎 博久<sup>1)</sup>, 濱田 洋平<sup>1)</sup>, 橋本 亜希<sup>1)</sup>,  
田村 久美<sup>1)</sup>, 小林 泰一郎<sup>1)</sup>, 山内 悠子<sup>1)</sup>,  
水島 大輔<sup>1)</sup>, 西島 健<sup>1)</sup>, 木内 英<sup>1)</sup>, 青木  
孝弘<sup>1)</sup>, 渡辺 恒二<sup>1)</sup>, 本田 元人<sup>1)</sup>, 田沼  
順子<sup>1)</sup>, 塚田 訓久<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 瀧  
永 博之<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡  
慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究開発センターエイズ治療  
研究開発センター

## O44 抗HIV療法-3

■日時: 12月2日 (金) 9:00-10:00

■会場: 第4会場 (平安)

座長 菊池 嘉

(国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター)

上田 幹夫

(石川県立中央病院血液内科,免疫感染症科)

### O44-247 TDF/FTC から ABC/3TC への変更による血清クレアチニンへの影響について

下川 千賀子<sup>1)</sup>, 表 志穂<sup>1)</sup>, 亀井 勝一郎<sup>1)</sup>, 山田 三枝子<sup>2,3)</sup>, 辻 典子<sup>2,3)</sup>, 上田 幹夫<sup>4)</sup>

1) 石川県立中央病院薬剤部 2) 石川県立中央病院 HIV 情報室 3) 財団法人エイズ予防財団 4) 石川県立中央病院免疫感染症科

### O44-248 抗 HIV 薬の簡易懸濁法適用に関する検討

矢倉 裕輝<sup>1)</sup>, 吉野 宗宏<sup>1)</sup>, 櫛田 宏幸<sup>1)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>2)</sup>, 桑原 健<sup>3)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター一薬剤科 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科 3) 独立行政法人国立病院機構京都病院薬剤科

### O44-249 抗 HIV 薬による非硬化性門脈圧亢進症 (NCPH) の 1 例

矢嶋 敬史郎<sup>1)</sup>, 上平 朝子<sup>1)</sup>, 湯口 清徳<sup>2)</sup>, 廣田 和之<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>1)</sup>, 坂東 裕基<sup>1)</sup>, 小泉 祐介<sup>1)</sup>, 大寺 博<sup>1)</sup>, 富成 伸次郎<sup>1)</sup>, 渡邊 大<sup>1)</sup>, 葛下 典由<sup>2)</sup>, 西田 恭治<sup>1)</sup>, 三田 英治<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科 2) 国立病院機構大阪医療センター消化器内科

### O44-250 Ritonavir の剤形変更に伴う薬物動態の比較検討および自覚症状の変化に関する調査

矢倉 裕輝<sup>1)</sup>, 吉野 宗宏<sup>1)</sup>, 櫛田 宏幸<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>2)</sup>, 廣田 和之<sup>2)</sup>, 坂東

裕基<sup>2)</sup>, 矢嶋 敬史郎<sup>2)</sup>, 小泉 祐介<sup>2)</sup>, 大寺 博<sup>2)</sup>, 富成 伸次郎<sup>2)</sup>, 渡邊 大<sup>2)</sup>, 西田 恭治<sup>2)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>2)</sup>, 桑原 健<sup>3)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター一薬剤科 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科 3) 独立行政法人国立病院機構京都病院薬剤科

### O44-251 cART 導入開始時期の決定に苦慮した Cryptococcus 髄膜炎合併 HIV 感染症患者の 1 例

古川 恵太郎<sup>1)</sup>, 近澤 悠志<sup>2)</sup>, 村松 崇<sup>2)</sup>, 清田 育男<sup>2)</sup>, 大瀧 学<sup>2)</sup>, 四本 美保子<sup>2)</sup>, 尾形 享一<sup>2)</sup>, 鈴木 隆史<sup>2)</sup>, 天野 景裕<sup>2)</sup>, 山元 泰之<sup>2)</sup>, 福武 勝幸<sup>2)</sup>

1) 東京医科大学病院 卒後臨床研修センター 2) 東京医科大学病院 臨床検査医学科

### O44-252 初診時 CD4 細胞数 50 未満の AIDS 患者の解析～単施設解析～

川上 公宏<sup>1)</sup>, 宮川 真澄<sup>2)</sup>, 鶴見 恵子<sup>3)</sup>, 松岡 亮仁<sup>1)</sup>, 脇 正人<sup>1)</sup>

1) 香川県立中央病院 血液内科 2) 香川県立中央病院 薬剤部 3) 香川県立中央病院 北 11 病棟

## O45 抗HIV療法-4

■日時: 12月2日 (金) 10:00-11:00

■会場: 第4会場 (平安)

座長 立川 夏夫

(横浜市立市民病院感染症内科)

渡邊 大

(国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部HIV感染制御研究室)

### O45-253 多施設共同疫学調査における HAART の有効率 2010

菊池 嘉<sup>1)</sup>, 遠藤 知之<sup>2)</sup>, 宮城島 拓人<sup>3)</sup>, 伊藤 俊広<sup>4)</sup>, 中村 仁美<sup>5)</sup>, 田邊 嘉也<sup>6)</sup>, 上田 幹夫<sup>7)</sup>, 横幕 能行<sup>8)</sup>, 渡邊 大<sup>9)</sup>, 藤井 輝久<sup>10)</sup>, 南 留美<sup>11)</sup>, 健山 正男<sup>12)</sup>



1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 2) 北海道大学病院 3) 独立行政法人勤労者福祉機構釧路労災病院 4) 国立病院機構仙台医療センター 5) 東京大学医科学研究所 6) 新潟大学病院 7) 石川県立中央病院 8) 国立病院機構名古屋医療センター 9) 国立病院機構大阪医療センター 10) 広島大学病院 11) 国立病院機構九州医療センター 12) 琉球大学大学院医学部

## O45-254 Outcome of first- and second-line antiretroviral therapy among HIV-1 vertically-infected Kenyan children

Lihana Raphael<sup>1)</sup>, Lwembe Raphael<sup>2)</sup>, Bi Xiuqiong<sup>1)</sup>, Ishizaki Azumi<sup>1)</sup>, Ichimura Hiroshi<sup>1)</sup>

1) Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University 2) Kenya Medical Research Institute

## O45-255 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2011 年)－

日笠 聡<sup>1)</sup>, 桑原 健<sup>2)</sup>, 小島 賢一<sup>3)</sup>, 白阪 琢磨<sup>4)</sup>

1) 兵庫医科大学血液内科 2) 国立病院機構京都病院薬剤科 3) 荻窪病院血液科 4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

## O45-256 北タイ政府系病院 HIV 外来における多剤併用療法の薬剤変更率とその原因について

土屋 菜歩<sup>1,2)</sup>, Pathipvanich Panita<sup>3)</sup>, Wichukchinda Nuanjun<sup>4)</sup>, Sawanpanyalert Pathom<sup>4)</sup>, 有吉 紅也<sup>1,2)</sup>

1) 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症分野 (熱研内科) 2) 長崎大学グローバル COE プログラム 3) ランパン病院ダイケアセンター 4) タイ国立衛生研究所

## O45-257 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2011 年)－

小島 賢一<sup>1)</sup>, 桑原 健<sup>2)</sup>, 日笠 聡<sup>3)</sup>, 白阪 琢磨<sup>4)</sup>

1) 荻窪病院血液科 2) 国立病院機構京都病院薬剤科 3) 兵庫医科大学血液内科 4) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

## O45-258 拠点病院における抗 HIV 療法と薬剤関連アンケート調査結果 (2011)

桑原 健<sup>1)</sup>, 小島 賢一<sup>2)</sup>, 日笠 聡<sup>3)</sup>, 白阪 琢磨<sup>4)</sup>

1) 国立病院機構京都病院 薬剤科 2) 荻窪病院 血液科 3) 兵庫医科大学病院 血液内科 4) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

## O46 抗HIV療法-5 /臨床検査

■日時: 12月2日 (金) 11:00-11:30

■会場: 第4会場 (平安)

座長 横幕 能行

(国立病院機構名古屋医療センター)

## O46-259 日本人 HIV 患者におけるダルナビル血中濃度の検討

中村 真依<sup>1)</sup>, 土屋 亮人<sup>2)</sup>, 林田 庸総<sup>2)</sup>, 増田 純一<sup>1)</sup>, 千田 昌之<sup>1)</sup>, 瀧永 博之<sup>2)</sup>, 水野 宏一<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>2)</sup>, 三上 二郎<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院薬剤部 2) 独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## O46-260 当院における HIV 抗体検査の年次推移について

桜庭 尚哉<sup>1)</sup>, 戸上 陽子<sup>1)</sup>, 柳 富子<sup>2)</sup>

1) 社会保険中央総合病院臨床検査部 2) 社会保険中央総合病院内科

## O46-261 LC-MS/MS を用いた毛髪中および血液中の抗 HIV 薬の定量

須藤 弘二<sup>1)</sup>, 吉野 宗宏<sup>2)</sup>, 桑原 健<sup>3)</sup>, 白

阪 琢磨<sup>2)</sup>, 加藤 真吾<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室
- 2) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構 東京都病院

## 047 新薬開発-3

■日時: 12月2日 (金) 9:00-10:00

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 馬場 昌範

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科難治ウイルス病態制御研究センター)

駒野 淳

(国立感染症研究所)

### 047-262 酸性脂質類による HIV-1 増殖の抑制

安楽 健作<sup>1)</sup>, 大塚 雅巳<sup>2)</sup>, 藤田 美歌子<sup>3)</sup>

- 1) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学分野
- 3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

### 047-263 HIV-1 潜伏感染系を用いたプロウイルスを再活性化する植物抽出物の解析

魚田 慎<sup>1)</sup>, Nguyen Huu Tung<sup>2)</sup>, 吉仲 由之<sup>1)</sup>, 神奈木 真里<sup>3)</sup>, 正山 征洋<sup>2)</sup>, 山岡昇司<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学
- 2) 長崎国際大学薬学部薬品資源学
- 3) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学

### 047-264 フラーレン誘導体による HIV-1 増殖抑制効果

工藤 恵理子<sup>1)</sup>, 谷本 周穂<sup>2)</sup>, 田浦 学<sup>1)</sup>, 高橋 大介<sup>2)</sup>, 戸嶋 一敦<sup>2)</sup>, 岡田 誠治<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 慶應義塾大学理工学部応用化学科

### 047-265 HIV 外被タンパク質 gp120 の構造変化誘起を指向した低分子 CD4 ミミックの構造活性相関研究

新井 啓之<sup>1,2)</sup>, 鳴海 哲夫<sup>1)</sup>, 吉村 和久<sup>3)</sup>, 原田 恵嘉<sup>3)</sup>, 野村 渉<sup>1)</sup>, 松下 修三<sup>3)</sup>, 玉村 啓和<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 東京医科歯科大学疾患生命科学研究所
- 3) 熊本大学エイズ学研究センター

### 047-266 低分子型 CD4 ミミック: HIV 外被タンパク質の構造変化を促す HIV 侵入阻害剤

鳴海 哲夫<sup>1)</sup>, 新井 啓之<sup>1)</sup>, 吉村 和久<sup>2)</sup>, 原田 恵嘉<sup>2)</sup>, 野村 渉<sup>1)</sup>, 松下 修三<sup>2)</sup>, 玉村 啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター

### 047-267 HIV-1 逆転写酵素 RNase H 活性阻害剤の開発

柳田 浩志<sup>1)</sup>, 横田 瑞穂<sup>1)</sup>, 尾瀨 将一<sup>1)</sup>, 浦野 恵美子<sup>2)</sup>, 市川 玲子<sup>2)</sup>, 村上 努<sup>2)</sup>, 駒野 淳<sup>2)</sup>, 星野 忠次<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学大学院 薬学研究院 薬品物理化学研究室
- 2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

## 048 アクセサリー-遺伝子-1

■日時: 12月2日 (金) 10:00-10:40

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 足立 昭夫

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野)

間 陽子

(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

### 048-268 HIV-1 Vpr activates type I interferon signaling pathway in macrophages and related with interleukin-1 (IL-1) pathway in dendritic cells

薛 光愛<sup>1)</sup>, Muhammad Atif Zahoor<sup>1,2)</sup>, 間陽子<sup>1)</sup>

1) 理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット 2) JSPS 外国人特別研究員

## O48-269 培養細胞実験の数理モデリングを用いたウイルスダイナミクスにおけるVpr機能の解明

岩見 真吾<sup>1,2,3)</sup>, 佐藤 佳<sup>3)</sup>, 小柳 義夫<sup>3)</sup>

1) 日本科学技術振興機構 (JST) さきがけ 2) 東京大学大学院数理科学研究科 3) 京都大学ウイルス研究所

## O48-270 Fucci を用いた HIV-1 Vpr による細胞周期制御のダイナミクスと細胞死のライブイメージング

村上 知行<sup>1,2)</sup>, 間 陽子<sup>1,2)</sup>

1) 理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット 2) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 感染制御分子機能解析分野

## O48-271 3D and continuous single-quantum dot tracking reveals that HIV-1 Tat transduces into the living cells by two distinct active transportation systems

Roy Chandra Nath<sup>1)</sup>, 鈴木 康弘<sup>1)</sup>, 今村 淳治<sup>2)</sup>, 権田 幸祐<sup>3)</sup>, 瀧永 博之<sup>4)</sup>, 大内 憲明<sup>3)</sup>

1) 東北大学 大学院医学系研究科 感染病態学 2) 国立病院機構 名古屋医療センター 3) 東北大学 大学院医学系研究科 ナノ医科学寄附講座 4) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

## O49 アクセサリー遺伝子-2

■日時: 12月2日 (金) 10:40-11:20

■会場: 第5会場 (白鳳)

座長 小柳 義夫

(京都大学ウイルス研究所)

明里 宏文

(京都大学霊長類研究所・人類進化モデル研究センター比較免疫微生物領域)

## O49-272 HIV-1 Vif はリン酸化により p53 を安定化し、細胞を G2/M 期に停止させアポトーシスを誘導する

井尾 克宏<sup>1)</sup>, 新堂 啓祐<sup>1)</sup>, 泉 泰輔<sup>1,2)</sup>, 松井 道<sup>1)</sup>, 篠原 正信<sup>1)</sup>, 阪本 貴士<sup>1)</sup>, 多田 浩平<sup>1)</sup>, 西澤 正俊<sup>1)</sup>, 小林 正行<sup>1)</sup>, 高折 晃史<sup>1)</sup>

1) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科 2) 財団法人エイズ予防財団

## O49-273 Nef のウイルスレセプター発現低下機能と病態

緒方 陽子<sup>1)</sup>, 大津家 裕仁<sup>1)</sup>, Mwimanzhi Philip<sup>1)</sup>, 徳永 美知代<sup>1)</sup>, Makle Tristan<sup>2)</sup>, 三浦 聡之<sup>4)</sup>, Walker Bruce<sup>3)</sup>, Brumme Zabrina<sup>2)</sup>, Brockman Mark<sup>2)</sup>, 上野 貴将<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター 2) Simon Fraser University, Canada 3) Ragon Institute, USA 4) 東京大学

## O49-274 Impaired viral infectivity and viral replication capacity by nef alleles from HIV elite controllers

Philip Mwimanzhi<sup>1)</sup>, Markle Tristan<sup>2)</sup>, 徳永 美知代<sup>1)</sup>, 三浦 聡之<sup>3)</sup>, Martin Eric<sup>2)</sup>, Pereyra Florencia<sup>4)</sup>, Walker Bruce<sup>4)</sup>, Brumme Zabrina<sup>2)</sup>, Brockman Mark<sup>2)</sup>, 上野 貴将<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター 2) Simon Fraser University, BC, CA 3) 東京大学 4) Ragon Institute, MGH, MA, USA

## O49-275 分泌型 HIV-1 蛋白質による炎症性マクロファージおよびミクログリアの誘導

橋本 倫拓<sup>1)</sup>, 千原 隆<sup>1)</sup>, 鈴 伸也<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学エイズ学研究センター

## O50-279 受診継続困難事例にみる陽性者支援の課題

森 尚義<sup>1)</sup>, 増田 友紀<sup>2)</sup>, 石田 三保<sup>2)</sup>, 上田 あすか<sup>1)</sup>, 谷口 晴記<sup>3)</sup>

1) 三重県立総合医療センター薬剤部 2) 三重県立総合医療センター地域連携室 3) 三重県立総合医療センター産婦人科

## O50 陽性者支援-2

■日時: 12月2日 (金) 9:00-10:00

■会場: 第6会場 (飛鳥)

座長 小島 賢一  
(荻窪病院)

## O50-280 エイズ治療を受ける長期療養生活を支える力

矢羽々 みえ子<sup>1)</sup>, 伊藤 廣美<sup>1)</sup>  
1) 旭川医科大学病院 看護部 外来ナースステーション

## O50-276 エイズブロック・中核拠点病院医療ソーシャルワーカーによる地域 HIV 陽性者等支援に関する研究

山本 博之<sup>1)</sup>, 岡本 学<sup>2)</sup>, 生島 嗣<sup>3)</sup>, 伊賀 陽子<sup>4)</sup>, 友田 安政<sup>5)</sup>, 樋口 綾<sup>6)</sup>, 船附 祥子<sup>7)</sup>, 加藤 由樹<sup>8)</sup>

1) 田園調布学園大学 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 3) 特定非営利活動法人ふれいす東京 4) 兵庫医科大学病院 5) 横浜市立大学病院 6) 沼津市立病院 7) 広島大学病院 8) 相模女子大学

## O50-281 HIV 感染症患者における離職意向と身体的・精神的自覚症状の関連に関する研究

高橋 佳子<sup>1,2)</sup>, 池田 和子<sup>1)</sup>, 今井 公文<sup>3)</sup>, 湯永 博之<sup>1)</sup>, 金沢 吉展<sup>4)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター 2) 財団法人エイズ予防財団 3) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院精神科 4) 明治学院大学心理学部

## O50-277 HIV 看護・診療経験の少ないエイズブロック拠点病院でのチーム医療 ～病名告知後まもない HIV 陽性者の外来支援～

成田 清子<sup>1)</sup>, 高岡 勝利<sup>1)</sup>, 菅沢 明美<sup>1)</sup>, 高橋 晴代<sup>1)</sup>, 関 義信<sup>1)</sup>

1) 新潟県立新発田病院 HIV 委員会

## O50-278 当院通院中の 60 歳以上の HIV 感染者における診療状況の検討

関矢 早苗<sup>1)</sup>, 野本 和美<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>2)</sup>, 菅沼 明彦<sup>2)</sup>, 今村 顕史<sup>2)</sup>, 味澤 篤<sup>2)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 看護部 2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

## 一般演題ポスター (1日目)

■日時: 11月30日 (水) 16:15-17:15

■会場: ポスター会場 (天平)

### 感染機構

P1-001 HIV-1 コレセプター阻害剤による CCR5 の oligomerization 増強に關与する CCR5 領域の解析

中野 雄介<sup>1)</sup>, 前田 洋助<sup>1)</sup>, 遊佐 敬介<sup>2)</sup>, 原田 信志<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部感染防御学分野、2) 国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部ウイルス安全研究室

### アクセサリー遺伝子

P1-002 Vpr Helix3 領域と結合する新規 HIV-1 阻害剤の開発

萩原 恭二<sup>1)</sup>, 村上 知行<sup>1,2)</sup>, 石井 英樹<sup>3)</sup>, 近藤 恭光<sup>4)</sup>, 本田 香織<sup>4)</sup>, 長田 裕之<sup>4)</sup>, 横田 恭子<sup>5)</sup>, 鈴木 正昭<sup>3)</sup>, 間 陽子<sup>1,2)</sup>

1) 理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット、2) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 感染制御分子機能解析分野、3) 理化学研究所 分子イメージング創薬化学研究チーム、4) 理化学研究所 ケミカルバイオロジー研究基盤施設、5) 国立感染症研究所 免疫部

P1-003 HIV-1 及び SIV Nef の発現量がウイルス感染性増強作用に与える影響

原田 圭輔<sup>1)</sup>, 高宗 暢暁<sup>1)</sup>, 山本 充奈美<sup>1)</sup>, 入坂 由香梨<sup>1)</sup>, 杉本 幸彦<sup>1)</sup>, 庄司 省三<sup>1,2)</sup>, 三隅 将吾<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部 薬学生化学分野 2) 熊本保健科学大学

### 複製

P1-004 HIV プロテアーゼ活性型 CASP3 による HIV 複製抑制

浦野 恵美子<sup>1)</sup>, 宮内 浩典<sup>1)</sup>, 滝澤 万里<sup>1)</sup>, 市川 玲子<sup>1)</sup>, 駒野 淳<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

### 宿主因子

P1-005 HMGA1a は HIV-1 特異的な選択的スプライシングの制御に關与している

高馬 卓也<sup>1,3)</sup>, 鶴野 親是<sup>1,3)</sup>, 大江 賢治<sup>2)</sup>, 倉光 球<sup>1)</sup>, 高浜 洋一<sup>3)</sup>, 浜口 行雄<sup>3)</sup>, 浜口 功<sup>1)</sup>, 大隈 和<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所血液・安全性研究部 2) 藤田保健衛生大学総合医科学研究所 3) シスメックス株式会社

P1-006 BST-2 の抗 HIV-1 活性に關与する cofactor の検索

阿部 真<sup>1)</sup>, 西辻 裕紀<sup>1)</sup>, 谷口 善則<sup>1)</sup>, 渡邊 宇裕<sup>1)</sup>, 高久 洋<sup>1)</sup>

1) 千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻

### 遺伝子進化

P1-007 SIV/HIV-1 Vpu 遺伝子の進化に關する研究

吉田 いづみ<sup>1)</sup>, 任 鳳蓉<sup>1)</sup>, 田中 博<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院疾患生命科学研究部

## 新薬開発

### P1-008 Vpr 由来インテグラーゼ阻害剤の構造活性相関

尾崎 太郎<sup>1)</sup>, 浦野 恵美子<sup>2)</sup>, 鳴海 哲夫<sup>1)</sup>, 野村 渉<sup>1)</sup>, Maddali Kasthuraiah<sup>3)</sup>, Pommier Yves<sup>3)</sup>, 山本 直樹<sup>4)</sup>, 駒野 淳<sup>2)</sup>, 玉村 啓和<sup>1)</sup>

1) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター 3) National Cancer Institute, National Institutes of Health 4) Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

### P1-009 In vitro Susceptibility of G118R and G118R/E138K Mutants to the Integrase Inhibitors, Dolutegravir (DTG, S/GSK1349572), and Raltegravir is Dependent on Assay

三木 茂<sup>1)</sup>, 小林 雅典<sup>1)</sup>, 関 貴弘<sup>1)</sup>, 吉永 智一<sup>1)</sup>, 佐藤 彰彦<sup>1)</sup>, 藤原 民雄<sup>2)</sup>

1) 塩野義製薬株式会社 創薬・疾患研究所 2) 塩野義製薬株式会社 GLOBAL DEVELOPMENT OFFICE

### P1-010 Investigation of molecular docking method in order to find novel candidates targeting cyclophilin A

田 雨時<sup>1)</sup>, 川下 理日人<sup>1,2)</sup>, 岡本 晃典<sup>1)</sup>, Chris Verathamjamras<sup>2)</sup>, 安永 照雄<sup>2)</sup>, 生田 和良<sup>2)</sup>, 亀岡 正典<sup>2)</sup>, 高木 達也<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院薬学研究科 2) 大阪大学微生物病研究所

## 動物モデル

### P1-011 R5 および X4 HIV-1 同時感染ヒト化マウスモデルによる感染早期のウイルス優位性の解析

石毛 真行<sup>1,2)</sup>, 寺原 和孝<sup>1)</sup>, 渋谷 謙太郎<sup>1,3)</sup>, 光木 裕也<sup>1,3)</sup>, 池野 翔太<sup>4)</sup>, 小林 和夫<sup>1)</sup>, 岡田 誠治<sup>2)</sup>, 横田 (恒次) 恭子<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 免疫部 2) 熊本大学エイズ学研究センター 岡田プロジェクト 3) エイズ予防財団 4) 北里大学

## 薬剤耐性 (基礎)

### P1-012 HIV-1 膜融合阻害剤に対する新規耐性メカニズムの解析

志村 和也<sup>1)</sup>, 大石 真也<sup>2)</sup>, 藤井 信孝<sup>2)</sup>, 松岡 雅雄<sup>1)</sup>

1) 京都大学ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域 2) 京都大学大学院薬学研究科 ケモゲノミクス分野

### P1-013 東京都内公的検査機関での HIV 検査陽性例における Integrase 遺伝子の解析

長島 真美<sup>1)</sup>, 新開 敬行<sup>1)</sup>, 尾形 和恵<sup>1)</sup>, 吉田 勲<sup>1)</sup>, 原田 幸子<sup>1)</sup>, 清水 美穂<sup>1)</sup>, 林志直<sup>1)</sup>, 貞升 健志<sup>1)</sup>, 甲斐 明美<sup>1)</sup>

1) 東京都健康安全研究センター 微生物部

## その他【基礎】

### P1-014 Computational identification of the microRNA interactive pathways of host-HIV-1 antisense transcribed cryptic epitopes

Neil Tan Gana<sup>1)</sup>, Onuki Tomohiro<sup>1)</sup>,

Victoriano Ann Florence<sup>1)</sup>, Hibi Yurina<sup>1)</sup>,  
Miyuki Sakai<sup>1)</sup>, Uranishi Hiroaki<sup>1)</sup>, Asamitsu  
Kaori<sup>1)</sup>, Okamoto Takashi<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞と分子  
生物学科分子医学研究所

## 日和見感染

### P1-015 メフロキン投与を行った進行性多 巣性白質脳症 3 症例の検討

坂東 裕基<sup>1)</sup>, 廣田 和之<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>1)</sup>, 矢  
嶋 敬史郎<sup>1)</sup>, 小泉 祐介<sup>1)</sup>, 大寺 博<sup>1)</sup>, 富成  
伸次郎<sup>1)</sup>, 渡邊 大<sup>1)</sup>, 西田 恭治<sup>1)</sup>, 上平  
朝子<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

### P1-016 HIV 感染に合併した劇症型サイト メガロウィルス感染症の一救命例

喜安 純一<sup>1)</sup>, 高濱 宗一郎<sup>1)</sup>, 南 留美<sup>1)</sup>, 山  
本 政弘<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター  
免疫感染症内科

### P1-017 当院における AIDS 関連ニューモ シスチス肺炎症例の検討

佐藤 秀憲<sup>1)</sup>, 大亀 路生<sup>1)</sup>, 安達 英輔<sup>1)</sup>, 菊  
地 正<sup>1)</sup>, 清水 少一<sup>1)</sup>, 宮崎 菜穂子<sup>1)</sup>, 古賀  
道子<sup>2)</sup>, 中村 仁美<sup>2)</sup>, 鯉淵 智彦<sup>1)</sup>, 三浦  
聡之<sup>2)</sup>, 藤井 毅<sup>1)</sup>, 岩本 愛吉<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター  
感染症分野

### P1-018 原発性副腎機能低下症と筋原発悪 性リンパ腫を合併した AIDS の一例

小泉 祐介<sup>1,2)</sup>, 南口 仁志<sup>1)</sup>, 木藤 克之<sup>1)</sup>,  
程原 佳子<sup>1)</sup>, 藤山 佳秀<sup>1)</sup>

1) 滋賀医科大学血液内科 2) 国立病院機構大阪医  
療センター

## 肝炎

### P1-019 HIV/HBV 重複感染症の 3 例

齊藤 弘樹<sup>1)</sup>, 芦野 有悟<sup>1)</sup>, 服部 俊夫<sup>1)</sup>

1) 東北大学病院感染症科

### P1-020 HIV 陽性者における HBV ジェノ タイプ Ae/G リコンビナント

小島 洋子<sup>1)</sup>, 川畑 拓也<sup>1)</sup>, 森 治代<sup>1)</sup>, 谷口  
恭<sup>2)</sup>, 井戸田 一朗<sup>3)</sup>

1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課  
2) 太融寺町谷口医院 3) しらかば診療所

### P1-021 C 型肝炎ウイルスが自然排除され た HIV 合併急性 C 型肝炎の 2 例

森岡 悠<sup>1)</sup>, 柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 今村  
顕史<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター 都立駒込病院

## 抗HIV療法1

### P1-022 血液製剤による HIV 感染者の調査 成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治 療の現状と推移

白阪 琢磨<sup>1)</sup>, 日笠 聡<sup>2)</sup>, 岡 慎一<sup>3)</sup>, 川戸  
美由紀<sup>4)</sup>, 橋本 修二<sup>4)</sup>, 吉崎 和幸<sup>5)</sup>, 福武  
勝幸<sup>6)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先  
端医療開発センター 2) 兵庫医科大学病院 血液  
内科 3) 国立国際医療研究センター病院 エイズ  
治療・研究開発センター 4) 藤田保健衛生大学  
医学部 衛生学 5) 大阪大学大学院工学研究科  
応用化学専攻 (物質機能化学コース) 免疫医  
科学グループ 6) 東京医科大学 臨床検査医学

## P1-023 当院における抗 HIV 薬の変遷と RAL・DRV の使用状況について

市田 裕之<sup>1)</sup>, 松本 美由紀<sup>2)</sup>, 豊島 裕子<sup>2)</sup>, 白野 倫徳<sup>3)</sup>, 後藤 哲志<sup>3)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター薬剤部 2) 大阪市立総合医療センター看護部 3) 大阪市立総合医療センター感染症センター

## P1-024 片腎摘出後に抗 HIV 薬の血中濃度が著明に変動した一症例

國本 雄介<sup>1)</sup>, 任田 宜史<sup>1)</sup>, 岡崎 正子<sup>1)</sup>, 中田 浩雅<sup>1)</sup>, 野田 師正<sup>1)</sup>, 村上 則子<sup>2)</sup>, 佐々木 祐子<sup>2)</sup>, 最上 いくみ<sup>2)</sup>, 谷中 みゆき<sup>3)</sup>, 吉村 真生子<sup>3)</sup>, 安井 寛<sup>4)</sup>, 石田 禎夫<sup>4)</sup>, 宮本 篤<sup>1)</sup>

1) 札幌医科大学附属病院薬剤部 2) 札幌医科大学附属病院看護部 3) 札幌医科大学附属病院患者サービスセンター 4) 札幌医科大学附属病院第一内科

## P1-025 貧血の副作用による ST 合剤 (TMP-SMX) の投与中止のあと CD4 の著明な増加を認めた 1 例

山口 敏行<sup>1)</sup>, 筋野 恵介<sup>1)</sup>, 樽本 憲人<sup>1)</sup>

1) 埼玉医科大学医学部感染症科・感染制御科

## P1-026 多剤耐性獲得患者への Darunavir と Raltegravir 併用療法に関する有効性・安全性・アドヒアランスの検討 (第 3 報)

森 尚義<sup>1)</sup>, 上田 あすか<sup>1)</sup>, 谷口 晴記<sup>2)</sup>

1) 三重県立総合医療センター薬剤部 2) 三重県立総合医療センター産婦人科

## P1-027 リトナビルソフトカプセルから錠剤への切り替えに伴うダルナビル血中濃度の変化に関する検討

柴田 雅章<sup>1)</sup>, 福島 直子<sup>1)</sup>, 高橋 昌明<sup>1)</sup>, 野村 敏治<sup>1)</sup>, 今村 淳治<sup>2)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>, 杉浦

亙<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科 2) 名古屋医療センター エイズ治療開発センター

## P1-028 抗結核薬リファンピシンの中止となった患者のラルテグラビル (RAL) の血中濃度推移をみた一症例

大久保 奈美<sup>1)</sup>, 高橋 昌明<sup>1)</sup>, 木下 枝里<sup>1)</sup>, 柴田 雅章<sup>1)</sup>, 福島 直子<sup>1)</sup>, 野村 敏治<sup>1)</sup>, 泉田 真生<sup>2)</sup>, 今村 淳治<sup>2)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>, 杉浦 亙<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤科 2) 国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター

## P1-029 抗 HIV 療法への薬剤師の関わりと処方動向の検討

尾崎 淳子<sup>1)</sup>, 山本 崇<sup>1)</sup>, 深津 祥央<sup>1)</sup>, 矢野 育子<sup>1)</sup>, 桂 敏也<sup>1)</sup>, 小林 正行<sup>2)</sup>, 高折 晃史<sup>2)</sup>

1) 京都大学医学部附属病院薬剤部 2) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

## P1-030 当院の NRTI-sparing レジメンの使用経験

上平 朝子<sup>1)</sup>, 吉野 宗宏<sup>2)</sup>, 渡邊 大<sup>1)</sup>, 櫛田 宏幸<sup>2)</sup>, 矢倉 裕輝<sup>2)</sup>, 廣田 和之<sup>1)</sup>, 米本 仁史<sup>1)</sup>, 板東 裕基<sup>1)</sup>, 矢嶋 敬史郎<sup>1)</sup>, 小泉 祐介<sup>1)</sup>, 大寺 博<sup>1)</sup>, 富成 伸次郎<sup>1)</sup>, 西田 恭治<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1,3)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科 2) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部 3) HIV/AIDS 先端医療開発センター

## P1-031 駒込病院におけるラルテグラビルの使用結果について

佐野 俊彦<sup>1)</sup>, 河内 大和<sup>1)</sup>, 後藤 総太郎<sup>1)</sup>,



朽木 絵美<sup>1)</sup>, 今村 顕史<sup>2)</sup>, 菅沼 明彦<sup>2)</sup>, 柳澤 如樹<sup>2)</sup>, 味澤 篤<sup>2)</sup>

1) 東京都立駒込病院薬剤科 2) 東京都立駒込病院感染症科

## P1-032 薬剤師外来の充実に向けた抗 HIV 薬院外処方せん交付患者に関する調査

登 佳寿子<sup>1)</sup>, 巽 弥生<sup>1)</sup>, 石川 隆之<sup>2)</sup>, 橋田 亨<sup>1)</sup>

1) 神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部  
2) 神戸市立医療センター中央市民病院 免疫血液内科

## P1-033 HIV プロテアーゼ表現型検査法である VLP ELISA 法の実臨床への応用

横幕 能行<sup>1)</sup>, 鬼頭 優美子<sup>1)</sup>, 今村 淳治<sup>1)</sup>, 大出 裕高<sup>1,2)</sup>, 服部 純子<sup>1,2)</sup>, 伊部 史朗<sup>1)</sup>, 岩谷 靖雅<sup>1)</sup>, 杉浦 互<sup>1)</sup>

1) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター  
2) エイズ予防財団リサーチレジデント

## P1-034 当院において HIV 患者に合併した悪性腫瘍の臨床的検討

南宮 湖<sup>1)</sup>, 長谷川 直樹<sup>2)</sup>, 小林 芳夫<sup>3)</sup>, 加藤 真吾<sup>4)</sup>, 小谷 宙<sup>5)</sup>, 戸蒔 祐子<sup>2)</sup>, 別役 智子<sup>1)</sup>, 岩田 敏<sup>2)</sup>, 根岸 昌功<sup>6)</sup>

1) 慶應義塾大学呼吸器内科 2) 慶應義塾大学感染制御センター 3) 慶應義塾大学中央臨床検査部 4) 慶應義塾大学微生物学・免疫学教室 5) 慶應義塾大学薬剤部 6) ねぎし内科診療所

## P1-035 当院における darunavir の使用状況

筋野 恵介<sup>1)</sup>, 樽本 憲人<sup>1)</sup>, 山口 敏行<sup>1)</sup>

1) 埼玉医科大学医学部感染症科・感染制御科

## 疫学

## P1-036 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 1997 年度対象者の 13 年間の観察

川戸 美由紀<sup>1)</sup>, 橋本 修二<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 吉崎 和幸<sup>3)</sup>, 福武 勝幸<sup>4)</sup>, 日笠 聡<sup>5)</sup>, 白阪 琢磨<sup>6)</sup>

1) 藤田保健衛生大学 医学部 衛生学 2) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター 3) 大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 (物質機能化学コース) 免疫医科学グループ 4) 東京医科大学 医学部 臨床検査医学 5) 兵庫医科大学病院 血液内科 6) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

## P1-037 当院における初診時 HIV 感染者に関する検討

大亀 路生<sup>1)</sup>, 佐藤 秀憲<sup>1)</sup>, 安達 英輔<sup>1)</sup>, 菊池 正<sup>1)</sup>, 清水 少一<sup>1)</sup>, 宮崎 菜穂子<sup>2)</sup>, 古賀 道子<sup>2)</sup>, 中村 仁美<sup>2)</sup>, 鯉淵 智彦<sup>1)</sup>, 三浦 聡之<sup>1)</sup>, 藤井 毅<sup>1)</sup>, 岩本 愛吉<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

## P1-038 日本における HIV 感染症と包茎との関係

山岸 拓也<sup>1)</sup>, 立川 夏夫<sup>2)</sup>, 吉村 幸浩<sup>2)</sup>, 倉井 華子<sup>2)</sup>, 岩室 紳也<sup>3)</sup>, 大山 卓昭<sup>4)</sup>, 八幡 裕一郎<sup>4)</sup>, 今井 博久<sup>5)</sup>, 中尾 裕之<sup>5)</sup>

1) 国立感染症研究所細菌第二部 2) 横浜市立市民病院感染症内科 3) 厚木市立病院泌尿器科 4) 国立感染症研究所感染症情報センター 5) 国立保健医療科学院疫学部

## 行動科学・意識調査

P1-039 HIVと共に生きる社会へ～日本の若者100人HIV/AIDS意識調査～

Akane Futami<sup>1)</sup>

1) 聖母大学看護学部

P1-040 A町一般住民におけるエイズに関する意識調査—我が国におけるエイズ偏見・差別尺度開発の試み

布施千恵<sup>1)</sup>, 永野勝稔<sup>1)</sup>, 永嶋良之<sup>1)</sup>, 藤原悠<sup>1)</sup>, 神田浩路<sup>1)</sup>, 新井明日奈<sup>1)</sup>, 大林由英<sup>1)</sup>, 玉城英彦<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院医学研究科国際保健医学分野

## 情報・教育

P1-041 第1回AIDS文化フォーラムin京都(エイズを知ろう エイズで学ぼう)の開催報告

林滋<sup>1,2)</sup>, 大野聖子<sup>1)</sup>, 白野倫徳<sup>3)</sup>, 高畑吉博<sup>4)</sup>, 木下浩一<sup>5,6)</sup>, 神崎清一<sup>7)</sup>, 高折晃史<sup>8)</sup>

1) 京都第一赤十字病院 2) 立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 3) 大阪市立総合医療センター感染症センター 4) PLANET(HIVと共に生きる会) 5) CHARM 6) ヴィーヴヘルスケア 7) 京都YMCA 8) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科

P1-042 薬剤師のためのHIV研修会開催に関するアンケート調査について

福島直子<sup>1)</sup>, 柴田雅章<sup>1)</sup>, 木下枝里<sup>1)</sup>, 大久保奈美<sup>1)</sup>, 高橋昌明<sup>1)</sup>, 野村敏治<sup>1)</sup>, 横幕能行<sup>2)</sup>, 杉浦互<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科 2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P1-044 アクティビティを取り入れたHIV研修プログラムの検討

熊谷祐子<sup>1)</sup>, 佐保美奈子<sup>2)</sup>, 古山美穂<sup>2)</sup>, 工藤里香<sup>3)</sup>, 豊田百合子<sup>4)</sup>, 畑井由美子<sup>4)</sup>, 泉柚岐<sup>5)</sup>, 下司有加<sup>6)</sup>, 白阪琢磨<sup>6)</sup>, 飯沼恵子<sup>7)</sup>, 澤口智登里<sup>8)</sup>, 王美麗<sup>9)</sup>, 繁内幸治<sup>10)</sup>, 須見彰<sup>11)</sup>

1) 医療法人のぞみ会新大阪病院 2) 大阪府立大学看護学部 3) 兵庫医療大学看護学部 4) (社)大阪府看護協会 5) 清翠会牧病院 6) 国立病院機構大阪医療センター 7) 大阪府池田保健所 8) 大阪市保健所 9) 大阪市立総合医療センター 10) BASE KOBE 11) ピープルズ・ホープ・ジャパン

## 予防啓発

P1-045 大学生のコンドーム使用の実態

佐保美奈子<sup>1)</sup>, 古山美穂<sup>1)</sup>, 中澤舞<sup>2)</sup>, 中嶋岳志<sup>3)</sup>, 高橋恭一<sup>4)</sup>, 上島麗奈<sup>5)</sup>, 下原麻実<sup>6)</sup>

1) 大阪府立大学看護学部 2) 国立病院機構大阪南医療センター 3) 大阪府立精神医療センター 4) 大阪府立急性期医療センター 5) 横浜市立大学附属病院 6) 財団法人田附興風会医学研究所北野病院

## 陽性者支援

P1-046 HIV陽性者に対する生活支援の一考—行動記憶検査と抑うつ質問票を用いて—

緒方 积<sup>1)</sup>, 江崎 百美子<sup>1)</sup>, 木村 亜由美<sup>1)</sup>, 宮川 寿一<sup>2)</sup>, 松下 修三<sup>3)</sup>, 満屋 裕明<sup>4)</sup>

1) 熊本大学医学部附属病院 2) 熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部 3) 熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野 4) 熊本大学大学院生命科学研究部血液内科学

P1-047 HIV 陽性患者のエンパワメントを促進できた一事例 ～ HIV 看護外来を通じて～

松本 美由紀<sup>1)</sup>, 豊島 裕子<sup>1)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター

## カウンセリング

P1-048 精神科医を対象とした研修会受講後の HIV 感染症患者への理解・認識の変化について

倉谷 昂志<sup>1,2)</sup>, 廣常 秀人<sup>1)</sup>, 安尾 利彦<sup>1)</sup>, 大谷 ありさ<sup>1)</sup>, 仲倉 高広<sup>1)</sup>, 森田 眞子<sup>1)</sup>, 藤本 恵里<sup>1)</sup>, 宮本 哲雄<sup>1,2)</sup>, 西川 歩美<sup>1,3)</sup>, 上平 朝子<sup>1)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1)</sup>

1)(独)国立病院機構大阪医療センター 2)(公財)エイズ予防財団リサーチ・レジデント 3) ネットワーク医療と人権

P1-049 九州ブロックにおけるカウンセリング体制整備の実践

辻 麻理子<sup>1)</sup>, 大城 市子<sup>2)</sup>, 吉元 なるよ<sup>2)</sup>, 井村 弘子<sup>3)</sup>, 渡久山 朝裕<sup>3)</sup>, 今村 葉子<sup>4)</sup>, 飯田 昌子<sup>4)</sup>, 浅井 いづみ<sup>5)</sup>, 徳田 由香<sup>5)</sup>, 柳田 哲弘<sup>6)</sup>, 大嶋 美登子<sup>7)</sup>, 江崎 百美子<sup>8)</sup>, 緒方 積<sup>8)</sup>, 青山 のぞみ<sup>9)</sup>, 才津 文子<sup>9)</sup>, 堀川 悦夫<sup>9)</sup>, 松島 淳<sup>9)</sup>, 長浦 由紀<sup>10)</sup>, 村上 ゆき<sup>11)</sup>, 阪木 淳子<sup>12)</sup>, 山本 政弘<sup>1)</sup>

1)NHO 九州医療センター 2) 琉球大学医学部附属病院 3) 沖縄県福祉保健部 4) 鹿児島大学病院 5) 宮崎県立宮崎病院 6) 宮崎県福祉保健部 7) 大分県福祉保健部 8) 熊本大学医学部附属病院 9) 佐賀大学医学部附属病院 10) 長崎大学病院 11) 九州大学病院 12) 産業医科大学病院

## ソーシャルワーク

P1-050 呉医療センターにおける HIV 感染症への取り組み ～医療チームの立ち上げと現状～

玉野 緋呂子<sup>1)</sup>, 新美 寛正<sup>1)</sup>, 伊藤 琢生<sup>1)</sup>, 沖川 佳子<sup>1)</sup>, 木村 朗子<sup>1)</sup>, 竹林 実<sup>1)</sup>, 鶴池 俊令<sup>1)</sup>, 西澤 修一<sup>1)</sup>, 森貞 尚之<sup>1)</sup>, 満井 尚子<sup>1)</sup>, 谷保 智美<sup>1)</sup>, 西巻 美幸<sup>1)</sup>, 下高 美和<sup>1)</sup>, 倉澤 和枝<sup>1)</sup>, 富原 寿恵<sup>1)</sup>, 貫目 志保<sup>1)</sup>, 河野 ゆか<sup>1)</sup>, 田部 佳子<sup>1)</sup>, 折本 陽一<sup>1)</sup>, 甲斐 亜弥子<sup>1)</sup>, 高田 昇<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構呉医療センター 2) 広島文化学園大学

## 一般演題ポスター (2日目)

■日時: 12月1日 (木) 16:30-17:30

■会場: ポスター会場 (天平)

### 副作用

#### P2-001 Efavirenz による副作用との鑑別が困難であったクリプトコッカス脳炎を発症した AIDS 症例

石原 正志<sup>1)</sup>, 鶴見 寿<sup>2,3)</sup>, 鶴見 広美<sup>2)</sup>, 永野 淳二<sup>3)</sup>, 兼村 信宏<sup>3)</sup>, 林 寛子<sup>1)</sup>, 笠原 千嗣<sup>2,3)</sup>, 後藤 尚絵<sup>2)</sup>, 伊藤 善規<sup>1)</sup>, 森脇 久隆<sup>3)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 2) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター 3) 岐阜大学医学部 第一内科

#### P2-002 吸入ステロイドとリトナビルによる医原性 Cushing 症候群が疑われた一例

和田 達彦<sup>1)</sup>, 東野 俊洋<sup>1)</sup>, 高山 洋子<sup>1)</sup>, 廣畑 俊成<sup>1)</sup>

1) 北里大学医学部 膠原病感染内科

### 臨床薬理

#### P2-003 エトラビリン、ダルナビル、ラルテグラビルの血中トラフ値と海外データとの比較

桑原 健<sup>1)</sup>, 矢倉 裕輝<sup>2)</sup>, 吉野 宗宏<sup>2)</sup>, 上平 朝子<sup>3)</sup>, 白阪 琢磨<sup>3)</sup>, 杉浦 互<sup>4,5)</sup>

1) 国立病院機構南京都病院薬剤科 2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科 3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科 4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 5) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学

#### P2-004 血中ダルナビル濃度の高速液体クロマトグラフィーによる高感度測定法の開発

永野 大輔<sup>1,2)</sup>, 荒木 拓也<sup>1)</sup>, 柳沢 邦雄<sup>3)</sup>, 小川 孔幸<sup>3)</sup>, 林 俊誠<sup>3)</sup>, 馬渡 桃子<sup>4)</sup>, 合田 史<sup>5)</sup>, 内海 英貴<sup>3)</sup>, 野島 美久<sup>3)</sup>, 中村 智徳<sup>1,2)</sup>, 山本 康次郎<sup>1,2)</sup>

1) 群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学 2) 群馬大学医学部附属病院薬剤部 3) 群馬大学大学院医学系研究科生体統御内科学 4) 国立病院機構群馬病院血液内科 5) 国立病院機構高崎総合医療センター総合診療科

### 歯科

#### P2-005 HIV 診療における北陸地区歯科衛生士の意識調査

山本 裕佳<sup>1)</sup>, 能島 初美<sup>1)</sup>, 宮田 勝<sup>2)</sup>, 高木 純一郎<sup>2)</sup>, 山田 三枝子<sup>3,4)</sup>, 辻 典子<sup>3,4)</sup>, 上田 幹夫<sup>5)</sup>, 前田 憲昭<sup>6)</sup>

1) 石川県立中央病院歯科技術室 2) 石川県立中央病院歯科口腔外科 3) 石川県立中央病院 4) エイズ予防財団 5) 石川県立中央病院免疫感染症科 6) (社) 皓歯会

#### P2-006 口蓋部 Kaposi 肉腫を契機として診断に至った AIDS 患者の一例

菱田 純代<sup>1)</sup>, 宇佐美 雄司<sup>1)</sup>, 遠矢 東剛<sup>1)</sup>, 喜多 さやか<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 独立行政法人名古屋医療センター 歯科口腔外科 2) 国立病院機構 独立行政法人名古屋医療センター 感染症科

### 臨床検査

#### P2-007 ウエスタンブロット法で判定保留が持続した後天性免疫不全症候群の 1 例

渡邊 珠代<sup>1)</sup>, 舟田 久<sup>1)</sup>

1) 富山大学附属病院感染症治療部

## P2-008 血液透析を要する HIV 感染者における raltegravir 血中濃度推移の検討

柳沢 邦雄<sup>1)</sup>, 小川 孔幸<sup>1)</sup>, 林 俊誠<sup>1)</sup>, 馬渡 桃子<sup>2)</sup>, 合田 史<sup>3)</sup>, 内海 英貴<sup>1)</sup>, 野島 美久<sup>1)</sup>, 永野 大輔<sup>4,5)</sup>, 荒木 拓也<sup>4)</sup>, 中村 智徳<sup>4,5)</sup>, 山本 康次郎<sup>4,5)</sup>

1) 群馬大学大学院 生体統御内科学/群馬大学医学部附属病院 血液内科 2) 国立病院機構 西群馬病院 3) 国立病院機構 高崎総合医療センター 4) 群馬大学大学院 臨床薬理学 5) 群馬大学医学部付属病院 薬剤部

## P2-009 カポジ肉腫の診断にガリウムシンチは有用か？

窪田 和雄<sup>1)</sup>, 諸岡 都<sup>1)</sup>, 岡崎 百子<sup>1)</sup>, 伊藤 公輝<sup>1)</sup>, 南本 亮吾<sup>1)</sup>, 田沼 順子<sup>1)</sup>, 本田 美和子<sup>1)</sup>, 照屋 勝治<sup>1)</sup>, 菊池 嘉<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター

## P2-010 糖固定化金ナノ粒子技術を用いた HIV-1 感染症新規予防法および早期診断法の開発

岡本 実佳<sup>1)</sup>, 張 旭<sup>2,3)</sup>, 濱崎 隆之<sup>1)</sup>, 外山 政明<sup>1)</sup>, 隅田 泰生<sup>2,3)</sup>, 馬場 昌範<sup>1)</sup>

1) 鹿児島大学大学院歯医学総合研究科 附属難治ウイルス病態制御研究センター 2) 鹿児島大学大学院理工学研究科 3) (株) スティックスバイオテック

## P2-011 HIV/AIDS 患者の 18F-FDG PET/CT 所見：A pictorial review

諸岡 都<sup>1)</sup>, 窪田 和雄<sup>1)</sup>, 南本 亮吾<sup>1)</sup>, 岡崎 百子<sup>1)</sup>, 伊藤 公輝<sup>1)</sup>, 岡 慎一<sup>2)</sup>, 菊池 嘉<sup>2)</sup>, 田沼 順子<sup>2)</sup>, 照屋 勝治<sup>2)</sup>, 本田 美和子<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院 放射線科核医学 2) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

## P2-012 未治療で HIV1-RNA 量が低値を示した 1 症例

岡本 愛<sup>1)</sup>, 西宮 達也<sup>1)</sup>, 谷口 裕美<sup>1)</sup>, 高田 清式<sup>2)</sup>, 村上 雄一<sup>3)</sup>, 長谷川 均<sup>3)</sup>, 安川 正貴<sup>3)</sup>, 井門 敬子<sup>4)</sup>, 藤原 光子<sup>5)</sup>

1) 愛媛大学医学部附属病院 検査部 2) 同 総合臨床センター 3) 同 第一内科 4) 同 薬剤部 5) 同 看護部

## 服薬アドヒアランス

## P2-013 当院の HIV 感染症患者に対する服薬支援の現状

松島 紫乃<sup>1)</sup>, 治田 匡平<sup>1)</sup>, 森崎 登志子<sup>2)</sup>, 小西 満<sup>3)</sup>, 宇野 健司<sup>3)</sup>, 善本 英一郎<sup>3)</sup>, 三笠 桂一<sup>3)</sup>, 森田 幸子<sup>1)</sup>, 北 啓二<sup>1)</sup>, 宇野 雅之<sup>1)</sup>

1) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部 2) 奈良県立医科大学附属病院看護部 3) 奈良県立医科大学感染症センター

## P2-014 抗 HIV 療法導入患者に対して必要な医薬品情報の検討

富島 公介<sup>1)</sup>, 竹松 茂樹<sup>1)</sup>, 川戸 順之<sup>1)</sup>, 小林 勝昭<sup>1)</sup>, 藤井 希代子<sup>2)</sup>, 三枝 時子<sup>2)</sup>, 望月 吉郎<sup>3)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター 薬剤科 2) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター看護部 3) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター呼吸器内科

## P2-015 受診患者の職業と生活パターンによる服薬方法への対応

野毛 一郎<sup>1)</sup>, 森下 和美<sup>1)</sup>, 吉田 康秀<sup>2)</sup>, 芹沢 むつ子<sup>5)</sup>, 山本 里佳<sup>3)</sup>, 樋口 綾<sup>3)</sup>, 落合 慶子<sup>3)</sup>, 紅林 洋子<sup>4)</sup>

1) 沼津市立病院薬剤部 2) 沼津市立病院呼吸器内科 3) 沼津市立病院ソーシャルワーカー 4) 沼津市立病院臨床心理士 5) 沼津市立病院看護部

## P2-016 服薬アドヒアランスの低さに関連する要因の検討

丸山 笑里佳<sup>1)</sup>, 横幕 能行<sup>2)</sup>, 松岡 亜由子<sup>2)</sup>, 服部 純子<sup>2)</sup>, 杉浦 互<sup>2)</sup>

1) 名古屋医療センター、エイズ予防財団リサーチレジデント 2) 名古屋医療センター エイズ治療開発センター

1) 国立病院機構東埼玉病院薬剤科 2) 国立病院機構東埼玉病院呼吸器内科 3) 明治薬科大学薬効学研究室

## P2-020 HIV 感染者における腎臓障害と予後の関連

柳澤 如樹<sup>1)</sup>, 安藤 稔<sup>2)</sup>, 菅沼 明彦<sup>1)</sup>, 今村 顕史<sup>1)</sup>, 味澤 篤<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 2) がん・感染症センター都立駒込病院腎臓内科

## 感染症態

## P2-017 ART 導入により軽快した血球貪食症候群合併急性 HIV 感染症の一例

安達 英輔<sup>1)</sup>, 大亀 路生<sup>1)</sup>, 佐藤 秀憲<sup>1)</sup>, 今井 健太郎<sup>1)</sup>, 清水 少一<sup>1)</sup>, 菊地 正<sup>1)</sup>, 古賀 道子<sup>2)</sup>, 中村 仁美<sup>2)</sup>, 宮崎 菜穂子<sup>1)</sup>, 三浦 聡之<sup>2)</sup>, 鯉淵 智彦<sup>1)</sup>, 藤井 毅<sup>1)</sup>, 岩本 愛吉<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

## 免疫再構築症候群

## P2-021 当院における H A R R T 施行後の C D 4 及び C D 8 陽性 T リンパ球数の推移と治療後事象との関係

芦野 有悟<sup>1)</sup>, 齊藤 弘樹<sup>1)</sup>, 服部 俊夫<sup>1)</sup>

1) 東北大学病院 感染症科

## その他【臨床】

## P2-018 著明な血小板減少を認めた HIV 感染症の一例

中拂 一彦<sup>1,1)</sup>, 千葉 明生<sup>1)</sup>, 河野 真二<sup>1)</sup>, 加藤 哲朗<sup>1)</sup>, 佐藤 文哉<sup>1)</sup>, 堀野 哲也<sup>1)</sup>, 中澤 靖<sup>1)</sup>, 吉田 正樹<sup>1)</sup>, 堀 誠治

1) 東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部

## P2-022 HIV 感染症に関連した甲状腺機能異常症 8 例の考察

齊藤 誠司<sup>1)</sup>, 鍵浦 文子<sup>2)</sup>, 藤井 輝久<sup>1)</sup>, 高田 昇<sup>3)</sup>, 木村 昭郎<sup>4)</sup>

1) 広島大学病院 輸血部 / エイズ医療対策室 2) 広島大学病院 エイズ医療対策室 3) 広島文化学園大学 看護学部 看護学科 4) 広島大学 血液内科

## 生活習慣病関連合併症

(脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害)

## P2-019 HIV 感染者における慢性腎臓病の有病率及び患者要因に関する検討

鳥海 真也<sup>1)</sup>, 堀場 昌英<sup>2)</sup>, 増田 貴史<sup>2)</sup>, 中澤 一治<sup>1)</sup>, 岡本 秀樹<sup>1)</sup>, 松本 淳二<sup>1)</sup>, 松倉 範明<sup>1)</sup>, 小林 恵子<sup>1)</sup>, 庄司 優<sup>3)</sup>

## P2-023 急性 HIV 感染症における他のウイルス感染症との関連性の検討

渡邊 大<sup>1,2)</sup>, 上平 朝子<sup>2)</sup>, 白阪 琢磨<sup>1,2)</sup>, 味澤 篤<sup>3)</sup>, 今村 顕史<sup>3)</sup>, 菅沼 明彦<sup>3)</sup>, 濱口 元洋<sup>4)</sup>, 横幕 能行<sup>5)</sup>, 南 留美<sup>6)</sup>, 高濱 宗一郎<sup>6)</sup>, 白野 倫徳<sup>7)</sup>, 後藤 哲志<sup>7)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究セン

# 一般演題

ターエイズ先端医療研究部 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科 3) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 4) 愛知県赤十字血液センター 5) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター 6) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター免疫感染症科 7) 大阪市立総合医療センター感染症センター

## P2-024 HIV 関連リンパ腫との鑑別を要した HIV 関連反応性リンパ節炎の治療経験

福田 寛文<sup>1)</sup>, 和田 秀穂<sup>1)</sup>, 徳永 博俊<sup>1)</sup>, 定平 吉都<sup>2)</sup>, 杉原 尚<sup>1)</sup>

1) 川崎医科大学血液内科学 2) 同 病理学 1

## 検査相談体制

## P2-025 新潟県内診療所における HIV 抗体検査に関する調査

石塚 さゆり<sup>1,2)</sup>, 川口 玲<sup>1)</sup>, 内山 正子<sup>1)</sup>, 田邊 嘉也<sup>1)</sup>

1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

## P2-026 未承認 HIV 自己検査キット使用者における他検査の受検状況調査

柳瀬 未季<sup>1)</sup>, 吉田 直子<sup>1)</sup>, 坪井 宏仁<sup>1)</sup>, 木村 和子<sup>1)</sup>, 加藤 真吾<sup>2)</sup>

1) 金沢大学医薬保健研究域薬学系 国際保健薬学 2) 慶応義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室

## P2-027 長野県のエイズ治療拠点病院における無料迅速 HIV 抗体検査体制の検討

金井 信一郎<sup>1)</sup>, 北野 喜良<sup>2)</sup>, 牛木 淳人<sup>1)</sup>, 松田 幸子<sup>2)</sup>, 小林 和代<sup>2)</sup>, 長谷川 直子<sup>2)</sup>, 宮澤 淑子<sup>2)</sup>, 小竹 美千穂<sup>1)</sup>, 小林 裕子<sup>1)</sup>, 土屋 広行<sup>1)</sup>

1) 信州大学医学部附属病院 2) 国立病院機構まつもと医療センター

## P2-028 HIV 検査における頻回受検者（リピーター）の背景に関する考察 (演題取り下げ)

川添 昌之、桜井 健司、大釜 正希、大郷 宏基、右田 麻里子、塩入 康史、高橋 礼子

特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター

## P2-029 倫理的診療体制整備に関するソーシャルワーカーの介入～メソレベルへの展開プロセスの分析～

田中 千枝子<sup>1)</sup>, 鈴木 由美子<sup>1)</sup>

1) 日本福祉大学社会福祉学部

## 医療体制・施策

## P2-030 医療格差：HIV 検査とエイズ治療を妨げる要因は - アジア系アメリカ移民の例を元に理解する

神谷 英美子<sup>1,2)</sup>, Carol Dawson-Rose<sup>1)</sup>

1) University of California, San Francisco 2) Asian and Pacific Islander Wellness Center

## P2-031 NPO 連携による HIV 対策に関する地方公共団体向けの質問票調査

嶋田 憲司<sup>1)</sup>, 大石 敏寛<sup>2)</sup>, 河口 和也<sup>3)</sup>, 飯塚 信吾<sup>1)</sup>, 太田 昌二<sup>1)</sup>, 藤部 荒術<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会 2) せかんどかみんぐあうと 3) 広島修道大学

## P2-032 エイズ拠点病院から地域医療機関への患者紹介の現状 その 1～拠点病院から一般病院への紹介～

辻 典子<sup>1,9)</sup>, 田村 恵子<sup>2,9)</sup>, 鈴木 智子<sup>3,9)</sup>, 須貝 恵<sup>4,9)</sup>, 小塚 雅子<sup>5)</sup>, 井内 亜紀子<sup>6,9)</sup>, 濱本 京子<sup>7,9)</sup>, 吉用 緑<sup>8,9)</sup>, 山本 政弘<sup>8)</sup>

1) 石川県立中央病院 2) 北海道大学病院 3) 仙台医療センター 4) 新潟大学医歯学総合病院 5) 名古屋医療センター 6) 大阪医療センター 7) 広島大学病院 8) 九州医療センター 9) エイズ予防財団

## P2-033 エイズ拠点病院から地域医療機関への患者紹介の現状について その2～拠点病院から診療所/クリニックへの紹介～

吉用 緑<sup>1,9)</sup>, 田村 恵子<sup>2,9)</sup>, 鈴木 智子<sup>3,9)</sup>, 須貝 恵<sup>4,9)</sup>, 辻 典子<sup>5,9)</sup>, 小塚 雅子<sup>6)</sup>, 井内 亜紀子<sup>7,9)</sup>, 濱本 京子<sup>8,9)</sup>, 山本 政弘<sup>1)</sup>

1) 九州医療センター 2) 北海道大学病院 3) 仙台医療センター 4) 新潟大学医歯学総合病院 5) 石川県立中央病院 6) 名古屋医療センター 7) 大阪医療センター 8) 広島大学病院 9) エイズ予防財団

## P2-034 愛媛県における HIV 外来診療の実態調査

村上 雄一<sup>1)</sup>, 高田 清式<sup>2)</sup>, 木村 博史<sup>3)</sup>, 井門 敬子<sup>3)</sup>, 若松 綾<sup>4)</sup>, 藤原 光子<sup>4)</sup>, 小野 恵子<sup>5)</sup>, 安川 正貴<sup>1)</sup>

1) 愛媛大学大学院医学系研究科生体統御内科学 2) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター 3) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 4) 愛媛大学医学部附属病院看護部 5) 愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター

## P2-035 院外処方せんの発行促進へ向けた取り組み

表 志穂<sup>1)</sup>, 下川 千賀子<sup>1)</sup>, 亀井 勝一郎<sup>1)</sup>, 山田 三枝子<sup>2)</sup>, 辻 典子<sup>2)</sup>, 上田 幹夫<sup>3)</sup>

1) 石川県立中央病院薬剤部 2) 石川県立中央病院 HIV 事務室・エイズ予防財団 3) 石川県立中央病院免疫感染症科

## 滞日外国人と多言語対応

### P2-036 当院における外国人 HIV 患者の動向について

石崎 芳美<sup>1)</sup>, 中居 映津子<sup>1)</sup>, 星河 幸代<sup>1)</sup>, 関上 里子<sup>1)</sup>, 内海 英貴<sup>1)</sup>, 小川 孔幸<sup>1)</sup>, 柳沢 邦雄<sup>1)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院

### P2-037 NPO への相談から見た外国人診療困難事例の分析

山本 裕子<sup>1)</sup>, 川田 薫<sup>2)</sup>, 廣野 富美子<sup>1)</sup>, 沢田 貴志<sup>1,3)</sup>, 仲尾 唯治<sup>4)</sup>

1) 特活) シェア=国際保健協力市民の会 2) 特活) アフリカ日本協議会 3) 港町診療所 4) 山梨学院大学



## セックスワーク

P2-038 Behavioral interventions to reduce the transmission of HIV infection among sex workers and their clients in high-income countries.

大田 えりか<sup>1)</sup>, Wariki Windy<sup>1)</sup>, 堀 成美<sup>2)</sup>, 森 臨太郎<sup>1)</sup>, 渋谷 健司<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院医学系研究科 2) 聖路加看護大学

P2-039 Behavioral interventions to reduce the transmission of HIV infection among sex workers and their clients in low- and middle-income countries

Windy Wariki<sup>1)</sup>, 大田 えりか<sup>1)</sup>, 小柳 愛<sup>1)</sup>, 堀 成美<sup>2)</sup>, 森 臨太郎<sup>1)</sup>, 渋谷 健司<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院医学系研究科 2) 聖路加看護大学

## MSM

P2-040 地方のエイズ拠点病院におけるMSM患者の特徴

神戸 敏行<sup>1)</sup>, 田頭 保彰<sup>1)</sup>, 中村 朗<sup>1)</sup>, 柴崎 智代子<sup>1)</sup>

1) 総合病院国保旭中央病院内科

P2-041 名古屋の無料 HIV 抗体検査会を併設した屋外イベント NLGR 来場者における来場経験別 HIV 抗体検査受検経験率とコンドーム常用率

吉澤 繁行<sup>1,2)</sup>, 塩野 徳史<sup>3)</sup>, 新ヶ江 章友<sup>3)</sup>, 金子 典代<sup>3)</sup>, コーナ ジェーン<sup>3)</sup>, 市川 誠一<sup>3)</sup>, 石田 敏彦<sup>2)</sup>, 藤浦 裕二<sup>2)</sup>, 真野 新也<sup>4)</sup>, 内海 眞<sup>2,5)</sup>

1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科 2) ANGEL LIFE NAGOYA 3) 名古屋市立大学看護学部 4) LIFE 東海 5) 独立行政法人国立病院機構東名古屋病院

P2-042 ゲイ向けクラブイベント利用者質問紙調査による東京の介入プログラムの効果評価に関する研究

中村 久美子<sup>1)</sup>, 木村 博和<sup>2)</sup>, 荒木 順子<sup>3)</sup>, 柴田 恵<sup>3)</sup>, 塩野 徳史<sup>1)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部 2) 横浜市健康福祉局 3) 非営利団体 akta

P2-043 RDS 法を用いた携帯電話調査による首都圏での啓発プログラムの評価 - エイズ予防のための戦略研究 MSM 首都圏グループ -

金子 典代<sup>1)</sup>, 岩橋 恒太<sup>2,3,4)</sup>, 塩野 徳史<sup>1)</sup>, Koerner Jane<sup>1)</sup>, 生島 嗣<sup>2)</sup>, 荒木 順子<sup>5)</sup>, 市川 誠一<sup>1)</sup>

1) 名古屋市立大学看護学部 2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京 3) 慶応義塾大学院社会学研究科 4) 公益財団法人エイズ予防財団 5) 非営利団体 akta 6) 旧 RainbowRing

P2-044 ゲイコミュニティ及び行政機関に向けた、首都圏における広報資材の大規模アウトリーチの構成と実績 - エイズ予防のための戦略研究 MSM 首都圏グループ -

荒木 順子<sup>1)</sup>, 岩橋 恒太<sup>3,4)</sup>, 張 由紀夫<sup>5)</sup>, 砂川 秀樹<sup>6)</sup>, 柴田 恵<sup>1)</sup>, 高野 操<sup>2,7)</sup>, 星野 慎二<sup>8)</sup>, 塩野 徳史<sup>3)</sup>, 生島 嗣<sup>6)</sup>, 市川 誠一<sup>3)</sup>

1) akta 2) 公益財団法人 エイズ予防財団 3) 名古屋市立大学看護学部 4) 慶応義塾大学院社会学研究科 5) 旧 Rainbow Ring 6) ぶれいす東京 7) 国立国際医療研究センターエイズ治療・開発センター 8) 横浜 Cruise ネットワーク

P2-045 愛媛県におけるHIV対策ネットワークの構築ーゲイCBOの啓発活動と行政など地域の関係諸機関との連携を通じてー

新山 賢<sup>1,2)</sup>, 大山 治彦<sup>1,2,3)</sup>, 前田 博史<sup>1,2)</sup>,  
西之谷 幹<sup>1)</sup>, 木城 香代<sup>2,4)</sup>

1) Ha a T えひめ 2) 松山HIV/AIDS予防啓発コミュニティ協議会 3) 四国学院大学社会福祉学部 4) 四国エイズプロジェクト

## その他【社会/保健・看護】

P2-046 薬剤吸収不良によりウイルスコントロールに難渋した症例に対しPEG（経皮内視鏡的胃ろう増設術）を用いることにより治療効果を得た一自験例

杉本 厚子<sup>1)</sup>, 金谷 恵美子<sup>1)</sup>, 中居 映津子<sup>1)</sup>, 西山 歩美<sup>1)</sup>, 早川 さゆり<sup>1)</sup>, 小出 光子<sup>1)</sup>, 北島 美加<sup>1)</sup>, 林 俊誠<sup>1)</sup>, 小林 宣彦<sup>1)</sup>, 小川 孔幸<sup>1)</sup>, 内海 英貴<sup>1)</sup>, 野島 美久<sup>1)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院

P2-047 災害発生時におけるHIV医療従事者と患者の対応と備えの在り方について：東日本大震災の経験から

塚本 琢也<sup>1)</sup>, 佐藤 麻希<sup>2)</sup>, 阿部 憲介<sup>2)</sup>, 鈴木 智子<sup>1)</sup>, 武藤 愛<sup>2)</sup>, 伊藤 ひとみ<sup>2)</sup>, 佐藤 功<sup>3)</sup>, 山本 善彦<sup>2)</sup>, 伊藤 俊広<sup>2)</sup>

1) 公益財団法人エイズ予防財団 2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 3) 医療法人医徳会真壁病院